

平成 19 年度  
情報収集事業報告書  
第 6 号

# クォーターリー・レビュー

資源メジャーの  
2007 年第 3 四半期動向

平成 20 年 3 月

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

## はじめに

世界的な金属資源価格の高騰を受け、鉱物資源の大輸入国である我が国では原料資源調達が急務となっており、これら鉱物資源を安定的に確保するためには、その需給の状況・動向等を的確に把握することが不可欠である。

また、我が国の海外鉱山開発事業の円滑な推進を支援するために、マクロ的な需給動向のみならず、世界の鉱山・プロジェクト、探鉱開発の動向を常時注視し、企業活動の推移と傾向を分析調査することは、大変意義のあることと考える。

本報告書は、このような状況を踏まえ、国際金属研究会(銅、鉛・亜鉛、ニッケル)のマンスリーレポート等をベースにしたマクロな需給動向調査に加え、世界の資源メジャー企業のクォーターレポート、各国統計機関の発表等により経営・生産状況、探鉱開発等の動向をレビューし、「クォーター・レビュー」としてとりまとめたものである。

最後に、本報告書が関係各位の参考となれば幸いです。

平成 20 年 3 月

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構  
金属資源開発本部 企画調査部

おことわり:本報告書の内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行っておりますが、本報告書の内容に誤りのある可能性もあります。本報告書に基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及び執筆者は何らの責任を負いかねます。

# クォーターリー・レビュー

## －資源メジャーの2007年第3四半期動向－

### 目 次

はじめに

I. ベースメタルの国際市況と需給動向	1
1. 銅	1
2. 鉛	4
3. 亜鉛	6
4. ニッケル	9
II. 世界の主要生産者の動向	11
1. 銅企業の動向	11
2. 亜鉛企業の動向	12
3. ニッケル企業の動向	13
III. 主要企業の2007年第3四半期動向レビュー	14
1. Corporación Nacional del Cobre, Chile (CODELCO)	14
2. BHP Billiton Limited	16
3. Grupo Mexico	20
4. Rio Tinto plc	22
5. Freeport-McMoRan Copper & Gold Inc. (FCX)	24
6. KGHM Polska Miedź S.A. (KGHM)	28
7. Antofagasta plc	29
8. Anglo American plc	30
9. Barrick Gold Corporation	32
10. Newmont Mining Corporation	33
11. Teck Cominco Limited	34
12. Peñoles	36
13. Aneka Tambang (antam)	38
14. Vale (CVRD) : Companhia Vale do Rio Doce	42
15. Xstrata plc	44
16. Kazakhmys	46
17. Glencore International AG	48

IV. その他企業の動向、主要国の生産統計 .....	52
1. 豪州企業 .....	52
2. 中国企業 .....	84
V. 主要国、主要鉱山の生産統計 .....	85
1. 主要国の生産統計 .....	85
(1) チリ	
(2) ペルー	
(3) ボリビア	
(4) メキシコ	
(5) オーストラリア	
(6) 中国	
2. 主要鉱山の生産統計 .....	91
(1) Grasberg 鉱山	
(2) Morenci 鉱山	
(3) Antamina 鉱山	

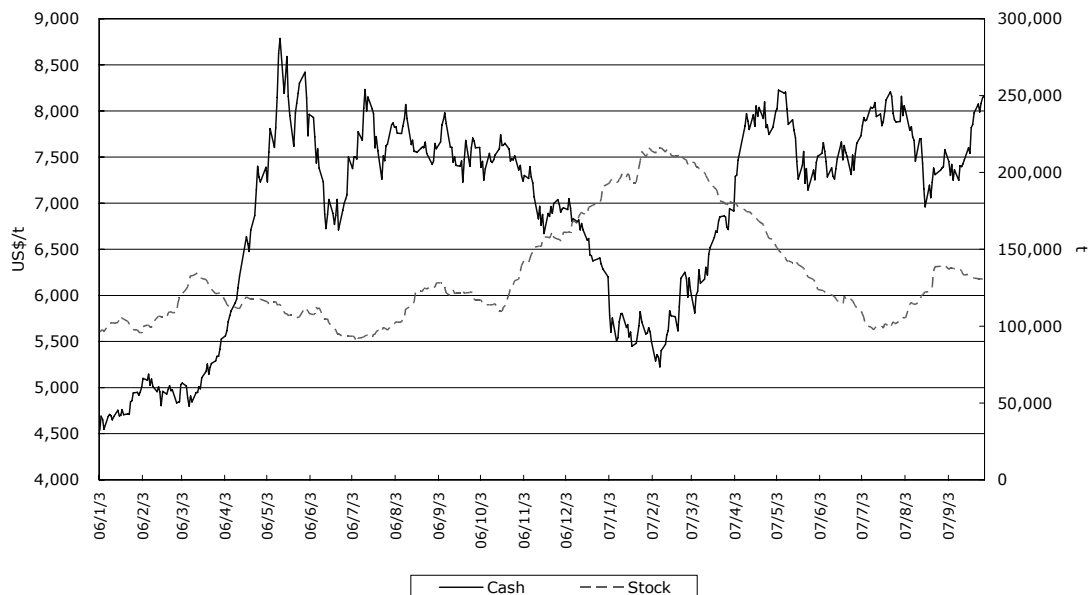
## I. ベースメタルの国際市況と需給動向

### 1. 銅

1. 銅の LME 価格は、供給不足な状態が続いたため 5,200US\$/t 台から 8,200US\$/t 台と依然高い水準で推移した。
2. 2007 年 1～9 月の世界消費は前年同期比 7.1%増。鉱山生産は 4.9%増。地金生産は 4.9%増。
3. 2007 年 1～9 月の需給バランスは、265 千 t の供給不足。

#### (1) 国際価格 (1～9 月)

LME 銅価格は、2007 年 1～9 月には乱高下を繰り返し 5,200～8,200US\$/t 台で推移した。前半は供給不足の状態が続き LME 在庫が減少傾向にあり、再び投機資金の流入が活発化し乱高下しつつ依然高い水準にある。1 月 2 日に 6,201US\$/t でスタートした後は、2 月 8 日に一旦 5,226US\$/t まで下落した後は上昇傾向にあり、5 月 4 日に 8,225US\$/t まで上昇した。その後、緩やかな下降傾向に転じ 6 月 29 日に 7,650US\$/t で終了した。7～9 月の期間には、乱高下しつつ 7,000～8,200US\$/t 台と依然高い水準で推移した。その間に 7 月 23 日には再び 8,210US\$/t と高水準に達した。他方、8 月 17 日には一旦 7,000US\$/t 台を割り込み 6,960US\$/t まで下落した。その後は、回復傾向に転じ 9 月 28 日に 8,165US\$/t で終了した。



出典：LME

銅地金価格と在庫の推移

## (2) 需給(1~9月)

### 【需要】

2007年1~9月の世界消費は前年同期比7.1%増の13,797千tであった。世界消費は6月1,548千t、7月1,518千t、8月1,453千t、9月1,515千tと推移している。国別では、2位米国が2.5%減、3位ドイツが3.5%減、4位日本が2.7%減、5位韓国が4.4%減だったものの、最大消費国の中国が37.9%と大幅増となり全体として増加した。

### 【供給】

2007年1~9月の鉱山生産(金属純分、以下同様)は前年同期比4.9%増の11,450千tであった。鉱山生産は6月1,276千t、7月1,267千t、8月1,238千t、9月1,279千tと推移している。鉱山設備稼働率は6月87.9%、7月84.3%、8月82.2%、9月87.4%と推移している。国別では、2位米国が1.6%減であったが、最大生産国のチリが5.5%増、3位ペルーが13.0%増、4位中国が4.1%増、5位インドネシアが20.2%と大幅増となり全体として増加した。

2007年1~9月の地金生産は前年同期比4.9%増の13,531千tであった。地金生産は6月1,491千t、7月1,498千t、8月1,505千t、9月1,540千tと推移している。精錬所設備稼働率は6月82.9%、7月80.3%、8月80.5%、9月84.8%と推移している。国別では、最大生産国の中国が14.8%増、2位チリが6.2%増、3位日本が4.2%増、4位米国が3.6%増、5位ロシアが5.6%増と世界的な増加傾向により全体として増加した。

### 【需給バランス】

2007年1~9月の銅需給バランスは265千tの供給不足であった。6月57千t、7月20千tと供給不足で推移していたが、8月53千t、9月に26千tの供給超過に転じた。季節調整後の需給バランスでは、6月に18千t、7月に18千t、8月に13千tの供給不足、9月には73千tの供給超過と推移し、1~9月では75千tの供給不足となっている。

LME在庫は7月末に102千t、8月末139千t、9月末に131千tと回復傾向で推移している。

## 銅の需給状況

(単位：千t)

銅	2006年					2007年				前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	1-9月計		
鉱山生産量	10,913	3,691	3,639	4,100	15,015	3,790	3,852	3,784	11,450	4.9	-1.8
地金生産量	12,903	4,319	4,337	4,480	17,377	4,412	4,520	4,543	13,531	4.9	0.5
一次	10,979	3,731	3,717	3,842	14,776	3,796	3,847	3,849	11,468	4.5	0.1
二次	1,924	589	619	638	2,601	616	672	694	2,063	7.2	3.3
消費量	12,882	4,369	4,266	4,218	17,122	4,589	4,683	4,486	13,797	7.1	-4.2
需給バランス	21	-50	71	262	255	-177	-163	59	-265	-	-

※データは国際銅研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際銅研究会資料

### (3) 今後の見通し(国際銅研究会予測)

2007年の銅世界消費は前年比4.7%増(800千t増)の17,800千tとなる見込み。中国での伸びが目立つが、それとともにインド、ロシアの消費が継続的に伸びている。米国、日本は前年並みで欧州は2006年の高いレベルから減少する。2008年の銅世界消費は前年比3.6%増(640千t増)の18,430千tとなる見込み。

2007年の銅鉱山生産は前年比6.3%増(940千t増)の15,970千tとなる見通し。これは新規鉱山開発や生産能力の増加によるものである。2006年の生産量はチリ、インドネシア、メキシコでの生産障害により前年並みとなった。2008年の銅鉱山生産は前年比7.3%増(1,200千t増)の17,130千tとなる見通し。2007年、2008年ともにSX-EW生産は精鉱生産より伸び率が高くなる見込み。

2007年の銅地金(一次、二次含む)生産については前年比4.3%増(740千t増)の18,070千tとなる見込み。また、2008年の銅地金生産については前年比4.9%増(880千t増)の18,950千tとなる見込み。電解精錬生産は中国、インド、日本で増加し、SX-EW生産はチリ、アフリカ、米国で増加する見込みで、これらが世界の増加の大部分を占める。2006年に精鉱在庫が大いに消費されたこともあり、2007年、2008年の精鉱生産が地金生産の伸びを抑制すると予測される。

需給バランスは、2005年まで供給不足であったが、2006年以降は供給超過に転じる。2007年に280千t、2008年に520千tと供給超過が拡大する見込み。

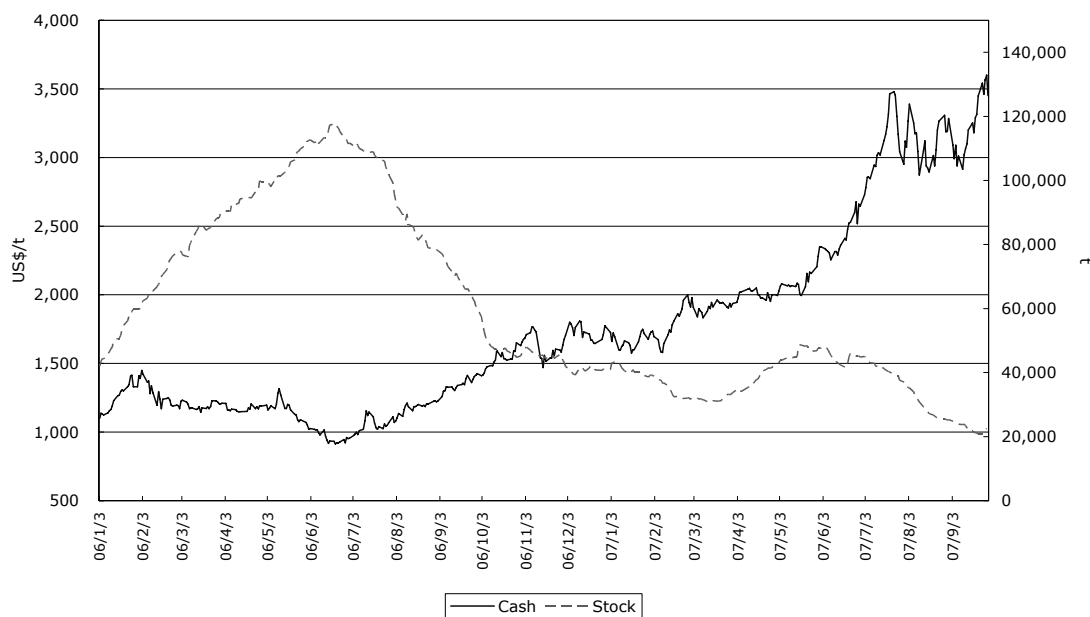
また、関係機関の予測によると2007年の需給バランスは132千t、2008年は326千tの供給超過となる見込である。

## 2. 鉛

1. 鉛の国際価格は需給のタイト化を受け高い水準にあり、史上最高値を更新し 3,600US\$/t に達した。
2. 2007年1～9月の消費は前年同期比3.7%増。鉱石生産は、4.0%増。地金生産は3.5%増。
3. 2007年1～9月の世界の需給バランスは89千tの供給不足。

### (1) 国際価格(1～9月)

LME 鉛価格は需給のタイト化を受け、1,500US\$/t 台後半から 3,600US\$/t 台と高い水準で推移している。1月2日に 1,725US\$/t でスタートした後、1月17日に 1,575US\$/t まで下落した。その後は乱高下を繰り返しつつ史上最高値を更新し続け 2月末に 2,000US\$/t 台、5月末に 2,300US\$/t 台、6月下旬に 2,600US\$/t 台と急伸した。その後、7月中旬に 3,000US\$/t 台、7月23日には史上最高値の 3,480US\$/t に達した。その後は乱高下しつつも下落傾向になったが、9月に入り上昇を続け、9月27日には史上最高値の 3,600US\$/t に達した。その後、9月28日に 3,451US\$/t と高い水準で終了した。



出典：LME

鉛地金価格と在庫の推移



## (2) 需給(1~9月)

### 【需要】

2007年1~9月の世界消費は前年同期比で3.7%増の6,186千tであった。2位米国が微減、3位ドイツが前年並みとなったが、最大消費国の中国が20.5%と大幅増、4位韓国3.2%増、5位イタリア0.5%増により全体として増加した。

### 【供給】

2007年1~9月の鉱山生産は前年同期比4.0%増の2,707千tであった。2位豪州が7.0%減、5位メキシコが13.0%減であったが、最大生産国の中国が13.7%増、3位米国が1.2%増、4位ペルーが6.6%増により全体として増加した。

2007年1~9月の地金生産は前年同期比3.5%増の6,097千tであった。4位日本が0.5%減、5位英国が10.1%減であったが、最大生産国の中国が5.8%増、2位米国が1.0%増、3位ドイツが1.4%増となり全体として増加した。

### 【需給バランス】

2007年1~9月の需給バランスは、米国備蓄放出を考慮しても89千tの供給不足となった。

LME在庫は7月末約38千t、8月末約25千t、9月末約22千tと回復傾向にあるが依然低い水準である。

## 鉛の需給状況

(単位：千t)

鉛	2006年					2007年				前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	1-9月合計		
鉱山生産量	837	863	863	857	3,442	875	885	942	2,707	4.0	6.5
地金生産量	1,999	2,038	1,873	2,036	7,937	2,009	2,104	1,969	6,097	3.5	-6.4
米国備蓄放出	9	7	0	0	17	0	0	0	0	-	-
消費量	1,926	2,009	1,964	2,035	7,953	2,041	2,087	2,034	6,186	3.7	-2.5
需給バランス	83	36	-91	1	1	-32	18	-64	-89	-	-

※データは国際鉛亜鉛研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際鉛亜鉛研究会資料

## (3) 今後の需給見通し(国際鉛亜鉛研究会予測)

世界の鉛地金消費量は2007年に8,320千t、2008年に8,670千tと見込まれ、それぞれ前年比約4%増となる。この伸びは主に中国での消費が自動車等に用いる鉛蓄電池の生産増加により2007年に前年比17%増、2008年に同10.2%増と見込まれるためである。米国では2007年は前年並み、2008年は2%増、欧州では2007年に0.6%減、2008年は1.6%増となる見込みである。

世界の鉛鉱山生産は2007年に前年比5.5%増の3,640千t、2008年に同10.4%増の4,020千tと見込まれる。この伸びは主に中国、サン・クリストバル鉱山の生産が許可されたボリビアによる。この他、マケドニア、ポルトガル、ロシア、スウェーデンなど欧州でも増産が見込まれる。

世界の鉛地金生産は2007年に前年比3.9%増の8,230千t、2008年に同5.4%増の8,670千tと見込まれる。この伸びはカナダ、中国、インド、カザフスタン、ポーランド、英国、米国の増産によるものである。

2007年には89千tの供給不足となり、2008年には需給がほぼバランスする見込みである。

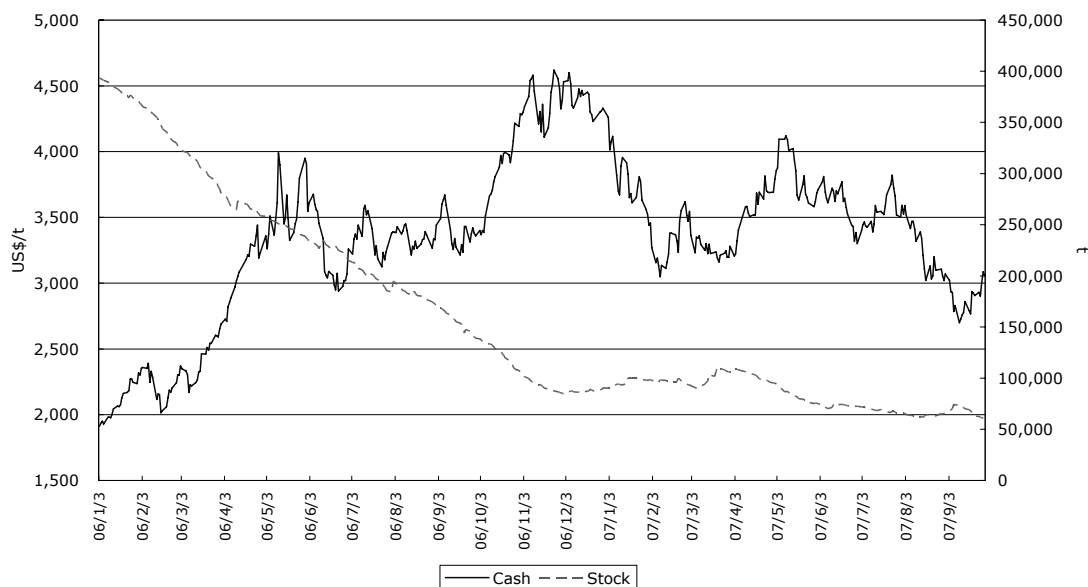
また、関係機関の予測によると、2007年には28千tの供給不足、2008年には75千tの供給超過となる見込みである。

### 3. 亜鉛

1. 亜鉛の国際価格は、下落傾向にあるが、需給がタイトなことにより依然高い水準にある。
2. 2006年1～9月の消費は前年同期比3.3%増。鉱山生産は7.8%増。地金生産は7.6%増。
3. 2006年1～9月の世界の需給バランスは39千tの供給不足。

#### (1) 国際価格(1～9月)

LME 亜鉛価格は1～9月は需給がタイトなこともあり、乱高下しつつ2,700～4,200US\$/t 台で推移した。1月2日に4,259US\$/t でスタートした後は減少傾向にあり、2月8日に3,050US\$/t まで下落した。その後は乱高下しつつも上昇傾向に転じ5月9日に4,120US\$/t まで上昇した。その後、上下はあったものの再び下落傾向に転じ7月24日に一旦3,820US\$/t まで上昇したものの、9月18日に2,766US\$/t まで下落した。その後9月28日に3,059US\$/t と依然高い水準で終了した。



出典：LME

亜鉛地金価格と在庫の推移

(2) 需給(1~9月)

2007年1~9月の世界消費は前年同期比で3.3%増の8,489千tであった。2位の米国が7.9%減、5位韓国3.9%減となったが、最大消費国の中国が10.2%増、3位日本が0.7%増、4位のドイツが2.4%増となり全体として増加した。

2007年1~9月の鉱山生産は前年同期比で7.8%増の8,404千tであった。5位カナダが3.6%減となったが、最大生産国の中国が16.1%増、2位ペルーが25.1%と大幅増、3位豪州が5.2%増、4位の米国が6.3%増となり全体として増加した。

2007年1~9月の地金生産は前年同期比で7.6%増の8,443千tであった。2位カナダが1.5%減、4位日本が2.0%減となったが、最大生産国の中国が19.7%増、3位韓国が4.4%増、5位スペインが2.4%増となり全体として増加した。

2007年1~9月の需給バランスは8月に一旦供給超過となったが3月以降は供給不足で推移しており、米国備蓄放出を考慮しても39千tの供給不足となった。

LME在庫量は7月末に66千t、8月末に65千t、9月末に61千tと減少傾向で推移し、依然低い水準にある。

亜鉛の需給状況

(単位：千t)

亜鉛	2006年					2007年				前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	1-9月合計		
鉱山生産量	2,521	2,646	2,646	2,623	10,400	2,681	2,887	2,837	8,404	7.8	-1.7
地金生産量	2,580	2,677	2,652	2,834	10,672	2,809	2,840	2,796	8,443	7.6	-1.6
米国備蓄放出	11	8	12	-2	28	1	5	1	8	-	-
消費量	2,722	2,790	2,754	2,811	11,049	2,760	2,902	2,818	8,489	3.3	-2.9
需給バランス	-131	-106	-90	21	-342	49	-57	-21	-39	-	-

※データは国際鉛亜鉛研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際鉛亜鉛研究会資料

(3) 今後の需給見通し(国際鉛亜鉛研究会予測)

世界の亜鉛地金消費は、2007年に前年比3%増の11,380千t、2008年に同5.1%増の11,960千tと見込まれる。中国の消費は2007年に8.8%増、2008年に12.1%増と堅調な伸びで、インドでの消費の伸びがそれに続く。米国では2007年は1.9%減、2008年は前年並みとなる見込みである。欧州では、ベルギーとイタリアでの伸びにより2007年に2.5%増、2008年に1.4%増となる見込みである。

世界の亜鉛鉱山生産は、2007年に前年比7.4%増の11,180千t、2008年に同9.5%増の12,240千tと見込まれる。ボリビアでは生産開始したサン・クリストバル鉱山により増加し、豪州、カナダでも2007、2008年に多くの鉱山が生産許可され顕著な伸びが見込まれる。ペルーでもアンタミナ鉱山の増産、セロ・リンド鉱山の新産開始により増加する見込み。この他、中国、ブラジル、インド、アイルランド、カザフスタン、メキシコ、ポルトガル、米国等を含む多数の国で増加が見込まれる。

世界の亜鉛地金生産は2007年に前年比5.9%増の11,320千t、2008年に同7.8%増の12,200千tと見込まれる。中国、インドで顕著な伸びとなり、特にインドではヒンドスタン・ジンの設備能力170千t/年のシャンデリア製錬所が2007年末に生産開始し伸びに寄与する。欧州ではベル

ギー、フィンランド、フランス、ポーランド、ロシア、スペインで増加し、この他豪州、カザフスタン、韓国、タイ、米国でも伸びる見込みである。

需給バランスは2007年に約47千tの供給不足となるが、2008年には供給超過に転じる見込みである。

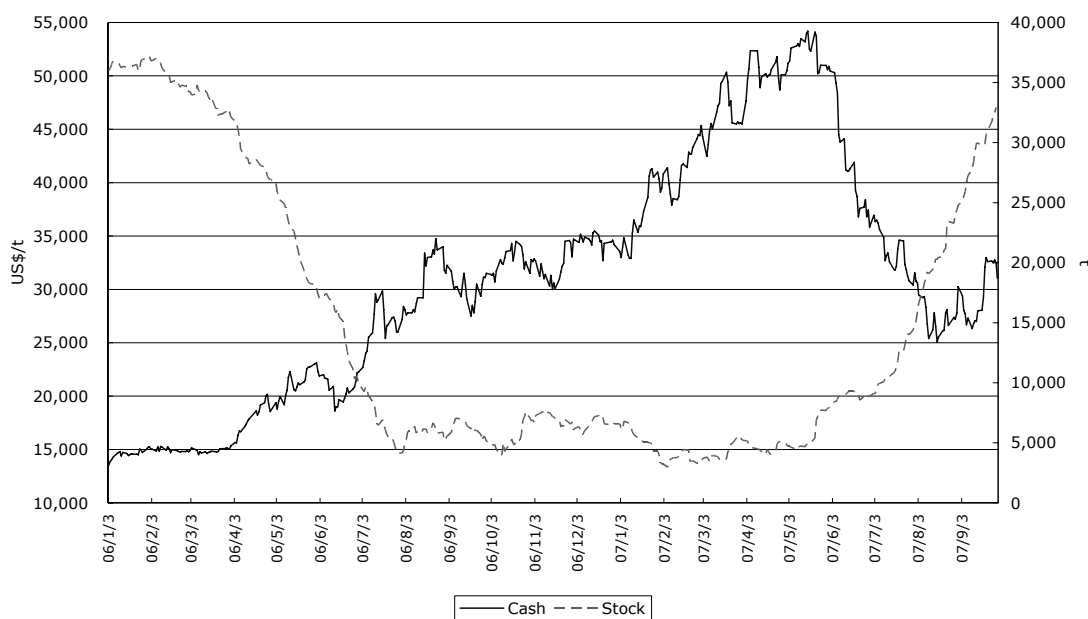
また、関係機関の予測によると、2007年には85千tの供給不足、2008年には548千tの供給超過となる見込である。

#### 4. ニッケル

1. ニッケルの国際価格は需給が緩和されたことにより6月以降は下落傾向となった。
2. 2007年1～9月の世界消費は前年同期比3.7%減。鉱山生産は12.4%増。地金生産は8.3%増。
3. 2007年1～9月の世界の需給バランスは80千tの供給超過。

##### (1) 価格(1～9月)

LME ニッケル価格は1～5月には需給がタイトで引き続き投機資金の流入が活発なこともあり高値かつ上昇傾向で推移したが、その後は需給が緩和されたことにより、下落傾向に転じた。1月2日に33,550US\$/tでスタートした後は一旦、1月10日に32,900US\$/tまで下落したが、その後は乱高下しつつも、史上最高値更新を続け5月16日には54,200US\$/tまで達した。その後、需給の緩和がしたことで、6月に入りLMEが大口保有者の取引制限したことにより下落傾向が続き、6月に入り50,000US\$/t台、6月中旬には40,000US\$/t台、8月に入り30,000US\$/t台を割り込み、8月16日に25,055US\$/tまで下落した。その後は回復傾向となり9月28日に31,050US\$/tで終了した。



出典：LME

ニッケル地金価格と在庫の推移

## (2) 需給(1~9月)

### 【需要】

ニッケルの1~9月の世界消費は前年同期比で3.7%減の1,002千tであった。第1位の中国が31.7%と大幅増となったが、第2位の日本が9.1%減、第3位米国が5.7%減、第4位ドイツが6.4%減、第5位の台湾が21.0%と大幅減となり全体として減少した。

### 【供給】

ニッケルの1~9月の鉱山生産は前年同期比で12.4%増の1,215千tであった。第1位のロシア0.7%増、第2位のカナダ14.2%増、第3位のインドネシアが34.6%と大幅増、第4位の豪州が15.5%増、第5位のニューカレドニアが15.5%増と世界的な増加傾向により全体として増加した。

ニッケルの1~9月の一次生産は前年同期比で8.3%増の1,082千tであった。第1位のロシアが3.5%減となったが、第2位中国が72.2%と激増、第3位の日本が9.5%増、第4位カナダが6.5%増、第5位豪州が2.0%増となり全体として増加した。

### 【需給バランス】

1~9月の需給バランスは、80千tの供給超過となった。

LME在庫は2月末に3.3千tまで減少したが、それ以後は回復傾向にあり、7月末に14千t、8月末に24千t、9月末に32千tと推移している。

表1 ニッケルの需給状況

ニッケル	2006年					2007年				前年同期比(%)	対前期比(%)
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	2006年計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	1-9月		
鉱山生産量	352	368	360	388	1,468	401	414	400	1,215	12.4	-3.2
一次生産量	337	334	328	360	1,359	360	367	355	1,082	8.3	-3.4
消費量	334	351	355	360	1,401	362	341	300	1,002	-3.7	-12.1
需給バランス	3	-17	-27	-1	-42	-2	26	55	80	-	-

※データは国際ニッケル研究会のものを使用しているが合計等は必ずしも合わない。

出典：国際ニッケル研究会

## (3) 今後の見通し(国際ニッケル研究会予測)

国際ニッケル研究会によると、2007年のニッケル消費は前年比4.6%減の133.5万tで、ニッケル一次生産は同7.9%増の147.0万tとなり、需給バランスは約13.5万tの供給過剰と予測している。

## II. 世界の主要生産者の動向

### 1. 銅企業の動向

主要銅生産企業 15 社を対象としている。ただし、Xstrata、Barrick Gold については 2006 年の詳細なデータがなかった。6 位 Anglo American は半期レポートのみの刊行であり第 3 四半期のデータがなかった。

主要企業の生産動向としては、1 位 CODELCO はストライキの影響により、前年同期比(1-9 月) 2.7% 減であった。2 位 Freeport McMoRan は Cerro Verde 鉱山の生産開始、Grasberg 鉱山の回復等により 13.8% と大幅増であった。3 位 BHP Billiton は Escondida 鉱山の増産(主に SX-EW 部分)、Spence 鉱山(SX-EW)の生産開始により 14.4% 増であったが、前期比で見ると各鉱山の減産傾向により 9.9% 減となった。5 位 Rio Tinto は Kennecott Utah 鉱山、Northparkes 鉱山の減産により 6.2% 減、7 位 Grupo Mexico は 9.9% 増、8 位 KGHM は 3.2% 減、9 位 Antofagasta は Los Pelambres 鉱山等の減産により 6.5% 減、10 位 Kazakhmys は Kounrad 鉱山、Zhezkazgan Complex 鉱山での減産により 6.7% 減、11 位 Norilsk は 4.4% 減、12 位 Teck Cominco は Highland Valley 鉱山での減産により 8.7% 減、13 位 CVRD は Inco 買収により Sudbury 鉱山を取得したことにより、約 2.5 倍へと劇的に増加、15 位 Newmont は Batu Hijau 鉱山の高品位化により 14.1% 増となった。

#### 主要銅鉱山生産者の生産実績

単位：千 t

		2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2006 年 合計	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期	2007 年 第 3 四半期	前年同期比 (%)
1	CODELCO	377	476	381	549	1,783	382	423	396	-2.7
2	Freeport McMoRan	375	387	421	423	1,606	485	440	421	13.8
3	BHP Billiton	319	312	250	301	1,181	358	342	308	14.4
4	Xstrata	-	-	-	-	1,011	449	-	-	-
5	Rio Tinto	203	207	183	210	803	198	186	173	-6.2
6	Anglo American	300		344		644	308		-	-
7	Grupo Mexico	161	124	141	180	606	172	159	138	9.9
8	KGHM	136	136	140	144	556	129	132	138	-3.2
9	Antofagasta	107	101	126	131	466	106	106	101	-6.5
10	Kazakhmys	95	108	111	120	434	105	97	92	-6.7
11	Norilsk	109	109	101	106	425	101	100	104	-4.4
12	Teck Cominco	59	62	63	70	254	53	53	62	-8.7
13	CVRD	22	30	32	84	168	77	68	64	148.8
14	Barrick Gold	-	45	43	45	133	45	46	45	54.5
15	Newmont	19	28	24	36	107	23	24	34	14.1
	15 社計	2,132	2,275	2,189	2,570	10,177	2,611	2,556	2,074	-

\* 数値は基本的に鉱山生産量で各社ホームページが出典

\* 「前年同期比」は累積比であり、各年の 1-9 月期毎の比較となる。

\* Phelps Dodge は Freeport McMoRan に 2007 年 3 月買収された。Freeport McMoRan の数値は両社の合計である。

\*1: BHP Billiton は地金生産(SX-EW)を含む

\*2: KGHM は地金ベースの発表

## 2. 亜鉛企業の動向

主要な亜鉛生産企業 10 社と中国を対象としている。ただし、Xstrata、Glencore、Volcan については詳細なデータが無かった。Anglo American は半期レポートのみの発行であり、第 3 四半期のデータは出ていない。

主要企業の生産動向としては、2 位 Teck Cominco は Red Dog 鉱山、Antamina 鉱山の増産により前年同期比 11.5%増、3 位 Zinifex は Century 鉱山での増産により 5.9%増、5 位 Vedanta は 4.7%増となった。7 位 Boliden は Tara 鉱山での品位向上により 2.6%増であった。9 位 Penoles は 4.7%減であった。10 位 BHP Billiton は Antamina 鉱山、Cannington 鉱山の増産により 40.1%と大幅増となった。

### 主要亜鉛鉱山生産者の生産実績

単位：千 t

		2006 年 第 1 四半期	2006 年 第 2 四半期	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2006 年 合計	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期	2007 年 第 3 四半期	前年 同期比(%)	出 典
1	Xstrata	-	-	-	-	670	377		-	-	
2	Teck Cominco	150	154	174	148	626	167	176	190	11.5	1
3	Zinifex	148	151	136	143	578	143	164	154	5.9	1
4	Glencore	-	-	-	-	516	-	-	-	-	2
5	Vedanta	125	131	125	128	509	121	135	143	4.7	1
6	Anglo American	170		165		335	169		-	-	1
7	Boliden	89	80	76	82	328	89	87	76	2.6	1
8	Volcan	-	-	-	-	295	-	-	-	-	2
9	Penoles	53	54	48	51	206	50	48	50	-4.7	1
10	BHP Billiton	28	28	24	20	100	36	39	37	40.1	1
	中国	648	708	661	731	2,837	748	871	827	21.3	3
	10 社+中国の計	1,326	1,391	1,326	1,385	6,998	1,625	1,792	1,478	-	

出典 1：各社ホームページ、2：Raw Material Data、3：国際鉛亜鉛研究会

\* 「前年同期比」は累積比であり、各年の 1-9 月期毎の比較となる。

\* Xstrata、Anglo American は半期レポートしか出ていないため、半期レポートの数字の 1/2 として合計を算出している。  
また、Glencore、Volcan は詳細が不明なため各四半期の合計には含まれない。



### 3. ニッケル企業の動向

主要なニッケル生産企業7社とキューバ、中国を対象としている。ただし、Xstrata、Antamについては詳細なデータが無かった。Anglo Americanは半期レポートのみの刊行であり第3四半期のデータがなかった。

主要企業の生産動向としては、1位 Norilskは2007年6月のLionOre(豪州、アフリカで生産)の取得により13.7%増、同じく1位 CVRD(リオドセ、2006年10月にIncoを買収)は前年同期並、3位 BHP Billitonは前年同期比4.6%増であったが、Yabulu 鉱山、Nickel Westの減産により前期比では19.1%減となった、5位 Erametはニューカレドニアでのストライキにより3.6%減となった。

#### 主要ニッケル生産者の生産実績

単位：千t

	2006年 第1四半期	2006年 第2四半期	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2006年 合計	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期	前年 同期比(%)	出 典
1 Norilsk Nickel	60	61	61	62	244	61	71	75	13.7	1
1 CVRD	59	61	58	65	243	61	62	55	0.1	1
3 BHP Billiton	40	42	45	48	175	46	48	39	4.6	1
4 Xstrata	-	-	-	-	76	40	-	-	-	1
5 Eramet	34	-	14	13	60	15	15	16	-3.6	1
6 Antam	-	-	-	-	60	-	-	-	-	2
7 Anglo American	14	-	13	-	27	13	-	-	-	1
キューバ	20	20	20	20	78	20	20	20	1.5	3
中国	16	18	18	16	69	16	17	17	-4.0	3
7社+2国の計	219	224	221	231	787	245	259	221	-	

出典 1：各社ホームページ、2：Raw Material Data、3：国際ニッケル研究会

\* 「前年同期比」は累積比であり、各年の1-9月期毎の比較となる。

\* 四半期毎の合計は数値が公表されているもののみ含まれている。

### Ⅲ. 主要企業の2007年第3四半期動向レビュー

#### 1. Corporación Nacional del Cobre, Chile (CODELCO)

- ・2007年第3四半期のEl Abra 鉱山を除くCODELCO売上高は、前年同期比10.0%減の27.5億US\$、営業利益は前年同期比9.7%減の23.6億US\$となった。また、純利益は前年同期比25.9%減の7.1億US\$となった。
- ・2007年の第3四半期の銅生産量(El Abra 含む)は、前年同期比3.9%増の396千tとなった。キャッシュコストは2007年第2四半期の31.1¢/lbから僅かに減少し30.8¢/lbとなった。

#### (1) トピックス

- ・2007年第3四半期の余剰金は前年同期比21.2%減の20.7億\$ (法人所得税：9.0億\$、銅機密法に基づく軍への拠出金：3.6億\$、鉱業特別税：0.9億\$、純利益：7.1億\$) となった。
- ・2007年第3四半期の銅生産量はCODELCO Norteの増産により、前年同期比3.9%増の396千tとなった。その内訳はCODELCO Norteが224千t(前年同期比35.8%増)、Salvadorが11千t(同50.0%減)、Andinaが51千t(同12.1%減)、El Tenienteが91千t(同15.8%減)、El Abraが19千t(同32.2%減)であった。
- ・6月25日に発生した下請け従業員のストライキにより、2007年第3四半期は大幅な減収・減益となった。
- ・アルゼンチンからの天然ガス供給停止による電力不足に対処するため、チリ最大の石炭火力発電所(発電能力800MW)の建設を決定し、9月11日に環境影響報告書を提出した。
- ・鉱山用水確保のため海水淡水化プロジェクトの可能性を検討し、2008年半ばまでにプラント建設の可否を決定する見込みである。

#### (2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
売上高	*12,974		2,320	3,326	2,748
営業利益	2,619	2,193	1,726	2,914	2,364
当期損益	964	684	635	1,005	714

注1) 売上高はEl Abraを除く、\*印は2006年全体の売上高

#### (3) 生産状況

##### 1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：千t)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅	381	549	382	423	396

2) 主要保有鉱山生産状況

(単位：千 t)

ディビジョン名	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
CODELCO Norte (100%)	165	330	192	225	224
Salvador (100%)	22	21	18	16	11
Andina (100%)	58	59	57	55	51
El Teniente (100%)	108	114	94	107	91
El Abra (49%)	28	25	21	20	19
直接コスト (¢/lb)	30.8	37.4	28.0	31.1	30.8

注1) 生産量は銅金属純分

注2) 第2四半期以降のキャッシュコストは累積平均

注3) El Abra の生産量は CODELCO シェア分

## 2. BHP Billiton Limited

- ・銅生産量\*1は、対前四半期比 10%減少、対前年同期比 23%増加となった。Escondida 鉱山硫化鉱浸出プロジェクトと Spence プロジェクト(共にチリ)の生産開始が対前年同期生産量増加に貢献したが、Spence プロジェクトにおいて酸化鉱よりも浸出時間を要する硫化鉱の割合が増えたことにより、生産量は対前四半期で減少した。Olympic Dam 鉱山(南オーストラリア州)は、製錬所での計画外のメンテナンスと鉱石品位低下の影響から生産が減少した。Cerro Colorado 鉱山(チリ)は品位向上により生産増加となり、他鉱山の生産減少を補った。
- ・銀生産量\*2は、対前四半期比 4%減少、対前年同期比 51%増加となった。Cannington 鉱山(クィーンズランド州)の修復工事完了、Escondida 鉱山と Antamina 鉱山(ペルー)での好調な操業が対前年同期での生産増加に貢献した。
- ・鉛生産量\*3は、対前四半期比 2%減少、対前年同期比 25%増加となった。Cannington 鉱山の修復工事は完了したが、鉱石品位低下がその効果を一部相殺した。
- ・亜鉛生産量\*3は、対前四半期比 5%減少、対前年同期比 55%増加となった。Antamina 鉱山の鉱石品位向上と亜鉛含有率の高い鉱石を処理したこと、Cannington 鉱山の修復工事が完了したことが対前年同期での生産量増加に寄与した。
- ・ウラン生産量\*5は、対前四半期比 6%減少、対前年同期比 18%増加となった。Olympic Dam 鉱山での採掘量、回収率向上、製錬所のメンテナンス完了が生産量の対前年同期での増加に寄与したが、品位低下と処理量減少により、対前四半期では減少となった。
- ・ニッケル生産量\*4は、対前四半期比 19%減少、対前年同期比 13%減少となった。Kalgoorlie 製錬所(西オーストラリア州)の法定メンテナンス、Yaburu 精錬所(クィーンズランド州)の定期メンテナンスが影響した。
- ・マンガン鉱石生産量は、対前期比 5%減少、対前年同期比 4%減少となった。Samancor(南アフリカ)でのメンテナンスが影響した。マンガン合金生産量は、対前期比 1%減少、対前年同期比では 16%増加となった。生産の最適化、設備能力の効率向上が寄与した。

(非鉄金属のみ記載)

\*1) 精鉱中の金属純分量と地金をあわせた生産量

\*2) 精鉱中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

\*3) 精鉱中の金属純分量

\*4) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量(Nickel West)

\*5) 精鉱中のウラン酸化物量

\*6) Earnings before interest and tax

出典) BHP Billiton Production Report for the Quarter Ended 30 September 2007, 23 October 2007

### (1) トピックス

- ・ 天然ガス、Bass Strait の液化天然ガス、Escondida 鉱山と Antamina 鉱山の銀、Worsley アルミナ、西オーストラリア州の鉄鉱石、Illwarra 原料炭、Hunter Valley 燃料炭(共にニューサウスウェルズ州)、Hillside アルミニウム製錬所(南アフリカ)、Samarco 鉄鉱石(ブラジル)、Gerrejon 燃料炭(コロンビア)で記録的な生産量を上げた。
- ・ 西オーストラリア州の鉄鉱石生産拡張計画「Iron Ore's Rapid Growth Project 2」が計画していた生産能力に達し、記録的な生産量となった。

出典) BHP Billiton Production Report for the Quarter Ended 30 September 2007, 23 October 2007

## (2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2005年12月末 (6か月)	2006年6月末 (6か月)*1	2006年12月末 (6か月)	2007年6月末 (6か月)*2
売上高 Revenues	18,080	21,019	22,113	25,360
当期利益 Attributable project	4,364	6,086	6,168	7,248
探鉱費 *3	350	416	312	310

\*1 2005年7月～2006年6月の12か月分から2005年7月～2005年12月の6か月分を差引いた数値

\*2 2006年7月～2007年6月の12か月分から2006年7月～2006年12月の6か月分を差引いた数値

\*3 石油を含む

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 June 2007, 24 July 2007

BHP Billiton Result for the Year ended 30 June 2007, 22 August 2007

BHP Billiton Result for the Half Year ended 31 December 2006, 7 February 2007

BHP Billiton Annual Financial Statements for the Year ended 30 June 2006, 25 September 2006

## (3) 生産状況

### 1) 主要鉱産物の生産状況

鉱産物	2006 第3四半期	2006 第4四半期	2007 第1四半期	2007 第2四半期	2007 第3四半期
銅鉱石 (000t) *1	158.7	194.7	202.3	196.9	194.5
銅地金 (000t) *2	91.2	106.0	155.3	145.2	113.3
鉛鉱石 (t) *3	48,977	36,454	62,974	62,409	61,073
亜鉛鉱石 (t) *4	24,011	19,776	35,760	39,148	37,259
金 (ounce) *5	41,160	38,564	43,904	52,443	40,313
銀 (000ounce) *5	7,349	6,566	11,025	11,625	11,124
ウラン (U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> t) *6	793	822	883	988	933
ニッケル (000t) *7	44.5	48.3	45.8	47.7	38.6
モリブデン鉱石 (t) *1	719	768	288	493	693
マンガン鉱石 (000t)	1,509	1,529	1,452	1,519	1,445
マンガン合金 (000t)	159	191	196	186	184
アルミナ (000t)	1,078	1,153	1,085	1,144	1,153
アルミニウム (000t)	337	338	331	334	337
鉄鉱石 (000t) *6	25,003	25,454	23,026	25,941	26,001
原料炭 (000t) *7	9,247	8,966	9,084	11,132	9,572
燃料炭 (000t)	21,782	22,030	20,930	22,283	19,623
石油等 (百万 boe) *8	30.52	27.52	27.68	30.47	30.34

\*1) 精鉱中の金属純分量

\*2) カソード

\*3) 精鉱中の金属純分量(Olympic Dam 鉱山・精錬所の精錬金、精錬銀を含む)

\*4) 精鉱中のウラン酸化物量

\*5) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分(Nickel West)

\*6) Wet t

\*7) 一部燃料炭を含む

\*8) boe : 石油換算バレル

出典) BHP Billiton Production Report for the Quarter Ended 30 September 2007, 23 October 2007

2) 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

鉱山名、製錬所名	2006 第3四半期	2006 第4四半期	2007 第1四半期	2007 第2四半期	2007 第3四半期
Escondida 鉱山 (銅 000t) *1	129.7	160.6	178.1	170.5	167.0
Antamina 鉱山 (銅 000t) *1	29.0	34.1	24.2	26.4	27.5
Tintaya 鉱山 (銅 000t) *1.*2	-	-	-	-	-
Escondida (銅カソード 000t)	17.5	32.7	38.2	37.7	30.9
Cerro Colorado (銅カソード 000t)	30.0	27.4	28.1	20.3	23.1
Spence (銅カソード 000t)	-	4	33.5	37.7	23.9
Pinto Valley (銅カソード 000t)	2.1	1.9	1.9	1.9	1.8
Olympic Dam 鉱山 (銅カソード 000t)	41.6	39.7	53.6	47.6	33.6
Cannington 鉱山 (鉛 t) *1	48,977	36,454	62,974	62,409	61,073
Cannington 鉱山 (亜鉛 t) *1	10,426	8,806	15,095	11,355	14,503
Antamina 鉱山 (亜鉛 t) *1	13,585	10,970	20,665	27,793	22,756
Escondida 鉱山 (金 oz) *1	17,049	22,365	21,243	23,754	23,194
Olympic Dam 鉱山 (金 oz) *3	24,111	16,199	22,661	28,689	17,119
Escondida 鉱山 (銀 000oz) *1	724	880	920	990	1,116
Antamina 鉱山 (銀 000oz) *1	713	736	749	934	1,056
Cannington 鉱山 (銀 000oz) *1	5,714	4,805	9,160	9,426	8,759
Olympic Dam 鉱山 (銀 000oz) *1.*4	198	145	196	275	193
Olympic Dam 鉱山 (U <sub>3</sub> O <sub>8</sub> t) *5	793	822	883	988	933
Antamina 鉱山 (Mo t) *1	719	768	288	493	693
CMSA (ニッケル 000t) *6	12.7	12.8	12.8	12.7	12.5
Yabulu 鉱山 (ニッケル 000t) *6	7.3	7.5	8.0	9.3	5.5
Nickel West (ニッケル 000t) *6	24.5	28.0	25.0	25.7	20.6
Mt. Newman JV (鉄鉱石 000t)	7,394	7,536	6,711	7,665	7,904
Gold worthy JV (鉄鉱石 000t)	806	84	142	195	134
Area C JV (鉄鉱石 000t)	4,821	5,334	4,853	5,078	4,916
Yandi JV (鉄鉱石 000t)	8,504	9,106	8,277	9,661	9,823
Jimblebar (鉄鉱石 000t)	1,490	1,449	1,177	1,341	1,157
Samarco (鉄鉱石 000t)	1,988	1,945	1,866	2,001	2,067
南アフリカ国内 (マンガン鉱石 000t) *7	644	663	632	631	572
オーストラリア国内 (マンガン鉱石 000t) *7	865	866	820	888	873
南アフリカ国内 (マンガン合金 000t) *7	99	125	132	137	123
オーストラリア国内 (マンガン合金 000t) *7	60	66	64	49	61
BMA (原料炭 000t)	6,657	6,106	6,478	7,442	5,917
BHP Mitsui Coal (原料炭 000t) *8	873	873	1,067	2,047	1,454
Illawarra (原料炭 000t)	1,717	1,987	1,539	1,643	2,201
南アフリカ国内 (燃料炭 000t)	13,151	13,032	12,863	12,596	11,706
オーストラリア国内 (燃料炭 000t)	2,766	2,790	2,731	2,610	2,918
Worsely (アルミナ 000t)	704	776	708	768	768

\*1) 精鉱中の金属純分量

\*2) Tintaya 鉱山は 2006 年 6 月 1 日に売却

\*3) 精錬金

\*4) 精錬銀

\*5) 精鉱中のウラン酸化物量

\*6) ニッケル地金及びニッケルマット中の金属純分量

\*7) 100%ベース(BHP Billiton 社の権益は 60%)

\*8) 100%ベース(BHP Billiton 社分の権益は 80%)

出典) BHP Billiton Production Report for the Quarter Ended 30 September 2007, 23 October 2007

(4) 開発（非鉄金属）

プロジェクト名 (権益、国)	鉱種	開発費*1 (百万 US\$)	生産開始	生産能力*2	進捗状況
Yabulu (100%、QLD 州)	ニッケル	556	2008 年 第 1 四半期	ニッケル地金 45,000t/年	・スケジュールと費用を見直す。 ・工事は完了し、試運転を実施。 Ravensthorpe 鉱山からの鉱石供給を受けて生産開始予定。
Cliff (100%、WA 州)	ニッケル	139	2008 年 上半期	ニッケル鉱石 360,000t/年	・予算とスケジュールは計画通り。 ・プロジェクト全体の進捗は 15%。 ・立坑及び通気系、坑内建設等を実施。
Rapid Growth 3 (RGP3) (85%、WA 州)	鉄鉱石	1,300	2007 年 第 4 四半期	鉄鉱石 20 百万 t/年	・スケジュール、費用とも計画通り進捗。 ・エンジニアリングと調達は完了。 ・建設の進捗は 85%。 ・初期試運転を開始。 ・本プロジェクトは、Iron Ore Area C の開発とそれに伴う鉄道・港の能力拡大が目的。
Rapid Growth 4 (RGP4) (86.2%、WA 州)	鉄鉱石	1,850	2010 年 上半期	鉄鉱石 26 百万 t/年	・スケジュール、費用とも計画通り進捗。 ・エンジニアリング進捗は 50%以上、調達作業を継続中。 ・全ての現場に土木作業コントラクターが到着。
Samarco 第 3 ペレット・プラント (50%、ブラジル)	鉄鉱石	590	2008 年 上半期	鉄鉱石 7.6 百万 t/年	・スケジュール、費用とも計画通り進捗。 ・プロジェクト全体の進捗は 86%。

\*1) 権益相当分

\*2) 100%ベース

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 September 2007, 23 October 2007

(5) 探査

- ・ 直轄及びジュニア探査企業との提携により、探査を実施。2007 年 9 月末四半期の BHP Billiton 社の探鉱支出額(石油は除く)は 109 百万 US\$であった。

- ・ 主な対象鉱種・対象国

銅 : オーストラリア、チリ、モンゴル、コンゴ民主共和国、カザフスタン

ニッケル : オーストラリア、ブラジル、アフリカ（ブルンジ、タンザニア）

鉄鉱石・石炭・燐・ボーキサイト : オーストラリア、南米、カナダ、西アフリカ

ダイヤモンド初期探鉱 : アンゴラ、コンゴ民主共和国

出典) BHP Billiton Quarterly Report on Exploration and Development Activities Quarter ended 30 September 2007, 23 October 2007

(6) その他

- ・ 特になし

### 3. Grupo Mexico

- ・ 2007年第3四半期の売上高、純益は、カナネア鉱山のストライキによる操業停止にもかかわらず、各々前年同期比13.2%増の18.65億US\$、27.0%増の4.99億US\$を達成、好調な業績が続いている。

#### (1) トピックス

- ・ 2007年第3四半期の売上高は1,865,264千US\$(前年同期比13.2%増)、純益は498,873千US\$(同27.0%増)と引き続き好調。
- ・ 2007年第2四半期の総投資額は、前年同期比28.7%増の169,530千US\$。主な投資先は、鉱山部門でのリーチング設備の拡張及び鉄道部門での新設備。
- ・ メキシコの8つの鉱業所の労組員4,201名が、現在加入しているSTMMRMを脱退し、2006年に組織されたメキシコ全国鉱山・探鉱・採掘・選鉱労組(SNEEBMRM: el Sindicato Nacional de Trabajadores de la Exploración, Explotación y Beneficio de Minas de la República Mexicana)へ加盟変更することを9月5日に決定。
- ・ 鉱業部門がISO-14001を取得。
- ・ カナネア銅山ストライキの影響を考慮し、カナネア銅山の拡張計画、グアイマスの新製錬所建設計画及びブエナビスタ鉱山の開発計画を凍結。

#### (2) 財務状況

(単位: 百万US\$)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
売上高	1,647.6	1,883.2	1,575.4	2,088.9	1,865.3
営業利益	862.6	1,021.9	829.2	1,190.3	995.8
当期損益	392.7	447.3	437.9	524.8	498.9
負債総額	2,094.7	2,175.7	2,161.6	2,147.9	2,067.2
現預金	1,742.1	2,228.3	2,257.3	2,341.3	2,516.9
純負債	354.9	-52.6	-95.7	-193.3	-449.7
全投資(含探鉱)	131.7	318.3	127.6	130.1	169.5

#### (3) 生産状況(主要鉱産物)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅(千t)	141.3	179.6	171.6	159.2	137.8
銀(千kg)	124.1	139.7	140.1	131.5	107.4
金(kg)	187	265	235	204	145
モリブデン(千t)	2.30	3.74	3.68	3.88	4.39
亜鉛(千t)	36.8	33.4	32.4	33.4	29.3
鉛(千t)	4.9	5.0	4.5	4.9	4.9



(4) その他

- ・ GM 社の製錬所は、MM 社 3、SCC 社 2 の計 5 か所。
- ・ 鉄道部門子会社 ITM 社の純益は、前期 34.2 百万 US\$、当期 44.4 百万 US\$と安定収益を確保。

(参考) GM 社の組織( )内は GM 社権益比率)

鉱業部門 AMC 社(100%) — SCC 社(75.1%) — MM 社(0.85%)

└ ASARCO 社(100%)【米破産法申請中(2007年3月31日現在)】

鉄道部門 ITM 社(75%) — GFM 社(100%) — FERROMEX 社(74%)

└ FERROSUR(100%)

(注) SCC(Southern Copper Co.)社は、SPCC(Southern Peru Copper Co.)から社名変更(2005/10/11)。ペルー、メキシコ、チリで活動中。MM社の権益の99.15%を保有。

#### 4. Rio Tinto plc(四半期別の財務状況報告がないため、財務状況報告は最新の半期報告を掲載)

- ・ 2007年第3四半期の銅鉱石生産量は、鉱石の低品位化などにより、172.5千tと、前年同期比6%の減産。一方、銅地金生産量は、2006年同期におけるKennecott Utah Copper製錬所の計画的停止等の昨年の減少要因が解消したことにより30%増。

##### (1) トピックス

- ・ 2007年第3四半期における銅鉱石生産量は、Kennecott Utah 鉱山、Northparks 鉱山の鉱石の低品位化などにより、172.5千tと、前年同期比6%の減産。
- ・ 銅地金生産量は2007年第3四半期98.7千tと、前年同期比30%の増産であったが、主に2006年同期におけるKennecott Utah Copper製錬所の計画的停止等の昨年の減少要因が解消したことによるもの。
- ・ ウラン(U<sub>3</sub>O<sub>8</sub>)生産量は、豪州Ranger 鉱山における採掘計画の最適化等により、前年同期比5%増の3,105千lb。

##### (2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期	2007年 上半期
売上高	11,303	12,111	13,329	13,930
営業利益	4,477	4,964	5,388	4,662
当期損益	3,050	3,796	3,642	3,253

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
探鉱費	62	108	72	122	154

##### (3) 生産状況

###### 1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：千t、金属純分)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅鉱石	182.8	209.8	198.1	186.5	172.5
銅地金	75.6	54.0	101.6	100.7	98.7
モリブデン鉱石	4.7	4.2	4.7	3.8	3.5

※権益比率分のみ。最新四半期報告書において、2007年第2四半期以前のデータが改定された場合は、改定後による。

## 2) 主要保有鉱山、製錬所の生産状況

(単位：千 t、金属純分)

鉱山名、製錬所名	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
Bingham Canyon (銅鉱石)	68.9	66.4	54.1	55.6	49.5
Escondida (銅鉱石)	81.1	99.8	111.5	105.2	101.2
Grasberg (銅鉱石)	8.3	15.8	5.8	5.6	7.5
Northparks (銅鉱石)	16.8	17.8	13.7	9.8	5.6
Palabora (銅鉱石)	7.8	10.0	13.0	10.2	8.7
Kennecott Utah Copper (銅地金)	55.1	24.2	69.7	67.9	68.7
Escondida (銅地金)	9.1	17.1	19.9	19.7	16.1
Palabora (銅地金)	11.4	12.7	12.0	13.2	13.8

※権益比率分のみ。最新四半期報告書において、2007年第2四半期以前のデータが改定された場合は、改定後による。

## 5. Freeport-McMoRan Copper & Gold Inc. (FCX)

- ・北米 Morenci 鉱山で硫化精鉱リーチ電解採取工場の建設工事が完了し、試験操業に入る。
- ・2007年第3四半期決算は銅、金、モリブデン相場がともに高値水準を維持し、フェルプスドッジ(Phelps Dodge)との合併効果により大幅な増収増益決算を計上した。銅、金、モリブデン相場は2009年ごろまで好調に推移すると予想され、同社の売上也引き続き上昇していく見込みである。

### (1) トピックス

- ・ 純利益  
純利益は前年同期比 117%増の 7 億 6,300 万 US\$となった。
- ・ 生産量  
銅は 9 億 1,100 万 lb(41 万 3,200t)、金は 21 万 6,000oz、モリブデンは 1,800 万 lb(8,200t)、これにより通年累計は、銅が 29 億 5,800lb(134 万 1,700t)、金は 214 万 3,000oz、モリブデンは 5,300 万 lb(2 万 4,000t)となった。
- ・ 販売量  
銅が 9 億 4,900 万 lb(43 万 500t)、金 26 万 9,000oz、モリブデンが 1,600 万 lb(7,300t)。これにより 1-9 月累計では、銅が 25 億 113 万 4,000t)、金が 210 万 oz、モリブデンが 3300 万 lb(1 万 5,000t)となった。フェルプスドッジ(Phelps Dodge)との合併により 2007 年通年の販売量は、銅が 39 億 lb(176 万 9,000t)、金 230 万 oz、モリブデンが 6,800 万 lb(3 万 800t)を見込む。
- ・ キャッシュフロー（資金流動性）  
当期末は 22 億 US\$となっており、今後の平均相場が銅 3.50US\$/lb、金 750US\$/oz、モリブデン 30US\$/lb で推移すると、2007 年末のキャッシュフローは 62 億 US\$となる見込みである。
- ・ 資本支出  
当期は 4 億 6,600 万 US\$となっており、2007 年の通年では 19 億 US\$を計画している。
- ・ 借入金  
9 月 30 日現在の借入金は 87 億 US\$で、保有現金は 24 億 US\$となっている。6 月 30 日時点の借入金は 98 億 US\$で、保有現金は 21 億 US\$となっていた。2007 年第 4 四半期の地金価格が銅 3.50US\$/lb、金 750US\$/oz、モリブデン 30US\$/lb で推移すると年末時点の借入金は 73 億 US\$まで圧縮され、保有現金は 15 億 US\$となる見込みである。
- ・ 北米、南米、インドネシア各事業の 2007 年第 3 四半期に業績は以下のとおり。
  - 1) 北米事業
    - ①アリゾナ州の Morenci、Bagdad、Sierrita 銅山、ニューメキシコ州の Chino、Tyrone 銅山、コロラド州 Henderson モリブデン鉱山で構成されている。前者 5 鉱山は露天掘り鉱山である。アリゾナ州では Safford 銅山の建設を進めている。コロラド州では休止中の Climax モリブデン鉱山の生産再開に向けた調査を進めている。Morenci 銅山だけは持分 85%である。
    - ②銅生産は 3 億 5,700 万 lb(16 万 1,900t)、同販売は 3 億 7,600 万 lb(17 万 600t)、モリブデン生産は 1,800 万 lb(8,200t)、同販売は 1,600 万 lb(7,300t)となった。

- ③モリブデンは Henderson 鉱山で純度の高い鉱石を生産しているほか、Morenci、Bagdad、Sierrita、Chino の各銅山でも副産物として生産している。また、1995 年から休止している Climax 露天掘り鉱山の生産再開に向けフィージビリティ・スタディを実施中。2007 年の同販売量は 6,800 万 lb(3 万 800t) となる見込みである。
- ④2007 年のモリブデン生産量の 65%を長期契約で販売できる見込みで、2008 年は 75%を長契で販売する計画である。販売価格は四半期ベースの値決め交渉で決まるが、価格指標はメタルズウィーク誌の相場が採用されている。

## 2) 南米事業

- ①南米事業はチリの Candelaria、Ojos del Salado、El Abra とペルーの Cerro Verde の 4 銅山で構成される。Candelaria は露天掘り・坑内掘り鉱、Ojos del Salado は坑内掘り鉱で持分は 80%、El Abra は露天掘り鉱で持分 51%、Cerro Verde は露天掘り鉱で持分 53.6%となっている。
- ②Cerro Verde は 9 億 US\$投資して硫化鉱を処理できる新選鉱所が完成、銅精鉱生産を開始した。El Abra は小幅減産した。
- ③銅生産は 3 億 7,700 万 lb(17 万 1,000t)、同販売は 3 億 7,600 万 lb(17 万 600t)、金生産・販売はともに 3 万 1,000oz だった。

## 3) インドネシア事業

- ①パプア州の Grasberg 銅山が中核事業である。銅生産は 1 億 7,700 万 lb(8 万 300t)、同販売は 1 億 9,700 万 lb(8 万 9,400t)、金は生産が 18 万 2,000oz、販売は 23 万 4,000oz だった、鉱石品位の低下が減産の主因。
- ②2007 年の銅販売は 11 億 lb(49 万 9,000t)、金は 210 万 oz の見込みである。

## 4) 探鉱・開発状況

- ①Morenci 銅山—精鉱リーチ電解採取工場を新設、試験操業中である。投資額は選鉱場の再開を含み総額 2 億 5,000 万 US\$を予定。
- ②Safford 銅山—2006 年 8 月、5 億 8,000 万 US\$を投資し露天掘り鉱山 2 か所を開発、近く生産を開始するほか、SX-EW 工場も 2008 年初めに完成する予定。フル操業を 2008 年上半年中に開始し、年産 2 億 400 万 lb(10 万 8,900t)で操業する予定。
- ③Cerro Verde 銅山—9 億 US\$を投資し硫化鉱を処理する選鉱場を建設。粗鉱処理量は 10 万 8,000t/日。今後、年産 6 億 5,000 万 lb(29 万 4,800t) (FCX 持分は 3 億 4,800 万 lb)を生産する予定。この増強に伴い、モリブデン生産も今後 5 年間で年産 800 万 lb(3,600t) (同 400 万 lb)に増加する。
- ④El Abra 銅山—2006 年末、大規模硫化物鉱床の開発に関する FS 調査を終了。同鉱の開発により可鉱期間が 9 年延長でき、硫化鉱の生産も 2010 年から開始される予定である。そのため 2008—2011 年に 4 億 5,000 万 US\$の資本投資を行なう。
- ⑤Grasberg 銅山—露天掘り鉱の地下にある大規模な坑内掘り鉱の開発を進めている。2007 年第 3 四半期には、D0Z 鉱山の拡張を完成させ鉱石生産を日産 5 万 t に増強、さらに 8 万 t に

増強する予定である。また、Big Gossan 銅山の開発も進めており、2010 年から日産 7,000t の鉱石を生産する予定である。また、Grasberg 坑内掘り鉱、Kucing Liar 鉱床、D0Z 鉱山の今後の開発などでインフラ整備も継続して進める方針である。

⑥アフリカーコンゴ・カタンガ州にある Tenke Fungurume 銅コバルト鉱開発(持分 57.75%)で当期は電力供給などの投資を行なった。埋蔵量 1 億 300 万 t、銅品位 2.1%、コバルト品位 0.3%が見込まれている。生産開始は 2009 年はじめを予定。鉱山開発計画によれば、当初の 10 年間は高品位部(銅品位 4.6%、コバルト品位 0.4%)を対象に、銅、コバルトを年産、2 億 5,000lb(11 万 3,400t)、1,800 万 lb(8,200t)体制で操業する。投資総額は 6 億 5,000 万 US\$で FCX が 70%負担する。

2007 年は探鉱に 1 億 3,500 万 US\$を投資する計画である。北米では Safford 銅山の Lone Star 鉱床のボーリング調査、南米では Cerro Verde 及び Candelaria 銅鉱山、アフリカでは Tenke Fungurume 鉱山周辺の開発プロジェクト、インドネシアでは Deep Grasberg 鉱山、Kucing Liar 鉱山など周辺の開発を継続して実施する。また中断していた Grasberg 鉱山のブロック A や Papua で探鉱を再開する。

## (2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期	2007 年 第 3 四半期
売上高	1,636	1,642	2,302	5,807	5,066
営業利益	735	862	1,179	2,399	1,877
純利益	350	426	476	1,104	763
探鉱費	3	4	7	40	40

## (3) 生産状況

### 1) 主要鉱産物の生産状況(鉱山生産分)

鉱山		2006 年第 3 四半期			2007 年第 3 四半期		
		粗鉱量 (t/日)	生産量 (百万 lb)	品位(%)	粗鉱量 (t/日)	生産量 (百万 lb)	品位(%)
Cu	北米						
	選鉱	203,100	99	0.33	226,400	141	0.36
	SX-EW	772,600	223	0.32	797,600	216	0.21
	南米						
	選鉱	69,300	105	0.81	181,400	238	0.76
	SX-EW	265,600	176	0.42	286,700	139	0.45
	インドネシア	230,100	325	0.85	198,600	194	0.58
	合計	1,540,700	928	—	1,690,700	928	—
Au	インドネシア	230,100	456	0.83	198,600	327	0.70
	合計	230,100	456	0.83	198,600	327	0.70
Mo	北米						
	Henderson 鉱山	19,500	9	0.25	22,300	10	0.25
	副産物		7	—	—	8	—
	合計	19,500	16	0.25	22,300	18	0.25

注) Au 品位は g/t、Au 生産量は千 oz

2) 主要鉱産物の生産・販売状況 (2007 年第 3 四半期)

	銅			金			モリブデン		
	生産量 (百万 lb)	販売量 (百万 lb)	販売実 現価格 US\$/lb	生産量 (千 oz)	販売量 (千 oz)	販売実 現価格 US\$/oz	生産量 (百万 lb)	販売量 (百万 lb)	販売実 現価格 US\$/lb
フリーポート	177	197	3.63	182	234	694.95	—	—	—
北米	357	376	3.48	—	—	—	18	16	27.89
南米	377	376	3.63	31	31	679.30	—	—	—
合計	911	949	3.53	216	269	692.43	18	16	27.89

3) 部門別貢献状況

(単位：百万 US\$)

	フリーポート	北米	南米	アトランティック・ カップパー	PDIC	その他	合計
売上高	570	3,007	799	688	—	2	5,066
探鉱費	—	3	—	—	—	37	40
営業利益	399	630	800	1	—	47	1,877
資本支出	98	246	29	10	—	83	466

(カッコは赤字、PDIC はフェルプスドッジの電線事業)

## 6. KGHM Polska Miedź S.A. (KGHM)

- 銅及び銀の生産量が前年同期比増となり、2007年第3四半期の売上高は、銅・銀価格の上昇等により前年同期比2%増の3,411百万 PLN。当期利益は、売上コスト及び操業コストの減少等により、前年同期比23%増の1,163百万 PLN。

### (1) トピックス

- 2007年第3四半期の生産量は、電気銅が138,247t(外部からの調達原料26,580tを含む)、銀が308tであった。
- 売上高は、対US\$平均レート2.76PLN/US\$(前期3.10PLN/US\$)とPLN高となり、銅販売量が131,811tと減少(前年同期135,524t)となったものの、ヘッジング取引の決済による売り上げコストの減少や、銅の平均LME価格が7,714US\$/t(前年同期7,670US\$/t)、銀の平均LBM価格が12.70US\$/oz(前年同期11.70US\$/oz)と高価格となったため、前年同期比2%増となった。
- 操業コスト(Operating Costs)は、1,903百万 PLNで、前年同期比9%減(183百万 PLN減)。主に、銅・銀の外部からの調達原料の量が減少したことによるものである。
- 当期損益は、主に売上コスト及び操業コストの減少等により、前年同期比23%増の1,163百万 PLNとなった。

### (2) 財務状況

(単位：千 PLN)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
売上高 Sales	3,339,176	2,767,657	2,643,492	3,216,585	3,410,701
営業利益 Operating Profit	1,181,573	810,145	1,100,876	1,166,401	1,427,989
当期損益 Net Profit	947,639	565,185	914,265	929,980	1,162,901
探鉱費	—	—	—	—	—

注) 2007年から、従来のポーランド会計基準からEU会計基準(IFRS)に変更となったため、各年の第1～第3四半期はIFRSにより、その他の四半期はポーランド基準による。

### (3) 生産状況

#### 1) 主要鉱産物の生産状況

(単位：t、金属純分)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅地金 (t)	140,495	143,911	128,592	132,474	138,247
銀 (t)	286	317	322	286	308

注) 最新四半期報告書において、2007年第2四半期以前のデータが改定された場合は、改定後のデータによる。

※(参考) 為替レート：1US\$=2.76PLN(KGHM社の2007年第3四半期平均レートによる)



## 7. Antofagasta Plc

- ・ 2007年第3四半期のグループの銅生産量は銅鉱石品位の低下と鉱石処理量の減少のため、前年同期比20.4%増の100,600tとなった。モリブデンの生産量は品位の低下により、前年同期比13.8%減の2,500tとなった。グループのキャッシュコストは、2007年第2四半期の24.8¢/lbから5.3¢/lb増加し30.1¢/lbとなった。

### (1) トピックス

- ・ Los Pelambres 鉱山の2007年第3四半期の銅生産量は、硬質の鉱石割合が増加し鉱石処理量が減少したため、前年同期25.0%減の66,600tとなった。
- ・ Los Pelambres 鉱山のキャッシュコストは、モリブデン価格の上昇によるモリブデンクレジット効果の減少により、2007年第2四半期のマイナス21.3¢/lbからマイナス19.6¢/lbに増加した。
- ・ El Tesoro 鉱山の2007年第3四半期の銅生産量は前年同期比13.1%減の22,500t、Michilla 鉱山の銅生産量は前年比2.6%減の11,400tとなった。
- ・ 2007年7月2日にチリ第Ⅱ州に位置するEsperanza銅・金プロジェクトの開発を決定した。同プロジェクトの埋蔵量は5.35億t、銅品位0.55%、金品位0.23g/t、資源量は11.3億t、銅品位0.45%、金品位0.16g/t、モリブデン品位0.011%である。

### 財務状況

(単位：百万US\$)

	2005年 上期	2005年 下期	2006年 上期	2006年 下期	2007年 上期
売上高 (Revenues)	1,123.6	1,321.7	1,846.9	2,023.1	1,942.1
税引前利益 (Profit before tax)	739.5	767.8	1,325.3	1,533.7	1,436.7
当期損益 (Profit)	607.5	620.7	1,070.3	1,123.8	1,105.0

### 主要鉱物の生産状況

(単位：千t)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅鉱石	126.4	131.2	105.9	106.1	100.6
モリブデン鉱石	2.9	2.8	2.1	2.8	2.5
キャッシュコスト (¢/lb)	31.4	38.0	35.8	24.8	30.1

### 主要保有鉱山生産状況

(単位：千t)

鉱山名	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
Los Pelambres (60%)	88.8	93.8	70.7	71.1	66.6
El Tesoro (61%)	25.9	25.6	23.6	23.2	22.5
Michilla (74.2%)	11.7	11.9	11.6	11.8	11.4

注1) 生産量は銅金属純分

注2) 各鉱山の銅生産量全量を記載

## 8. Anglo American plc(四半期レポートを発行していないため、最新の半期報告を掲載)

- ・ベースメタル部門の営業利益は、銅の増産、価格高騰を背景として、2007年上半期は前年同期比19%増の5,452百万\$。銅、亜鉛、ニッケル生産量は、前年同期比でそれぞれ3%増、1%減、6%減。

### (1) トピックス

- ・ 2007年上半期は、売上が前年同期比5.4%増、営業利益が19%増、当期利益が15%増と増収増益。
- ・ グループの収益拡大とコア部門への集中化を図るべく、昨年から引き続き、グループ再編プログラムが進行。Mondi社(製紙)の分離、Highveld Steelの残りの株式29%のEvraz社への売却、Tongaat-HulletグループのBEE化を含む事業再編が完了。加えて、5月にTarmac社(建材)の売却も発表。
- ・ 新規開発案件として、Minas-Rio鉄鉱石プロジェクト49%(ブラジル)、Michiquillay銅プロジェクト(ペルー)、Pebble銅プロジェクト50%(アラスカ)などの権益を獲得。
- ・ 銅鉱石生産量は、計画的メンテナンスを実施したCollahuasi銅鉱山(チリ)を除き、各鉱山で増産となり、全体では前年同期比3%の増の308,300t。
- ・ ニッケル鉱石生産量は、Loma de Niquelでの電気溶解炉停止などにより前年同期比6%減となる12,900t。
- ・ 亜鉛鉱石生産量は、主力のSkorpion鉱山(ナミビア)では、生産能力規模どおりの生産量となり、168.5千tとなった。

### (2) 財務状況

(単位：百万US\$)

	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期	2007年 上半期
売上高	17,327	18,825	19,812	19,845
営業利益	3,401	4,563	5,269	5,452
当期損益	1,683	2,943	3,243	3,379
探鉱費	83	66	66	66
金	23	16	0	0
ベースメタル	30	19	34	29
白金族	12	15	15	17

### (3) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期	2007年 上半期
銅鉱石 (t)	319,000	300,000	343,800	308,300
ニッケル鉱石 (t)	13,900	13,700	12,700	12,900
亜鉛鉱石 (t)	170,400	169,800	164,900	168,500
鉛鉱石 (t)	33,200	33,200	38,200	30,400
金 (oz)	3,028,000	2,115,000	1,202,200	1,112,200
白金 (oz)	1,210,600	1,368,800	1,495,100	1,217,400
パラジウム (oz)	645,000	743,400	819,600	676,100
ロジウム (oz)	157,800	150,000	181,700	163,700

注) 金生産量は AngloGold Ashanti 社分を計上(2006年4月20日までは100%、それ以降は権益分を計上)

### (4) その他

2007年上半期での収益比率は、ベースメタル部門が40%、鉄鉱石・合金鉄部門が13%、ダイヤモンド部門が5%、石炭部門が6%、白金族部門が28%、など。

## 9. Barrick Gold Corporation

- ・ 2007年第3四半期は純利益減少するも、チリ Cerro Casale、パプアニューギニア Highland Pacific 社保有金鉱山等を買収

### (1) トピックス

- ・ 前年同期に比べ、平均金価格は 564US\$/oz から 681US\$/oz に上昇するも、金生産量が減少するとともに、販売コストが 281US\$/oz から 370US\$/oz に上昇。
- ・ 純利益は 405 百万 US\$ から 345 百万 US\$ と 15% 減となった。
- ・ Arizona Star 社を現金 773 百万 US\$ で友好的に買収し、同社がチリで展開する未開発金一銅鉱床 Cerro Casale プロジェクトの権益 51% を手中に納めることを発表。
- ・ Highland Pacific 社との間で、パプアニューギニア (PNG) の Kainantu 金鉱山、並びに Kainantu 地域の探鉱ライセンスを現金 141.5 百万 US\$ で買収することを発表。
- ・ 南西パキスタン Reko Diq 銅一金プロジェクトのスコーピング調査、南アの Sedibelo プラチナプロジェクトのプレ FS が完了。

### (2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
売上高	1,562	1,348	1,089	1,642	1,684
営業利益	683	629	132	625	568
当期損益	405	418	▲159	396	345
探鉱費	49	59	30	40	48

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

### (3) 生産状況

#### 1) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
金 (千 oz)	2,162	2,440	2,029	1,957	1,931
銅 (千 t)	43	45	45	46	45

#### 2) 主要保有鉱山の生産状況

(金属純分)

鉱山名	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
*Porgera 鉱山 (Au; 千 oz)	106	106	75	98	155
*Cortez 鉱山 (Au; 千 oz)	81	92	68	92	80
Lagunas Norte 鉱山 (Au; 千 oz)	325	291	287	285	232
*Zaldívar 鉱山 (Cu; 千 t)	36	39	36	35	36

注) \*印は旧 Placer Dome 社鉱山。Lagunas Norte 鉱山は元々 Barrick 社所有鉱山

## 10. Newmont Mining Corporation

・ 2007年第3四半期は評価性引当金の変更等により、純利益は前年同期比2倍の397百万\$へ

### (1) トピックス

- ・ 海外税額控除(84百万\$)、ウズベキスタンのZarafshan-Newmont JV清算(税引き後54百万\$)に関連する繰延べ所得税資産の評価性引当金変更等により今期の純利益は前年同期198百万\$から2倍の397百万\$となった。
- ・ 2007年10月、カナダ・ヌナブト準州の北極海に面した沿岸地域に位置し、金資源量が10.7百万ozあるといわれるHope Bayプロジェクトを有するMiramar Mining社を友好的に買収。
- ・ Batu Hijau 鉱山は、高品位化、軟岩化により銅、金の実収率、選鉱場の鉱石処理が大幅に改善し増産となった(金31→90千oz、銅26→35千t)。
- ・ 2007年第3四半期の探鉱支出は47百万\$。年間探鉱支出計画については、現行の170~175百万\$から180~185百万\$へ増額する予定。
- ・ 2007年は、販売コスト400~430US\$/ozで、金を5.2~5.4百万oz生産する計画。

### (2) 財務状況

(単位: 百万US\$)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
売上高	1,102	1,460	1,256	1,302	1,646
営業利益	362	532	452	347	732
当期損益	198	223	68	▲2,062	397
探鉱費	41	50	40	45	47

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

### (3) 生産状況

#### 1) 主要鉱産物の生産状況

(金属純分)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
金(千oz)	1,379	1,716	1,342	1,248	1,326
銅(千t)	22	36	23	24	34

注) 権益分のみ計上。金については、販売量を計上。

#### 2) 主要保有鉱山の生産状況

(金属純分)

鉱山名	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
Nevada(権益100% Au:千oz)	557	570	562	530	585
Yanacocha(権益51.35% Au:千oz)	311	234	215	155	192
Batu Hijau(権益45% Cu:千t)	26	36	23	24	35

注) 権益分のみ計上

## 11. Teck Cominco Limited

・ 2007年第3四半期の純利益、企業買収等好調なるもカナダドル高が利益幅を押し下げ

### (1) トピックス

- ・ 2007年第3四半期の純利益は490百万C\$となり、前年同期の504百万C\$を下回った。これは、Aur Resources社買収に係る米ドルとカナダドルの為替差損59百万C\$が大きく影響。
- ・ 営業利益はRed Dog 鉱山が216→380百万\$と大きく拡大したが、Highland Valley 鉱山が287→187百万\$、その他、Trail 製錬所、石炭部門も減益となったため、全体としては、894百万C\$で前年同期の876百万C\$より2%増に止まった。
- ・ 銅については、Aur Resources社買収により、Quebrada、Andacollo、Duck Pond 各鉱山での生産が付加されたが、Highland Valley 鉱山の減産幅が大きく影響し全体として減少。亜鉛について、生産量は前年同期より若干の増(174→190千t、+16千t)であったが、販売量はRed Dog 鉱山での出荷が順調に行われたことにより大幅増(137→214千t、+77千t)となった。
- ・ Aur Resources社買収に加え、Fort Hills オイルサンドプロジェクトの権益を5%買い増し20%とした。また、Fording Canadian Coal Trust 社(石炭)の権益11.25%を599百万\$で買い増し19.95%とし、Elk Valley Coal Partnership の権益を52%まで高め支配下においた。

### (2) 財務状況

(単位：百万C\$)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
売上高	1,632	2,088	1,340	1,561	1,932
営業利益	876	1,167	620	764	894
当期損益	504	866	360	485	490
探鉱費	22	28	20	25	34

注) 営業利益は売上高からコスト(営業費、一般管理費、R&D、探鉱費等は含まず)、原価償却費を差引した値。

### (3) 生産状況

#### 1) 主要鉱産物の生産状況

(石炭以外は金属純分)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅鉱石(千t)	63	70	53	53	62
亜鉛鉱石(千t)	174	148	167	176	190
亜鉛地金(千t)	72	77	75	74	71
鉛地金(千t)	23	22	22	20	18
モリブデン(千lb)	2,034	1,976	1,322	1,549	2,058
石炭(千t)	2,006	2,167	2,046	2,496	2,268

注) 権益分のみ計上

2) 主要保有鉱山の生産状況

(石炭以外は金属純分)

鉱山名	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
Red Dog 鉱山 (権益 100%、Zn; 千 t)	155	134	145	142	154
” (権益 100%、Pb; 千 t)	33	33	33	31	36
Highland Valley 鉱山 (権益 97.5%、Cu; 千 t)	43	46	36	35	31
” (権益 97.5%、Mo; 千 lb)	977	847	898	824	1,039
Antamita 鉱山 (権益 22.5%、Cu; 千 t)	20	24	17	18	19
” (権益 22.5%、Zn; 千 t)	10	9	16	22	18
” (権益 22.5%、Mo; 千 lb)	1,057	1,129	424	725	1,019
Elk Valley 石炭鉱山 (権益 40%、千 t)	2,006	2,167	2,046	2,496	2,268

(注) 権益分のみ計上

## 12. Peñoles

- ・ 2007年第3四半期の売上高は1,101.7百万US\$（前年同期比15.8%増：ペソ建て）、当期利益は72.2百万US\$（同26.4%減）であり、好調な業績を維持。
- ・ 1～9月の金地金の生産量は40.28t、同じく銀地金の生産量は2,562.6tに達し、創業以来の記録を更新。

### (1) トピックス

- ・ 2007年第3四半期の売上高は1,101.7百万US\$、純益は72.2百万US\$と高水準を維持。
- ・ サカテカス州のEl Saucitoプロジェクトで100百万oz以上の銀換算資源量を確認。
- ・ 2006年8月から商業生産を開始したソノラ州のMilpillas銅山は、降雨による銅浸出液の品位低下の影響等があり、未だ予定生産量に達していない。

### (2) 財務状況

（単位：百万US\$）

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
売上高	859.3	903.7	1,025.8	1,125.8	1,101.7
営業利益	144.1	142.9	167.3	171.6	129.5
当期損益	94.1	86.9	90.4	110.0	72.2

（注）Peñoles社クォーターレポートには「営業利益」と「当期損益」のドル建ての記載がない。上表では同レポート記載のペソ建ての金額と四半期毎の平均レートを用いUS\$に換算した（平均レートは、06年第3四半期10.9637ペソ/US\$、第4四半期10.8874ペソ/US\$、07年第1四半期11.0121ペソ/US\$、第2四半期10.5839ペソ/US\$、第3四半期10.9599ペソ/US\$である）。

### (3) 生産状況（主要鉱産物）

（金属純分）

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
金鉱石 (kg)	3,084	2,822	3,213	3,031	2,805
金地金 (kg)	12,877	11,668	12,921	13,528	13,831
銀鉱石 (t)	365.4	324.9	343.2	377.0	361.2
銀地金 (t)	764.3	778.5	836.5	880.8	845.3
鉛鉱石 (t)	15,120	13,665	12,764	16,774	15,845
鉛地金 (t)	34,521	31,487	34,105	35,583	35,441
亜鉛鉱石 (t)	47,730	50,688	49,657	47,589	50,328
亜鉛地金 (t)	64,246	56,515	53,428	60,396	58,272
銅鉱石 (t)	4,379	3,205	3,368	4,430	5,808
銅地金 (t)	2,010	2,427	1,962	1,890	1,727
ビスマス (t)	304	312	312	282	291



(4) 輸出状況（主要鉱産物）

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銀地金 (t)	697.1	684.6	746.1	776.9	701.0
鉛地金 (t)	1,052	1,374	4,799	4,122	470
亜鉛地金 (t)	37,513	39,131	33,346	39,835	37,131
銅地金 (t)	1,541	1,606	1,176	1,927	1,433
ビスマス (t)	221	322	311	278	219

(5) その他

ペニョーレス社の主要鉱山は、フレズネージョ（金・銀・鉛・亜鉛）、ラ・エラドゥーラ（金・銀）、ラ・シエネガ（金・銀・鉛・亜鉛）、フランシスコ・I・マデーロ（亜鉛・鉛）、チサパ（金・銀・鉛・亜鉛・銅）、ビスマルク（亜鉛）、ナイカ（銀・鉛・亜鉛・銅）、サビナス（銀・鉛・亜鉛・銅）、ミルピージャス（銅：2006年生産開始）である。

### 13. Aneka Tambang (antam)

- ・ FeNi III 製錬工場の補修工事を 8 月 26 日に完了し、現在、電気炉の出力を 20MW にして試験操業中。9 月、ロシア Rusal 社と West Kalimantan 州 Tayan のボーキサイト鉱開発に関し、アルミニウム製錬所の建設可能性調査を実施することで合意。

#### (1) トピックス

##### ・ 金・銀の生産量

Pongkor 鉱山の採掘切羽の岩質悪化に伴う安全対策のため、金は前年同期比 24%減の 668kg、銀は同 20%減の 5,650kg となった。Pongkor 鉱山の当期の鉱石生産量は前年同期比 12%減の 94,364wmt。金・銀の販売量は、それぞれ前年同期比 203%増、123%増の 2,605kg、12,894kg となった。販売量の増加は相場高騰時の在庫売りである。販売実現価格は、金が前年同期比 9.6%高の 680.93US\$/oz、銀は同 27.5%低い 12.94US\$/oz となった。この結果、売上高は、金が前年同期比 20 倍の 3,379 億 2,400 万 IDR (37.46 百万 US\$)、銀が 4 割減の 149 億 6,100 万 IDR (1.66 百万 US\$) となった。

##### ・ フェロニッケル

生産量は、FeNi II 製錬工場の正常運転が貢献し、前年同期比 15%増の 3,512t となった。しかし、FeNi III 製錬工場は、2007 年 6 月 16 日に発生した熔融金属の流出事故で操業を停止し、補修工事を行っている。FeNi III 製錬工場は、2007 年 7 月 1 日にも溶鉱炉金属抜出口 (Metal Tap) から熔融金属が流出し、4 か月間操業を中止していた。フェロニッケルの販売量は前年同期比 41%減の 2,011t。1-9 月累計の販売量は前年同期間比 4%減の 9,279t。売上高はフェロニッケルの販売実現価格が 85%上昇して前年同期比 9%増の 7,820 億 IDR (86.70 百万 US\$) となった。これにより 1-9 月累計の売上高は前年同比 101%増の 3 兆 3,770 億 IDR (3.74 億 US\$) となった。同社は 2007 年のフェロニッケル生産量目標を当初の 20,000t から 16,000t に下方修正を行っている。

##### ・ サプロライト

鉱石生産量は、前年同期比 87%増の 1,547,234wmt。増産の要因は、顧客の引き合いに応えた Pomalaa、Buli 鉱山での増産による。Pomalaa、Buli 鉱山の生産量は、それぞれ前年同期比 266%増、96%増の 734,922wmt、537,533wmt。Mornopo 鉱山は、豪雨の影響により前年同期比 37%減の 125,691wmt。これにより 1-9 月累計の生産量は前年同比 111%増の 5,205,907wmt となった。

販売量は、前年同期比 81%増の 1,158,662wmt。売上高は、販売実現価格 (56.75→92.12US\$/wmt) の上昇と販売量の増加により、前年同期比 226%増の 9,770 億 IDR (108.31 百万 US\$) となった。これにより 1-9 月累計の販売量は前年同比 111%増の 5,010,268wmt、売上高は 3 兆 8,760 億 IDR (4.30 億 US\$) となった。通年 (1-9 月) の販売実現価格は前年同期比 53%上昇して 85.43US\$/wmt となった。

##### ・ 低品位鉱

生産量は前年同期比 49%減の 122,815wmt。Gebe、Pomalaa の両鉱山に貯鉱されているリモナイト鉱を出荷、販売。リモナイトの販売量は前年同期比 15%減の 109,360wmt、売上高は 220

億 IDR(2.44 百万 US\$)となった。これにより 1-9 月累計の販売量は前年同比 62%減の 184,263wmt、売上高は 630 億 IDR(6.98 百万 US\$)となった。通年(1-9 月)の販売実現価格は前年同期比 23%上昇して 37.27US\$/wmt となった。主に中国向けに出荷した。

(参考：為替レート 9.020IDR/US\$(Antam Annual Report))

## (2) 財務状況

(単位：百万 IDR)

	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期	2007 年 第 3 四半期
売上	1,296,790	2,170,400	2,385,819	3,525,596	2,255,918
輸出	1,138,577	2,077,465	2,315,161	3,436,970	2,163,603
フェロニッケル	715,554	1,048,899	1,063,204	1,531,241	782,521
ニッケル鉱石					
サブロライト	299,861	671,858	868,148	1,695,121	976,993
リモナイト	42,388	115,734	233,742	41,283	21,619
金	16,834	171,711	91,353	125,047	337,924
銀	17,051	7,909	11,786	11,133	14,961
国内	158,213	92,935	70,657	88,626	92,315

(単位は百万インドネシア・IDR)

## US\$ベース輸出高

(単位：百万 US\$)

	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期	2007 年 第 3 四半期
輸出高	125.2	228.0	254.0	389.5	237.0
フェロニッケル	78.7	115.3	116.5	170.8	86.7
ニッケル鉱石					
サブロライト	33.0	73.6	95.3	195.2	106.7
リモナイト	4.6	12.7	25.7	4.5	2.3
金	1.9	18.8	10.0	14.0	36.6
銀	1.9	0.9	1.3	1.3	1.7

## (3) 生産状況

	2006 年 第 3 四半期	2006 年 第 4 四半期	2007 年 第 1 四半期	2007 年 第 2 四半期	2007 年 第 3 四半期
フェロニッケル(t)	3,064	4,551	4,352	4,394	3,512
ニッケル鉱石(wmt)					
サブロライト(wmt)	828,894	1,032,056	1,735,424	1,923,249	1,547,234
リモナイト(wmt)	239,252	243,774	0	0	122,815
金(kg)	874	719	770	690	668
銀(kg)	7,067	6,178	6,199	6,099	5,650

## (4) 販売実績

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
フェロニッケル (t)	3,387	3,673	3,345	3,923	2,011
ニッケル鉱石					
サブロライト (wmt)	640,737	1,161,842	1,197,009	1,857,395	1,158,662
リモナイト (wmt)	128,882	446,875	731,459	74,903	109,360
金 (kg)	859	1,303	746	379	2,605
銀 (kg)	5,772	5,055	5,202	798	12,894

## (5) 販売実現価格

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
フェロニッケル (lb 当たり US\$)	10.54	14.24	15.8	19.75	19.53
ニッケル鉱石					
サブロライト (Wett 当たり US\$)	56.75	60.92	79.63	101.59	92.12
リモナイト (Wett 当たり US\$)	35.97	36.54	35.33	60.50	21.37
金 (oz 当たり US\$)	621.23	624.33	655.52	671.51	680.93
銀 (oz 当たり US\$)	17.84	12.69	13.37	13.29	12.94

## (6) 探鉱

- ・ 当期の探鉱費は、ニッケル、金、ボーキサイトを対象に前年同期比 3.5%減の 330 億 IDR (うちニッケル探鉱分は 257 億 IDR) を支出した。
- ・ ニッケル・金・ボーキサイトの探鉱を次の地域で実施している。

## &lt;ニッケル探鉱区&gt;

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (百万 IDR)
ハルマヘラ	Sangaji Block, Tanjung Buli, Sangaji	ボーリング調査	11,600
ハルマヘラ	Obi	地質調査、ボーリング調査	4,600
南東スラウェシ	Tapunopaka	地質調査、ボーリング調査	3,600
南東スラウェシ	Baunaga-Konawe	広域地質調査	299
中央スラウェシ	Bungku-Morowali	広域地質調査、テストピット	482
中央スラウェシ	Bulutaloa & Tangofa	地質調査、ボーリング調査	3,700
中央スラウェシ	Witaponda	地質調査、ボーリング調査	473

<金探鉱区>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額 (百万 IDR)
西ジャワ	Pongkor	ボーリング調査	2,200
西ジャワ	Papandayan	地質調査	603
東ジャワ	Liman Mountain	地質調査	162
ベンクル	Seblat	地質調査	170
ジャンビ	Batangasai	地質調査	1,700
南東スラウェシ	Konawe	地質調査	333
西スラウェシ	Mao Mamuju	地質調査	354
アチェ	Jagong	現地踏査	141

<ボーキサイト探鉱区>

州	探鉱地域	調査内容	探鉱支出額(百万 IDR)
西カリマンタン	Tayan	グリットテストピット	414
西カリマンタン	Munggu Pasir	グリットテストピット	582
西カリマンタン	Mempawah	グリットテストピット	473

(7) その他

7月31日、Pongkor 鉱山 Gudang Handak 採掘区で人災事故が発生。

9月6日、ロシア Rusal 社と West Kalimantan 州 Tayan のボーキサイト鉱開発に関し、アルミニウム製錬所の建設可能性調査を実施することに合意し覚書を締結。

9月11日、Antam 資産の買収、売却に関する財務顧問会社に Macquarie 社を指名。

9月21日、Antam 社は、Pomalaa の FeNi 製錬所のピーク電力量 15MW をカバーするため、Tamboli Energy 社と5年間の買電契約を締結。電力は Tamboli Energy 社の水力発電所(4×5MW)から送電される。これにより FeNi 生産コストの8~10%の節約が期待されている。

10月5日、スラウェシ州 Pomalaa の FeNi Ⅲ製錬工場で2007年6月16日に発生した溶鉱炉からの溶融金属流出事故に関し、8月26日に修理を完了し、電気炉出力を20MWにして試運転中である。最終的には25MWに出力を上昇させる予定。

(8) 合併事業

JV	鉱種	Antam (%)	パートナー	開発ステージ
PT Nusa Halmahera Minerals	金	17.5	Newcrest	生産/開発
PT Cibaliung Sumber Daya	金	10.25	Austindo	開発
Pt Sorikmas Mining	金	25	Oropa	開発
PT Gag Nickel	ニッケル	25	BHP Billiton	開発
PT Weda Bay Nickel	ニッケル	10	Eramet (Weda Bay Minerals)	開発
PT Dairi Prima Minerals	鉛亜鉛	20	Herald Resources	開発

## 14. Vale (CVRD) : Companhia Vale do Rio Doce \*USGAAP に基づく統計

- ・ 2007 年第 3 四半期の売上高は前年同期比 9.9%増の 81 億 US\$で、第 3 四半期としては過去最高の記録となった。米ドルに対するブラジル・リアル及びカナダ・ドルの為替高が堅調に売上を支えたものの、これは逆にコスト高ともなり、またニッケル価格が下がってきたことから売上の大きな伸びには至らなかった。

### (1) トピックス

- ・ 売上高は前年同期比 9.9%増の 81.24 億 US\$を記録した。営業利益は前年同期比 7.8%増の 34.30 億 US\$、純利益は前年同期比 23.5%増の 29.40 億 US\$に達した。
- ・ 売上高を部門別に見ると、鉄鉱石・鉄鋼 41.06 億 US\$ (50.5%)、非鉄鉱物 28.21 億 US\$ (34.2%)、アルミニウム 6.77 億 US\$ (8.3%)、石炭 0.71 億 US\$ (0.9%)、鉄道・港湾・輸送 3.91 億 US\$ (4.8%)、その他 0.58 億 US\$ (0.7%)となる。
- ・ 非鉄鉱物部門(ニッケル、銅、カオリン、カリウム、白金族金属、貴金属、コバルト)の売上は、前年同期比 5.6%増の 28.21 億 US\$で、内訳はニッケル 19.70 億 US\$、銅 5.81 億 US\$、白金族金属 1.03 億 US\$、貴金属 0.24 億 US\$、コバルト 0.35 億 US\$であった。2007 年第 2 四半期の売上と比べると 28.3%減となり、これは主としてニッケル価格の下落に起因する。
- ・ ニッケル生産量は前年同期比 10.1%増の 55,100t であった。2007 年第 2 四半期の生産量と比べると 11.8%減となったが、これはカナダ・サドベリーでのメンテナンスと機器修理、トンソンでの大雨による鉱石の湿度過剰に起因する製錬操業の遅延のためである。
- ・ 銅生産量は前年同期比 8.3%増の 64,800t であった。ブラジル Sossego 鉱山の生産は前年同期比 16.5%減の 26,900t であったが、これは鉱石処理プラントのメンテナンスのための一時停止(5日間)及び銅品位の低下に因る。カナダのニッケル鉱床からの副産物として生産される銅は前年同期比 37.3%増の 37,900t であった。
- ・ 鉄鉱石生産量は前年同期 69.5 百万 t に対し 12.6%増の 78.3 百万 t で、過去最高記録を達成した。
- ・ マンガン鉱石生産量は前年同期比 83.7%減の 10 万 t であったが、これはカラジャス鉄道で鉄鉱石の運搬を優先させるため、Azul 鉱山の操業を 2007 年 7 月より一時中止したためである。

## (2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
売上高	5,066	7,494	7,680	8,899	8,124
営業利益	2,248	2,180	2,702	4,379	3,430
当期損益	1,904	1,573	2,217	4,095	2,940

## (3) 生産状況

## 1) 主要鉱産物生産状況

(単位：千 t)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
鉄鉱石	69,535	68,158	65,645	73,122	78,307
ペレット	3,923	4,371	4,175	4,311	4,434
マンガン鉱石	610	576	410	706	100
フェロアロイ	140	138	131	144	130
ボーキサイト	1,861	1,836	1,731	2,128	2,586
アルミナ	1,063	1,127	978	995	1,123
アルミニウム	138	138	136	137	138
銅	32	84	77	68	64
カリウム	179	180	155	163	180
カオリン	341	332	292	327	356
ニッケル		65	61	62	55
コバルト (t)		575	579	597	668
プラチニウム (千 oz)		45	29	39	43
パラジウム (千 oz)		72	45	55	52
金 (千 oz)		20	18	21	22

## 2) 主要鉱山・製錬所の生産状況

(単位：千 t)

鉱山・製錬所	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
Carajas (鉄鉱石)	21,026	22,217	21,568	21,236	24,263
Azul (マンガン鉱石)	471	444	322	567	10
Alunorte (アルミナ)	1,063	1,127	978	995	1,123
Albras (アルミニウム)	115	115	113	114	115
Sossego (銅)	32	33	30	29	26
Ontario (銅)		36	32	28	23
Ontario (ニッケル)		24	23	20	19
Voisey's Bay (ニッケル)		14	12	14	12
Indonesia (ニッケル)		19	18	20	17

## 15. Xstrata plc (第3四半期のデータ更新なし)

- ・ 2006年のFalconbridge 社含む3件の大型買収の2007年上半期のEBITへの寄与は31億US\$。
- ・ 金属、エネルギー合わせ15のプロジェクト(280億US\$の投資)が進行中。
- ・ 2006年の営業利益(EBIT)が、前年同期比112%増の83億US\$

### (1) トピックス

- ・ 2006年に3件の大型買収を実施(Tintaya 銅鉱山(ペルー)、Cerrejon 石炭鉱山(コロンビア)、Falconbridge 社)。合計買収費用は196億US\$。これらは、2007年上半期EBITに31億US\$の寄与。
- ・ 税引き後純利益は、対前年同期比47%増の30億US\$。
- ・ Collahuasi 銅鉱山のレビューの結果、今後、2段階の投資により、生産を1百万t/年まで増強可能であることを確認。
- ・ Mt Isa(豪)における埋蔵鉱石量約7百万t追加確認。
- ・ 中国、インドの需要増に対し、供給は引き続きタイトな状況が続くとの基本的見通し。

### (2) 財務状況

(単位：百万US\$)

区分	2005年	2006年	2007年上半期
売上高	17,199	26,877	14,232
営業利益 (EBIT)	3,932	8,340	4,671
当期損益 (Attributable Profit)	2,232	4,885	3,002
資本支出 (探鉱費含む)	1,748	1,955	986
銅部門	424	514	264
ニッケル部門	367	372	219
亜鉛部門	141	272	168
その他	816	797	335

(注) 2005年、2006年における全てのデータは、2006年中の買収案件(Falconbridge 社他2件)を通年分に換算した、Xstrata 社発表による想定(Pro Forma)ベースによるものを記載。



(3) 生産状況

1) 主要鉱産物生産状況

鉱産物	2005年	2006年	2007年上半期
Xstrata Copper			
銅鉱石 (精鉱 t)	1,023,439	1,011,295	449,136
金 (oz)	777,076	786,813	321,200
Xstrata Nickel			
ニッケル鉱石 (精鉱 t)	53,124	46,526	24,886
フェロニッケル鉱石 (精鉱 t)	28,668	29,675	14,749
銅鉱石 (精鉱 t)	13,895	11,949	5,713
コバルト (t)	983	989	467
Xstrata Zinc			
亜鉛鉱石 (精鉱 t)	712,795	669,981	377,044
亜鉛地金 (t)	830,718	864,915	414,488
鉛鉱石 (精鉱 t)	269,393	227,831	110,870
鉛地金 (t)	237,466	230,583	66,533
Xstrata Alloys			
クロム (千 t)	1,122	959	598
五酸化バナジウム (千 lb)	20,166	21,651	9,249
フェロバナジウム (千 kg)	4,936	4,907	2,055

注) 記載は金属純分で、他社権益分を含む。

2) 主要保有鉱山・製錬所の生産状況

鉱山名・製錬所名 (権益比率、記載無きは100%)	2005年	2006年	2007年上半期
銅 (t)			
* Alumbraera (アルゼンチン) 精鉱 (50%)	187,317	180,144	83,447
Mount Isa (豪) 精鉱	177,482	194,135	78,452
Collahuasi (チリ) 精鉱 (44%)	161,192	167,289	70,647
Antamina (ペルー) 鉱 (33.75%)	126,438	129,675	52,455
Townsville (豪) 地金	219,198	209,188	116,402
CCR (カナダ) 地金	304,184	368,319	164,400
亜鉛 (t)			
Mount Isa (豪) 精鉱	231,167	209,914	115,248
McArthur River (豪) 精鉱	153,644	135,538	70,549
Brunswick (カナダ) 精鉱	265,768	271,838	127,657
San Juan de Nieva (スペイン) 地金	501,413	502,834	247,690
Kidd Creek (カナダ) 地金	113,711	144,066	63,329
鉛 (t)			
Mount Isa (豪) 精鉱	159,557	118,311	56,669
Brunswick (カナダ) 精鉱	75,353	79,431	35,636
Brunswick (カナダ) 地金	76,116	67,846	41,824
Northfleet (英) 地金	161,350	162,737	57,709
ニッケル (t)			
Sudbury (カナダ) 精鉱	25,203	20,932	10,794
Raglan (カナダ) 精鉱	22,917	23,704	14,619
Falcondo (ドミニカ) FeNi 精鉱 (85.3%)	28,668	29,675	14,749
Nikkelverk (ノルウェー) 地金	84,886	81,974	42,871

注) 記載は金属純分で、\*を除き、自社権益分を記載

## 16. Kazakhmys

- ・ 2007 年第 3 四半期の銅精鉱生産量は前期比 5%の減。銅カソード生産量は前期比 5%減。(9 か月ベースでは前年同期比 6%減。)
- ・ 2007 年 9 か月間の亜鉛精鉱生産は前年同期比 6%の減。
- ・ 2007 年 10 月、Kazakhmys 社は同国 ENRC (Eurasian Natural Resources Corporation) の株式 18.8%(約 810 百万 US\$) を取得 (12 月、ENRC 者は LSE で IPO を実施)。

### (1) トピックス

- ・ 2007 年第 3 四半期の銅鉱石生産量は前期比 9%減、前年同期比 19%の減となった。これは Kounrad 鉱山の生産減少、9 月に洪水の被害を受けた Zhezkazgan Complex の生産減少、その他メンテナンス機材の調達の遅れ等による。
- ・ 銅カソードの生産は前期比 5%の減となったが、自社鉱石からの生産分は 8%の増加となっており、これは新たな鉱山 (Zhomart、Kosmurun) の平均品位向上により補完されている。
- ・ 2007 年 9 か月間の亜鉛精鉱生産は、前年同期比 5%の減。これは、上半期同様、East Region における品位低下と鉱石生産の減少によるもの。特に Orlovske 鉱山の設備の問題が影響している。
- ・ 亜鉛地金の生産は、現状、年間生産能力を下回ってるが第 4 四半期にはバランスする見込み。
- ・ Kazakhmys 社は、2007 年 10 月、カザフスタンの資源企業である ENRC (Eurasian Natural Resources Corporation) の株式 18.8%(約 810 百万 US\$) を取得した。ENRC は同 12 月、ロンドンの市場 (LSE) で IPO を実施し、その結果 Kazakhmys の持分総額は希薄化しシェア 14.6%(公開後の株価上昇により持分時価総額は約 23 億 US\$) となった。

### (2) 財務状況

(単位：百万 US\$)

区分	2006 年 上半期	2006 年 下半期	2007 年 上半期
売上高	2,279.8	2,766.7	2,789.3
税引前利益 (EBITDA)	1,081.3	1,227.1	1,323.7
当期損益	619.3	793.8	799.6
資本支出 (探鉱費含む)	171.6	182.1	684.1

注) 第 3 四半期データ更新なし

### (3) 生産状況

#### 1) 主要鉱産物生産状況

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅精鉱 (千 t)	111.4	119.5	104.7	96.8	91.6
銅カソード (千 t)	107.3	111.8	99.7	91.5	87.0
銅ロッド (千 t)	8.1	6.1	9.0	9.0	9.0
亜鉛精鉱 (千 t)	36.6	22.0	38.6	32.6	30.0
亜鉛地金 (千 t)	12.1	13.6	14.9	12.5	5.7
金 (千 oz)	25.6	27.7	19.2	32.2	29.8
銀 (千 oz)	5,295	5,576	5,017	5,087	4,726

注) 生産量は金属純分。金及び銀は自社鉱石分を記載

注) 2007年第2四半期生産量は、2007年上半期及び第1四半期データより計算。

## 17. Glencore International AG

・今期の主なトピックスとしては、コバルト市場取引について Credit Suisse と提携、コンゴの KOV 銅・コバルトプロジェクトの拡張、Rusal を巡る訴訟の棄却、豪州 Lady Annie 銅プロジェクトの生産開始および買鉱契約締結、ペルーでの保有鉱山の閉山・除名処分などがある。

ボリビア政府がインジウムの密輸を主張(申し立て)

### (1) M&A、業務提携

#### ①カザフスタン Voskhod 鉱山のクロム鉱の販売契約締結へ

英国 Oriol Resource 社と Voskhod 鉱山のクロム鉱の長期買鉱契約を締結。同鉱山は 2008 年の第 3 四半期に生産開始予定であり、クロム鉱年産 90 万 t(世界生産量 2,000 万 t の 4.5%)の見込み。本プロジェクトに関して、Eurasian Development Bank 他 2 社から 120 百万 US\$の融資を受ける予定。(2007 年 7 月)

#### ②Credit Suisse によるコバルト市場取引について提携

Credit Suisse が Glencore と提携し投資家のコバルトの市場取引を可能にし、ヘッジファンドへ門戸を開いた。Glencore はコバルトの安定な供給に関し Credit Suisse へ協力する模様。Credit Suisse は市場取引を開始した理由として、投資家にとりコバルトはより純粋な商品取引でありそのファンダメンタルは魅力的であり、2008 年を通じて需給がタイトな見込みであるとしている。Glencore はコバルトを年間 989t(世界生産 57,500t の 1.7%)生産している Xstrata の権益を一部保有している(2007 年 9 月)

#### ③コンゴの KOV 銅・コバルトプロジェクトを巡る動き。

5 月に英国 Nikanor 社の株式 16.7 億 US\$分を買い取り、100%の長期買鉱契約を締結。同社はコンゴの KOV 銅・コバルトプロジェクト権益の 75%を所有(残り 25%は国有企業 Gecamines が保有)。本プロジェクトは、精鉱の売り上げが低かったため 2007 年上半期に 20 百万 US\$の損失が発生していた。さらに Glencore は 6 月に特殊資本推進会社 Ruwenzori 社とともに新たに 7.8 億 US\$分の株式を購入している。Nikanor 社はこの契約で総額 10 億 US\$を得て、総額 18 億 US\$の開発費に充てる。銅地金生産は 2009 年までに開始され、2010 年末までには生産量が計画生産能力の 400 千 t/年に達する見込み。

さらに、2007 年 10 月に Katanga Mining と Nikanor 社が統合に合意、権益比率は Nikanor が 60%、Katanga が 40%。統合会社の資産価値は 33 億 US\$で、2011 年までにアフリカ最大の銅生産企業で世界最大のコバルト生産企業の成立を目指す。

これに関連し Glencore は Katanga Mining と 1.5 億 US\$の融資および 10 年間の買鉱契約を締結。Katanga Mining は 2008 年より 8 千 t/年のコバルトを生産する予定で、Nikanor との長期買鉱契約と合計すると 2011 年以降、27.5 千 t/年の供給を受ける。これは世界生産 57.5 千 t の約半数に当たる。(2007 年 10 月)

#### ④Rusal を巡る訴訟が棄却へ

Glencore と共にアルミ大手の Rusal の権益を有する Oleg Deripaska 氏の Basic Element Co. (Rusal の権益の 66%を保有)は、同社に対するロシアの寡頭資本家(obligach)からの全ての訴訟は棄却されたと発表した。

Basic Element Co. は Rusal の 20%の権益 (60 億\$相当) についてロシアのアルミ資本家 Michael Cherney から訴訟されていた。

この訴訟は 2007 年後半より話題とされてきた Rusal のロンドン株式市場への上場を見据えたものと考えられ、この上場により Rusal は市場価値 90 億ドル規模の世界最大のアルミ生産者となる見込みである。株式上場の期限は明言されていないが、3 年以内とする見込み。

なお、Basic Element Co. はロシア石油大手の Russneft の買収も目論んでおり、Oleg Deripaska 氏と緊密な協力関係にある Glencore もこの買収を巡る競争への参入を表明している。(2007 年 10 月)

#### ⑤ボスニア・アルミ精錬企業 Aluminij Mostar 買収に向けた動き(続報)

2007 年 5 月の時点で、ボスニア・アルミ精錬企業 Aluminij Mostar の権益 88%取得に Glencore の他、Vedanta Resources plc、ギリシャの鋳工業企業 Mytilineos、英国の En+group Ltd. が名乗り上げていたが、ボスニア政府が権益売却額の試算に時間を要するため売却が当初の予定より 3 か月遅れるとの発表があった。(2007 年 11 月)

### (2) 探査開発

#### ①メキシコ・Luz del Cobre 銅プロジェクトの拡張

Glencore が 22 百万 US\$の開発資金を融資しているカナダ Zaruma Resources 社のメキシコ・ソノラ州 Luz del Cobre 銅プロジェクトの操業が 2008 年 12 月に開始する見込みであることが発表された。融資資金は同プロジェクト西方 1km に位置する Trion 地域を含む San Antonio 鋳区の銅探査プロジェクトにも投入され、Glencore はこれらの資金融資によりこれらの 2 プロジェクトから生産されるベースメタルの全量を市場価格で受け取る権利を有する。これら 2 プロジェクトの総開発資金は 25 百万 US\$であり、Zaruma Resources 社は、残り 3 百万 US\$の開発資金を自社で調達する予定である。(2007 年 10 月)

#### ②南豪州 Kalkaroo 銅開発プロジェクトへの参加

- ・ 南豪州 Kalkaroo 銅開発プロジェクトの FS につき Havilah Resources NL への 14 百万 A\$の融資を合意。これにより、権益 14%を獲得。現在、長期買鋳契約につき調整中。(2007 年 7 月)

#### ③ザンビア Cheowa 銅金プロジェクトの試掘結果発表

- ・ Zambezi Resources Ltd. が 84%の権益を持つザンビア Cheowa 銅金プロジェクトの試掘結果を発表、資源量 170 万 t、平均品位銅 1.5%、金 0.5g/t、さらに試掘を重ね、鋳量を拡大させる計画。Glencore は残り 16%を保有しているが 10 百万 US\$を投入し権益を 51%まであげる予定。(2007 年 8 月)

#### ④コロンビアで銅・モリブデン鋳区を取得

- ・ コロンビア鋳山地質研究所の入札で、銅・モリブデン鋳床が賦存されると期待される Pantanos-Pegadorcito 鋳区 (Antioquia 郡、2,800ha) を、1.14 百万 US\$で落札した。(2007 年 9 月)

### (3) 操業

#### ①ザンビア Mopani 鋳山を巡る動き

2007 年 4 月に坑内出水で操業停止していた Mopani 鋳山会社 (権益比率:Glencore73.1%、First

Quantum 社 16.9%、国有企業 ZCCM 社 10%) の Mufulira 銅鉱山が 5 月に操業を再開した。なお、操業停止による損失は 210 百万 US\$ 以上と推定される。

また、Mufulira 銅鉱山・製錬所近傍の Lumwana 銅鉱山 (Equinox Minerals Ltd. 本社パースが保有) は 2008 年第 2 四半期末に生産開始する見込み。同鉱山は、資源量は銅金属量で 6.3 百万 t、年産銅 169 千 t、マインライフは 37 年の見込み。数年内には生産能力を 300 千 t/年へ拡張する予定。鉱石は、鉱山サイトで選鉱され、中国有色鉱業集团有限公司 (CNMC) 他が建設している Chambishi 製錬所及び Glencore 社の Mufulira 製錬所にトラック輸送される。Equinox 社は、両社と 5 年間の長期買鉱契約を締結した。同鉱山にはウランも賦存しており、その資源量は、21.8 百万 lb ( $U_3O_8$ 、9,900t)。Equinox 社は、2008 年第 1 四半期に 1.5 百万 lb (680t) のウラン処理プラントを建設する予定。

Mopani 鉱山会社はこの他に Nkana 鉱山・コバルト製錬所を操業している。なお、2007 年 12 月には First Quantum 社が発行済み一般株を購入し新たに権益獲得。権益比率は 17.27% となった。(2007 年 12 月)

#### ②買鉱契約を締結した豪州 Lady Annie 銅プロジェクトが生産開始

CopperCo Limited (本社パース、以下 CopperCo 社) は、2007 年 10 月 10 日、Glencore と買鉱契約を締結している同社の Lady Annie プロジェクト (クィーンズランド州 Mt. Isa 北西) から銅カソードを生産・出荷を開始したと発表した。

同プロジェクトは SX-EW 方式であり、生産能力は銅カソード 19,000t/年である。(2007 年 10 月)

#### ③西オーストラリア州 Murrin Murrin ニッケル鉱山減産へ

Murrin Murrin ニッケル鉱山 (Minara 社権益 60%、Glencore 40%) における 2007 年第 3 四半期の生産量はニッケル 6,676t、コバルト 442t と第 2 四半期のニッケル 7,598t、コバルト 551t を下回り、年間ニッケル生産は 28,000~30,000t になると予想されている。ラテライトニッケルを処理するプラントの計画生産能力はニッケル 40,000t/年、コバルト 2,500t/年であるが、これまでに計画生産能力に達したことはない。また、10 月から 11 月にかけて定期メンテナンスによるプラントの停止が予定されている。(2007 年 10 月)

#### (4) その他

##### ①ペルー Yauliyacu 鉱山及び Iscaycruz 鉱山の閉山計画書を近く提出

- ・ Perubar 及び Los Quenuales 等の現地法人により操業を行う鉱山並びにカヤオ港の精鉱保管倉庫の閉鎖作業に 45 百万 US\$ を投じる計画。

既に、専門コンサルタントによる Yauliyacu 鉱山及び Iscaycruz 鉱山 (双方とも Los Quenuales が操業) の閉山計画調査が終了し、閉山経費が 33 百万 US\$ となる見込み。またカヤオ港の精鉱保管所の閉鎖経費は 12 百万 US\$ となる見込み。これらの閉山計画書をペルー・エネルギー鉱山省に提出し承認を受けることになる。さらに、2009 年以降には Perubar が操業する Rosaura 鉱山の閉山も計画している。(2007 年 8 月)

##### ②Glencore が権益を保有する Casapalca 鉱山、ペルー鉱業協会より除名処分

ペルー鉱業協会は、2007 年 4 月に労働者との激しい対立問題によって 6 名の死者を出し、その後数々の労働・環境基準違反が発覚した Casapalca 亜鉛鉱山 (Empresa Minera Los

Quenuales (Glencore 97%) が所有) の除名処分を決定した。これはペルー鉱業協会による環境・労働関連調査を拒否したためである。同鉱山の 2006 年の亜鉛生産量は 31 千 t (2007 年 10 月)。

## IV. その他企業の動向、主要国の生産統計

### 1. 豪州企業

#### 1-1. 概要

オーストラリア鉱業は依然として好調である。鉱山会社各社の生産量増加の主な要因は、高値を続ける鉱物資源価格と中国を中心とする旺盛な需要に対応したものの。一方、豪ドル高に加え、技術者・技能労働者不足、資機材の不足等の価格上昇は生産コストを押し上げ、依然として好調な鉱業のマイナス要因として懸念されている。

本稿では、下記のオーストラリア関係主要非鉄企業の財務状況・生産状況・探鉱開発状況について下記16社の四半期報告等をもとに取りまとめたものである。

- 1) Alumina Limited(アルミナ)
- 2) Alcoa World Alumina and Chemicals 社(AWAC)(アルミナ)
- 3) CBH Resources Limited(亜鉛・鉛・銅)
- 4) Consolidated Minerals Limited(クロム、マンガン、ニッケル)
- 5) Energy Resources of Australia Ltd (ERA) (ウラン)
- 6) Iluka Resources Limited(ミネラルサンド)
- 7) Jubilee Mines NL 社(ニッケル)
- 8) Kagara Zinc Limited(亜鉛・鉛・銅)
- 9) Lihir Gold Limited(金)
- 10) Minara Resources Limited(ニッケル・コバルト)
- 11) Mincor Resources NL(ニッケル)
- 12) Newcrest Mining Limited(金・銅)
- 13) Oxiana Limited(金・銅)
- 14) Perilya Limited(亜鉛・鉛)
- 15) Sally Malay Mining Limited(ニッケル)
- 16) Zinifex Limited(亜鉛・鉛・銅)



## 1-2. 豪州主要各社の生産・財務状況

### 1) Alumina Limited

#### (1) 財務状況

Alumina 社は、2001 年に Western Mining Co. がアルミニウム部門とその他の部門とに分離した際にアルミニウム部門をもとに設立された会社。その他の部門は、WMC Resources Ltd. となりニッケル、銅、ウランその他の事業を実施していたが、2005 年に BHP Billiton に買収された。

(単位：百万 A\$)

百万 A\$	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
税引き後純利益	152.3	259.9	251.2	284.3	・税引き後純利益は、対前年同期 9.4%、対前半期 13.2%増加となった。 ・米ドル対するオーストラリア・ドル高が税引き後利益のマイナス要因となっている。

出典) June 2007 Half-Yearly ASX Report, 1 August 2007  
December 2006 Preliminary Final ASX Report, 1 February 2007  
June 2006 Half Yearly ASX Report, 3 August 2006

#### (2) 生産状況

AWAC 社の項参照

#### (3) 探鉱・開発状況

AWAC 社の項参照

## 2) Alcoa World Alumina and Chemicals (AWAC)

### (1) 財務状況

AWAC 社は、Alcoa 社(米国)が権益 60%、Alumina Limited が権益 40%を持つ JV 企業。

(単位：百万 US\$)

百万 US\$	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
総収入	2,327.7	2,774.0	2,909.1	2,902.7	・アルミナ、アルミニウム価格上昇、中国を中心にした堅調な需要により税引き後利益は、対前年同期 4.6%増加。
税引き後利益	335.3	579.6	542.5	575.6	

出典) Public Announcement 2007-23AWC, 1 August 2007

Public Announcement 2006-16AWC, 3 August 2006

### (2) 生産状況

鉱種	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
アルミナ (Mt)	6.9	7.0	7.3	7.0	・前年同期、前期とほぼ同水準の堅調な生産。 ・Pinjarra 精錬所(西オーストラリア州)の増強が堅調な生産に貢献。一方、Kwinana 精錬所(西オーストラリア州)、Point Comfort 精錬所(米国テキサス州)は能力の 85%程度の生産に留まる。
アルミニウム (`000 t)	190	183	194	192	・生産量は、対前年同期比 4.9%増加。 ・Portland 製錬所(ビクトリア州)の電力供給障害の影響で生産量は微減。

\*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Public Announcement 2007-23AWC, 1 August 2007

Public Announcement 2007-2AWC, 1 February 2007

Public Announcement 2006-16AWC, 3 August 2006

December 2005 Preliminary Final ASX Report, 1 February 2006

Public Announcement 2005-16AWC, 4 August 2005

### (3) 探鉱・開発状況

- ・ AWAC 社の今期投資支出額は、476.4US\$、Jamalco アルミナ精錬所(AWAC 社 100%、ジャマイカ)の拡張工事(生産能力を年間 146,000t 増強)、Alumar アルミナ精錬所(ブラジル)の拡張(3.5 百万 t/年、AWAC 分は 1.1 百万 t/年)、Juruti ボーキサイト鉱山(ブラジル、2.6 百万 t/年能力)などに充てられる。
- ・ Jamalco アルミナ精錬所は、2007 年第 1 四半期に建設は完了、第 2 四半期に運転開始予定。
- ・ Alumar アルミナ精錬所と Juruti ボーキサイト鉱山は、建設中。ブラジル通貨高騰によりコストが上昇。プロジェクトは、将来の拡張に備えて鉄道、港湾施設などのインフラストラクチャの建設も含んでいる。建設費用は 600 百万 US\$増加して 23 億 US\$。

出典) Public Announcement 2007-23AWC, 1 August 2007

### 3) CBH Resources Limited

#### (1) 財務状況

Panorama 鉱床(西オーストラリア州)の開発を目的とした転換社債 2 百万 A\$を発行。

(単位：千 A\$)

	2005 12 月末半期	2006*1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007*2 7 月末半期	コメント
総収入	48,993	37,020	141,773	127,685	・ Endeavor 亜鉛鉱山の鉱石処理量が前年度比 87%増加の 975 千 t に達するなど好調であったこと、金属価格の高騰が好業績の主な要因。
税引き後純利益	▲10,989	▲4,143	21,115	17,573	
探査費用*3	5,252		21,074		

\*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*3 Exploration & Evaluation Expenditure

出典) Quarterly Report for the period ending 31 March 2007, 18 April 2007

Half Year Report Condensed, Financial Report For the half-year ending 31 December 2006, 20 February 2007

Appendix 4E, Preliminary Final Report Year ended 30 June 2006, 20 September 2006

#### (2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
亜鉛精鉱 (t)	11,000	16,300	14,500	10,400	11,600	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Endeavor 鉱山(ニューサウスウェルズ州)の探掘量は、対前四半期比 8%増加の 254,900t に達し、亜鉛(金属純分量)は対前四半期比 26%増加、鉛(同)は対前四半期比 12%増加した。</li> <li>・ 第 3 四半期末時点で地表における貯鉱量は 18,500t、更に、Rasp 鉱山(ニューサウスウェルズ州 Broken Hill)から 7,500t が供給され、貯鉱されている。</li> <li>・ ペースト充填システムは、計画の 20%増し 115,500t のペーストを坑内へ供給。</li> <li>・ Endeavor 鉱山の責任者(General Manager)に、元 Olympic Dam 鉱山の探鉱責任者を起用。同氏は、Northpankes 鉱山、Mt. Isa 鉱山での坑内探掘の経験がある。</li> </ul>
鉛精鉱 (t)	5,980	9,080	6,900	4,600	5,800	
銀 (kg)	3,880	5,300	4,400	3,800	4,700	

#### Newcastle 積出港取扱量

(単位：t)

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
積出量	66,935	98,964	92,319	55,980	133,664	・ 当期は鉱山からの精鉱受入、精鉱の積出しとともに遅延なく行われた。
貯鉱量	31,608	34,123	23,031	53,105	16,582	

出典) Quarterly Report for the period ending 30 September 2007, 15 October 2007

Quarterly Report for the period ending 30 June 2007, 25 July 2007

Quarterly Report for the period ending 31 March 2007, 18 April 2007

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Endeavor 亜鉛・鉛鉱山は、ペースト充填が好調で対前四半期 30%増加した。300m 以浅鉱体での鉱石運搬のバイパスとなる新斜坑建設は、計画通り(1,420m まで)建設が進んでいる。直近 12 か月間は 290 レベル(深さ 900m)での低品位部の採掘を実施していたが、ペースト充填等により鉱床中央部の高品位鉱体 11 百万 t へのアクセスが可能となる。
- ・ Panorama 亜鉛・銅鉱山(西オーストラリア州、CBH 60%)は、環境保護当局(Environmental Protection Authority Services Unit:EPASU)による環境調査の公聴(Public Environmental Review)手続きは、2008 年 3 月末四半期中に完了、2008 年 6 月末半期には建設開始予定。インフラ建設等のための地盤調査等を開始。詳細設計のためのエンジニアリング調査、Kangaroo Cave 鉱床の露天採掘ピットの設計検討を開始。Sulfer Springs 鉱床の走向方向への延長を確認するためのボーリング調査を開始した。
- ・ Rasp 鉱山(Broken Hill 西部鉱化帯)は、斜坑 739m を掘削、西部鉱化帯までの斜坑延長は 2,100m でこのままの掘削ペースで完成までに 7 か月必要。FS 調査の資料作成が完了、同社役員会に諮られる予定。環境評価書を作成、2007 年 12 月に公聴手続きに入り、2008 年 5 月には建設開始予定。選鉱場(750,000t/年、初期投資額 113 百万 A\$)の詳細設計終了。
- ・ Mineral Hill 金・亜鉛・鉛・銅プロジェクト(ニューサウスウェルズ州)は、過去のボーリング結果の再評価と開発計画検討の間、メンテナンスを実施。ボーリング調査を実施、結果は良好。
- ・ Hera 金・銅・亜鉛・鉛プロジェクト(ニューサウスウェルズ州)は、ボーリング調査を実施、鉱床中央部で金高品位部、亜鉛・鉛鉱化を確認。

#### (探鉱)

- ・ Cobar 地域(ニューサウスウェルズ州)は、Endeavor 鉱山地区において IP 調査を実施、鉱山から 5km と 10km のところで硫化物鉱化を示唆する異常値を得た。Sandy Creek 亜鉛・鉛・銀鉱床探査では、ボーリング調査で珪化変質と硫化物鉱化を捕捉した。Hera 金・亜鉛・鉛・銅鉱床探査では、中央部で高品位金鉱化作用を確認するためのボーリングを実施、分析結果及び目に見える金粒など高品位金・ベースメタル鉱床の存在を確認した。Mineral Hill 金・亜鉛・鉛・銅鉱床探査では、離れた 3 本の鉱化帯を捕捉した。
- ・ Broken Hill 亜鉛・鉛・銀・銅・金広域探査地域(ニューサウスウェルズ州)では、6 プロジェクト 1,300km<sup>2</sup>に権益を保有。ZincSearch 社との JV では、原位置簡易分析装置(Niton)による地化学データ取得(70,000 件のデータ取得)、金属元素の異常範囲を把握。
- ・ Panorama 亜鉛・銅 JV プロジェクト(同社権益 60%、Sipa Resources Limited(本社パース) -40%)では、Kangaroo Cave 鉱床(Sulfer Springs 鉱床から 6km に位置する)でのボーリング調査により露天採掘の可能性を確認した。更に走向方向に 20km の探査鉱区を取得、既存部分と合わせて 35km をカバー。
- ・ Kimberly 地域(西オーストラリア州)は、Sorby Hills 亜鉛・鉛・銀プロジェクトにおいて露天採掘の埋蔵量を確認するためのボーリング調査、冶金試験、地下水評価を開始した。Napire Range 鉱床では、地化学異常、物理探査異常に対しボーリングを実施、鉱化帯を捕捉した。

出典) Quarterly Report for the period ending 30 September 2007, 15 October 2007

#### 4) Consolidated Minerals Limited

##### (1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
売上げ	103.2	111.5*1	119.2	152.2*2	・生産量の増加と金属価格の上昇により6月末までの12か月間の売上げは27.9%、税引き前利益は188.0%増加。
税引き前利益*3	N. D.	N. D.	35.1	66.5	
税引き後利益*4	3.2	▲9.7	10.2	20.8*2	

\*1 2006年6月末までの12か月分から、2005年12月末までの6か月分を差引いた数値

\*2 2007年6月末までの12か月分から、2006年12月末までの6か月分を差引いた数値

\*3 Total Operating EBITDA

\*4 Profit attributable to members of Consolidated Minerals Limited

出典) Quarterly Activities Report for the Period ended 30 June 2007, 13 July 2007

Annual Report 2006,

Half Year Report 31 December 2006, 23 February 2007

Half Year Report 31 December 2005, 2 March 2006

##### (2) 生産状況

(単位：t)

鉱種	2006 3/4	2006 4/4	2007 1/4	2007 2/4	2007 3/4	コメント
マンガン	244,975	226,631	196,256	234,190	204,384	・対前年同期比16.6%減少、対前四半期比12.7%減少で計画を40,000t下回った。 ・年間生産量も当初計画を達成できない見込み。12月末四半期は生産増加を期待している。
クロム	64,040	61,975	62,366	68,555	60,863	・対前年同期比5.0%減少、対前四半期比11.2%減少。生産状況は堅調でほぼ計画通り。
ニッケル	1,059	964	966	1,189	957	・対前年同期比9.6%減少、対前四半期比19.5%減少。Kambalda 鉱山(西オーストラリア州)では、新鉱体の開発が遅れたために生産量は計画をわずかに下回った。 ・Widgiemooltha 鉱山(西オーストラリア州)が生産開始、生産量199t。

出典) Quarterly Activities Report for the Period ended 30 September 2007, 25 October 2007

##### (3) 探鉱・開発状況

###### (開発)

- ・ Kambalda ニッケル鉱山では、通気用立坑の運用を開始、坑内通気は大きく改善すると期待している。拡張計画を2007年12月に開始する予定、計画よりも遅れているが、プロジェクト全体に大きな影響はない。
- ・ Widgiemooltha ニッケル鉱山は、2008年度中に生産規模を拡大するとの観点から坑内採掘のFS調査を実施中。

###### (探鉱)

- ・ マンガンは、Woodie Woodie 鉱山地帯の Sardine-Ranchu・Minnow・Ghost・Topvar/Big Mack East 地区において、フォローアップのボーリング調査を実施、Radio Hill・Whodowe 地区では GAIP 調査を継続。Tarra-Tarra・Depot Creek 地区でのボーリング地点選定と2006年に実施した EM

調査で得られた有望地のランク付け、Bee Hill から Balfour Downs 地区にかけての広域地質図作成を行った。同地域では RC ボーリング 338 孔・34,080m を実施した。

- ・ クロムは、Coobina 鉱山地区で構造解析のための地質調査と RC ボーリング調査 (65 孔・9,276m) を実施。
- ・ ニッケルは、Kambalda 鉱山 Beta Hunt 地区でのボーリング調査が採掘作業の関係で制限された。坑内ボーリングにより既知鉱体の延長部を確認。玄武岩と超塩基性岩との境界部で塊状硫化ニッケル鉱化を捕捉。
- ・ 広域的なニッケル探鉱では、West 132N、Mason・Rhona・Gillet、Flinders、Zabel/McEwen、Zabel NE、Pearl Diver 地区などにおいて SESQUID で抽出した EM 異常に対してボーリング調査を実施。David's Gossan、O'Grady、Mason・Rhona・Gillet 地区において地表 EM 及びボーリング孔での EM 調査の結果を確認するボーリング調査を実施。その他、Gillet、Larkinvile/Groundlark、Widgie Townsite、Munda Deeps、Mund SE、Bettini 地区でもボーリング調査を実施。

出典) Quarterly Activities Report for the Period ended 30 September 2007, 25 October 2007

## 5) Energy Resources of Australia Limited (ERA)

### (1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
収入	136.2	154.7	162.5	114.3	・収入は対前年同期比 26%減少、税引き後純利益は同 71%減少。大雨のため 2~3 月の Ranger 鉱山の生産が遅れたことが影響。
税引き後純利益	23.7	19.9	23.7	5.7	

\*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half-Year Result 2007, 26 July 2007  
Full Year Result 2006, 1 February 2007  
Half-Year Result 2006, 26 July 2006  
Full Year Result 2005, 1 February 2006

### (2) 生産状況

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
ウラン (tU <sub>3</sub> O <sub>8</sub> )	1,103	1,662	1,006	1,490	1,363	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産量 (U<sub>3</sub>O<sub>8</sub>) は、対前四半期比 9%減少、高品位鉱石処理、排水方法の改善、採掘の最適化などにより、対前年同期比 24%増加となった。</li> <li>鉱石処理量は、定期メンテナンスの影響により、対前四半期比 14%減少、対前年同期比 20%減少となった。</li> <li>採掘量は、対前四半期比 2%増加、対前年同期比 27%減少となった。</li> <li>品位は、対前四半期比 3%向上、対前年同期比 55%向上となった。</li> <li>回収率は、対前四半期比 1%低下、対前年同期比と同水準となった。</li> </ul>
処理鉱石 (`000 t)	622.5	555.2	399.3	559.3	481.5	
採掘量 (`000 t)	957.8	1,553.7	769.5	690.9	702.2	
品位 (`000 t)	0.201	0.34	0.28	0.30	0.31	
回収率 (%)	87.6	87.5	86.0	88.8	87.9	

出典) Third Quarter Operation Review (unaudited), 16 October 2007  
Second Quarter Operation Review (unaudited), 17 July 2007  
First Quarter Operation Review (unaudited), 16 April 2007  
Fourth Quarter Operation Review (unaudited), 16 January 2007

### (3) 探鉱・開発状況

#### (探鉱)

- ・ 2007 年第 3 四半期の Ranger 地区 (北部準州) の探鉱費は 2.8 百万 A\$。9 月末までの 1 年間の探鉱費は 9.5 百万 A\$。
- ・ Ranger 露天採掘ピット 3 の東側への鉱床延長を確認するための探鉱を継続。
- ・ 鉱山寿命延長と生産増加のためのプレ FS 調査は、炭酸塩質岩が多い鉱山下部での資源量の把握が必要と指摘。ボーリング調査を開始、結果は 2008 年第 1 四半期に出る予定。
- ・ Ranger 18 East 地区は、ボーリング地点選定に地震探査が検討された。試験的な調査を Ranger 3 にて実施。この結果がよければ、Ranger 18 East 地区に適用する予定。今年はこれ以上、同地区での探査の予定はない。

出典) Third Quarter Operation Review (unaudited), 16 October 2007

## 6) Iluka Resources Limited

### (1) 財務状況

(単位：百万A\$)

	2005 *1		2006		2006 *2		2007		コメント
	12月末半期		6月末半期		12月末半期		6月末半期		
売上げ	456.7		452.4		550.8		422.7		・全ての生産物の価格は上昇したが、A\$の対US\$レート高の影響を受ける。西オーストラリア州からの製品の積出し障害も売上げに影響。
税引き後純利益	-165.2		32.2		-11.2		42.0		
探鉱支出	6.1	6.3*1	4.5	5.1	4.5	5.3	4.7	5.1	

\*1 2005年12月末までの12か月分から、2005年6月末までの6か月分を差引いた数値

\*2 2006年12月末までの12か月分から、2006年6月末までの6か月分を差引いた数値

\*3 2005年12月末までの1年間から2005年第1四半期から第3四半期までの合計を引いた額

出典) Iluka Half Year Report 30 June 2007, 23 August 2007

June Quarter 2007 Production and Exploration Report, 18 July 2007

March Quarter 2007 Production and Exploration Report, 19 April 2007

Iluka Results for The Year ended 31 December 2006, 22 February 2007

Chairman's Letter & 2006 Half Year Report to Shareholder, 30 August 2006

Full Year Result 2005, 1 February 2006

Iluka Half Year Report 30 June 2005, 17 August 2005

### (2) 生産状況

(単位：t)

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
ルチル	47,132	41,843	43,635	52,746	52,746	・ミネラルサンドの販売量は、輸送状況が改善したため対前四半期比26.8%増加、対前年度比17.5%増加した。
人エルチル	139,348	136,541	123,497	137,601	131,017	・ルチル生産量は、対前四半期比4.6%増加、対前年度比15.8%増加した。Mid West(西オーストラリア州)の不調が一部相殺したが、Murray Basin(ビクトリア州/ニューサウスウェルズ州)とCRL(クィーンズランド州)の好調な生産が貢献した。
イルメナイト	437,949	419,040	424,001	402,518	398,128	・人エルチル生産量は、メンテナンスの影響で対前四半期比4.8%減少、対前年度比6.0%減少した。
リュウコシ/Hyti	9,304	6,037	6,457	8,236	5,890	・ジルコン生産量は、Mid Westでの品位低下、西オーストラリア州南西地区での天候不順が影響して対前四半期比13.3%減少、対前年度比8.1%増加となった。Murray Basinの生産量は対前四半期比11.5%と好調であった。
ジルコン	112,800	113,082	116,439	140,664	121,967	・石炭生産量は、対前四半期比34.1%減少、対前年度比5.6%増加した。
石炭	233,575	353,752	220,065	374,659	246,723	

出典) September Quarter 2007 Production and Exploration Report, 18 October 2007

June Quarter 2007 Production and Exploration Report, 18 July 2007

March Quarter 2007 Production and Exploration Report, 19 April 2007



### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ 2007年第3四半期の資本投資額は16.9百万A\$、2007年9月末までの9か月間の投資額は93.5百万A\$であった。
- ・ Waroona/Cloverdale ミネラルサンド鉱山(西オーストラリア州南西地域)の建設を完了させるために投資されたほか、Murray Basin プロジェクト第2フェーズと Jacinth-Ambrosia プロジェクトのFS調査に投資されている。今年の資本投資見込みは230百万A\$であったが、実績は180百万A\$以下になる見込み。

#### (探鉱)

- ・ 当期探鉱費は3.9百万A\$(前四半期5.5百万A\$)。その内訳は、Perth Basin(西オーストラリア州)に28%(前四半期23%)、Eucla Basin(南オーストラリア州)に19%(21%)、Murray Basin(ビクトリア州/ニューサウスウェルズ州)に20%(21%)、米国に11%(15%)であった。
- ・ Perth Basin 地域では、Mid West 地域(Adamson, North Mines, Brandy Flats 地区)及び South West 地域(Dardanup, Tutunup 地区)で鉱床の連続性と資源量評価に向けた探鉱を継続中。Brandy Flats(Mid West 地区)・Dardanup・Tutunup(South West 地区)でも探鉱を継続中。(Perth Basin でのボーリング総延長は11,543m)
- ・ Murray Basin 地域では、Kulwin 鉱床(Murray Basin Stage2)のFS調査のために鉱床の連続性を確認するためのボーリング調査を実施。Bondi East・Far North・Echo 地区において Douglas 選鉱場に鉱石を供給する衛星鉱体を探査。West Balranald 鉱床(資源量8.2百万t・重鉱物品位8.3%・重鉱物中イルメナイト品位63%・ジルコン10%・ルチル12%)の鉱化延長と、Minsk 鉱床(幅120m以上、厚さ2~3m、重鉱物品位10%以上・重鉱物中イルメナイト品位62%・ジルコン6%・ルチル22%)を発見。(Murray Basin でのボーリング総延長は8,788m)
- ・ Eucla Basin 地域では、Jacinth-Ambrosia 地区において鉱床の境界を確認するためのボーリングを実施し、分析がほぼ完了、2008年半にはFS調査を完了させる予定。初期探鉱として Colona JV(権益51%-Adelaide Resources Limited 49%)を9月から開始、ボーリング1,500mと5年間で1.5百万A\$支出することで権益51%を取得する予定。(Eucla Basin でのボーリング総延長は5,076m)
- ・ Atlantic Basin(米国バージニア州)では、Virginia オペレーション(米国バージニア州)の寿命延長のための調査を継続。ボーリングを実施したが、結果は限定的なものであった。(米国でのボーリング総延長は1,523m)

出典) September Quarter 2007 Production and Exploration Report, 18 October 2007

## 7) Jubilee Mines N.L.

### (1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 *1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 *2 6 月末半期	コメント
収入(売上)	85.5	208.3	244.9	142.8	・2007 年 6 月末までの 12 か月の売上げは前年度比 32%増加の 387.6 百万 A\$、税引き後純利益は 67.4%増加の 173.1 百万 A\$となった。
税引き後純利益	23.3	80.1	107.6	65.5	
探鉱支出	0.48	24.7	11.8	0.72	

\*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Jubilee Mines NL Condensed Consolidated Income Statement For The Half-Year Ended 31 December 2006  
Jubilee Mines NL Income Statement For The Year Ended 30 June 2007

### (2) 生産状況

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
ニッケル精鉱 (dmt)	12,093	15,324	8,478	6,930	7,878	・Cosmos 硫化ニッケル鉱山(西オーストラリア州)の操業状況は計画通り。生産量は、対前四半期比 13.7%増加、対前年度比 34.9%減少。 ・ニッケル鉱石出荷は、今期中で契約満了となった CVRD Inco 社へ 2 隻、9,342t を出荷。また、新たな鉱石引取り相手となる BHPBilliton 社へは 2,989t を出荷した。
ニッケル品位 (%)	4.55	6.39	2.79	3.09	3.75	
回収率 (%)	94.0	95.4	93.6	87.2	87.2	

出典) QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 SEPTEMBER 2007, 25 October 2006

QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 30 JUNE, 27 July 2007

QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 MARCH, 27 April 2007

QUARTERLY REPORT FOR PERIOD ENDED 31 DECEMBER 2006, 29 January 2007

QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 SEPTEMBER 2006, 26 October 2006

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・Cosmos 鉱山への投資では、Prospero 鉱体の深部にある Tappinos 鉱体へアクセスするための Helen 斜坑建設の進捗が 767m に達し、通気系の設備工事が行われた。新たに導入した電磁気選鉱機は最適運転に入り、当初、予定していた能力に達した。
- ・Sinclair 鉱床(西オーストラリア州 Cosmos 鉱山の南 100km)は、FS 調査が完了し、今期、開発決定を発表。鉱山建設に関わる設計、調達、環境、インフラストラクチャ工事等の各企業を選定。

#### (探鉱)

- ・Cosmos 鉱山地区、Sinclair 鉱山地区での硫化ニッケル鉱床を対象とした地表及び坑内での各種ボーリング調査・地表電磁気調査・地質調査・地化学調査などの探鉱を実施。
- ・Cosmos 鉱山地区では、Alec Mairs 5 (AM5) 鉱床(西オーストラリア州)で高品位塊状鉱化帯及び高品位鉱染状鉱化帯を捕捉(幅 36m・ニッケル品位 2.5%、幅 19m・ニッケル品位 2.0%、幅 70m・ニッケル品位 1.0%など)。
- ・Sinclair 鉱床では、新たな資源量評価を行い、1.9 百万 t・ニッケル品位 2.5%・ニッケル金属純分量 47,3000t を得る。また、この新たな資源量獲得境界を越えて約 120m 傾き方向で探

鉱実施。

- ・ Emu Lake 探鉱 JV (西オーストラリア州) では、電磁気探査 (ELME) と遺跡調査を実施した。Bini Gossan を対象に RC ボーリング調査を実施中で 11 月中に結果を得る予定。
- ・ Skye and Stirling 鉱徴地では、超塩基性岩地帯において RC ボーリング及びコアボーリングを実施、ニッケル鉱化作用を 2 地区で確認。
- ・ Acra 地区 (権益 60%、75%取得中) では、塊状及び鉱染状硫化ニッケル鉱床を対象に探鉱中。2007 年 6 月に終了したボーリング調査の結果は良好。土壌地化学サンプル 4,003 件を採取。2007 年 12 月から RC ボーリング、コアボーリング、更に、電磁気探査 (MLME、FLME) を実施する予定。

出典) QUARTERLY REPORT FOR THE PERIOD ENDED 30 SEPTEMBER 2007, 25 October 2006

## 8) Kagara Zinc Limited

### (1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 *1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 *2 6 月末半期	コメント
事業収入	31.4	85.3	123.9	163.7	・ Mt Garnet 鉱山(クィーンズランド州)の生産が好調なことと金属価格が高騰したことにより、税引き後利益は、対前年度比 152%増加の 89.8 百万 A\$に達した。
税引き後利益	5.4	30.2	38.9	50.9	
探鉱費	5.5	9.4	12.0	15.0	

\*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Year Report- 31 December 2006, 27 February 2007

Half Year Report- 31 December 2005, 3 March 2006

Half Year Report- 31 December 2004, 22 February 2005

Annual Report 2006

### (2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
銅 (t)	2,396	4,076	5,813	6,227	4,453	<ul style="list-style-type: none"> <li>銅は、Balcooma 鉱山からの鉱石供給が得られず対前四半期比 28.5%減少した。</li> <li>亜鉛は対前四半期比 42.9%増加、対前年同期比 34.2%増加の記録的な生産量となった。</li> <li>鉛(副産物)は、対前四半期比 44.0%増加、対前年同期比 29.5%増加した。</li> <li>銀(副産物)は、対前四半期比 8.9%減少、対前年同期比 15%減少した。</li> <li>金(副産物)は、対前四半期比 10.8%減少、対前年同期比 25.9%減少した。</li> </ul>
亜鉛 (t)	10,099	10,770	7,785	9,480	13,549	
鉛 (t)	3,071	3,459	2,219	2,761	3,977	
銀 (t)	6.0	7.4	5.3	5.6	5.1	
金 (kg)	51.0	65.4	40.2	42.0	37.6	

出典) Quarterly Activity Report for the period ending 30 September 2007

Quarterly Activity Report for the period ending 30 June 2007

Quarterly Activity Report for the period ending 31 March 2007

Quarterly Activity Report for the period ending 31 December 2006

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Mungana プロジェクトは、探鉱斜坑 65.8m を掘進し、これまでの総延長が 2,008m に達した。結果が良好であれば、2008 年 2 月に鉱山建設開始、2009 年 3 月末四半期生産開始予定。また、環境計画が提出された。
- ・ Mt Garnet 亜鉛・鉛鉱山では、露天採掘ピットから 313,000t の廃さいを除去、鉱石 11,800t を採掘・貯鉱した。
- ・ Thalanga プロジェクトは、鉱山及び選鉱施設の排水から LME グレードの銅を回収するためのイオン交換電解パイロットプラントの試運転を行う。
- ・ Mungana 鉱床、King Val 鉱床は、資源量の 71%が埋蔵量に転換、埋蔵量 2.67 百万 t・亜鉛 11.5%・銅 1.3%・鉛 1.0%・銀 81g/t・金 0.50g/t、資源量 2.47 百万 t・亜鉛 13.6%・銅 1.2%・鉛 1.7%・銀 84g/t・金 0.20g/t となった。

(探鉱)

- ・ Red Dome プロジェクトでは、ボーリング 4 孔が完了、金-銅-銀-モリブデン-亜鉛鉱化を捕捉、鉱化が広範囲にわたる可能性を得た。資源量の最初の評価結果は、2008 年 3 月末四半期に得られる予定。
- ・ Thalanga プロジェクトでは、Thalanga 地区で冶金(選鉱)試験用にボーリング 8 孔を実施、幅 14.9m・亜鉛 17.5%・銅 1.6%・鉛 5.1%・銀 121g/t・金 0.66g/t などの結果を得る。Vomacka 高品位多金属鉱体の資源量 37.1 百万 t・亜鉛 11.7%・銅 2.3%・鉛 2.8%・銀 83g/t・金 0.9g/t を獲得、更に鉱化が伸びている可能性がある。
- ・ Admiral Bay プロジェクトは、ボーリング調査がほぼ完了。幅 20m・亜鉛 8.3%・鉛 4.9%・銀 35g/t・バリウム 20.9%などの結果を得る。
- ・ Forrestania Nickel-Lounge Lizard 地区では、Flying Fox 鉱床探査に参加。Western Area NL 社が実施した T5 地区下部のボーリングの費用を負担。ボーリングは、鉱染状鉱化(幅 21.6m・ニッケル品位 1.0%)及び塊状・半塊状硫化物鉱化(幅 3.6m・ニッケル品位 2.9%、7.3m・3.3%)を捕捉した。

出典) Quarterly Activity Report for the period ending 30 September 2007

## 9) Lihir Gold Limited

### (1) 財務状況

(単位：百万 US\$)

百万 US\$	2005 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
収入	156.1	177.7	208.3	235.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 売上げは前年度同期比 32%増加の 235.3 百万 A\$</li> <li>・ 営業利益は同 45%増加の 94.7 百万 A\$となったが、ゴールドローンの早期返済に 117.9 百万 A\$、更に、金ヘッジの解消のコストが加わり、税引き後は 53.1 百万 A\$の損益計上となった。</li> </ul>
税引き後利益	30.6	23.1	30.8	-53.1	
探鉱費	1.9	3.1	2.8	2.9	

出典) Financial Result for Half Year ended 30June 2007, 22 August 2007  
Fourth Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 30 January 2007

### (2) 生産状況

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
金 (千 oz)*	127.3	226	193.3	182.4	156.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lihir 鉱山の生産量は、8 月 31 日～9 月 7 日までの予告なしの操業以来始めてのストライキによる影響で、前四半期比 14.3%減少した。対前年度同期比では 22.8%増加、9 月末までの 1 年間生産量は 532.7 千 oz であった。</li> <li>・ 金品位は、対前四半期比 8%上昇、対前年度同期比 42.1%上昇した。</li> <li>・ キャッシュコストは、対前四半期比 31.1%増加、対前年度同期比 0.83%減少した。</li> <li>・ 採掘量、鉱石処理量とも対前四半期比減少となった。</li> </ul>
金品位 (g/t)	4.16	5.92	6.08	5.45	5.91	
コスト (US\$/oz)**	361	241	290	273	358	

\* 上段は Lihir 鉱山(PNG)、下段は Ballarat 鉱山(ビクトリア州)

\*\* Total Cash Cost

出典) Third Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 30 October 2007  
Second Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 26 July 2007  
First Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 12 April 2007  
Fourth Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 30 January 2007

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Lihir 鉱山では、Lienetz 露天採掘ピットを開発中。2012 年には鉱石生産を開始する予定。
- ・ Lihir 鉱山選鉱設備では、液化酸素プラントの能力を増強(10t/h 増強して 84t/h の酸素製造とした)、2007 年第 3 四半期より試運転を開始した。
- ・ Ballarat 鉱山開発は計画通り順調に進捗。当期は、1,069m 掘進(前四半期は 1,064m)。2008 年下半期には、生産開始予定。
- ・ 鉱石処理プラント、リーチング系の第 2 ステージ工事が完了、試験運転を開始。11 月には硫化鉱石のリーチングが開始される予定。

(探鉱)

- ・ Lihir 鉱山では、Lienetz 鉱体の資源量確認のボーリングを実施、更にその外側の地区で岩石・土壌地化学異常を調査中。
- ・ Lihir 鉱山周辺の地熱開発のための物理探査が終了し、ボーリング調査を開始。
- ・ Ballarat 鉱山では、資源量確認のボーリングを Suileman・Woah Hawp 斜坑を中心に実施。鉱物資源量における金量は 27%増加して 305,000oz (Indicated)、1.2 百万 oz (Inferred) となった。

出典) Third Quarter Production Report and Preliminary Annual Financial Results, 30 October 2007

## 10) Minara Resources Limited

### (1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
収入	177.5	268.5	483.4	529.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収入は、対前年度同期比 97.3%増加、対前四半期比 6%増加、税引き後利益は、対前年度同期比 144.6%増加、対前四半期比 3.6%増加。</li> <li>・Murrin Murrin 鉱山の操業状態が堅調なことでニッケル・コバルトの需要が堅調なことが好業績の要因。</li> </ul>
税引き後利益	26.4	100.7	238.0	246.5	

\*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 5 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Year Report 30 June 2007, 23 August 2007  
Full Year Report 2006, 1 March 2007  
Half Year Results, 24 August 2006

### (2) 生産状況

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
ニッケル (t) (権益 60%分)	5,521	4,957	4,374	4,559	4,006	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Murrin Murrin ニッケル鉱山(権益 60%)の生産は、精錬所の還元炉にたまったスケールの除去作業の影響から、ニッケル(Packaged Nickel)は対前四半期比 13.8%減少、対前年同期比 27.5 減少の 6,676 t(権益 100%ベース)、コバルトは対前四半期比 19.8%減少、対前年同期比 6.9%減少の 442 t(同)となった。</li> <li>・10~11 月にかけての計画メンテナンスによる操業一次停止の準備は順調。</li> <li>・予想年間生産量(Packaged Nickel)を 28,000 -30,000t に再修正(前回は 31,000 -33,000t に修正していた)。</li> <li>・鉱石処理量 746,835t・ニッケル品位 1.36%(前四半期 808,599t・品位 1.34%)。</li> </ul>
コバルト (t) (権益 60%分)	285	370	307	331	265	

出典) Quarterly Report 30 September 2007, 5 October 2007

Quarterly Report 30 June 2007, 6 July 2007

Quarterly Report 31 March 2007, 5 April 2007

Active Report for the Period ended 31 December 2006, 12 January 2007

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ヒープリーチング・プラントの試運転は順調。パッド 1 及び 2 には鉱石等を 270,000t の準備済み、パッド 3 も近日中に完了予定。パッド 1 では既に 6 か月間のリーチングを行っており、結果は良好。更に 4~6 週間の試験の後、リーチング条件を決定する予定。パッド 3~8 の拡張工事を実施中。



(探鉱)

- ・ Murrin Murrin 鉱山を含めて、年間探鉱費 10.6 百万 A\$の支出を予定している。
- ・ Mt Rankin/Collurabie JV(西オーストラリア州、Gryphon Minerals Ltd から権益 70%取得中)は、2 年間で探鉱費 5.5 百万 A\$を支出し、ニッケルに関して権益 70%をその他鉱種については 60%を取得する予定。今期は、EM 異常に対してボーリングを実施。
- ・ Irwin Hills-Coglia Well JV(西オーストラリア州、Murrin Murrin JV 権益 60%)は、コバルトの品位上昇を目的としたパイロット・プラントでの冶金試験は最終分析中。
- ・ Bardoc Nickel JV(西オーストラリア州、権益 51%)は、西地区でニッケルを対象としたボーリングは、経済性のある鉱化を捕捉できず、西地区の鉱床ポテンシャルは下がった。東地区の探査を予定。
- ・ Mount Margaret(西オーストラリア州)及び Weld Range(西オーストラリア州、権益 70%)は、探鉱実施せず。

出典) Quarterly Report 30 September 2007, 5 October 2007

## 11) Mincor Resources NL

### (1) 財務状況

(百万 A\$)

	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
売上げ*1	70.65	74.81	66.01	80.14	92.19	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上げは、対前四半期比 15%増加、前年同期比 30.5%増加した。</li> <li>・2006/07 年度の利益は、246%増加の 101 百万 A\$に達した。</li> </ul>
営業利益*2	38.25	41.75	36.66	44.93	48.3	
開発/探鉱費	3.76	8.14	4.50	6.48	8.70	

\*1 Sales Revenue

\*2 Operating Surplus

出典) Quarterly Report for the Period ended 30 September 2007  
 Quarterly Report for the Period ended 30 June 2007  
 Quarterly Report for the Period ended 31 March 2007  
 Quarterly Report for the Period ended 31 December 2006  
 Quarterly Report for the Period ended 30 September 2006

### (2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
ニッケル (t)	3,612.3	3,275.5	2,775.5	3,264.0	4,359.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニッケル生産量(精鉱中ニッケル金属純分量)は、対前四半期比 33.6%増加、対前年同期比 20.7%増加の記録的なものとなった。</li> <li>・特に、新たに取得した Otter Juan/Coronet 鉱山の 1,300t(精鉱中ニッケル金属純分量)が生産量増加に大きく貢献した。</li> </ul>
銅 (t)	321.7	312.4	239.6	301.0	354.0	
コバルト (t)	69.0	66.8	55.0	65.1	85.5	

出典) Quarterly Report for the Period ended 30 September 2007  
 Quarterly Report for the Period ended 30 June 2007  
 Quarterly Report for the Period ended 31 March 2007  
 Quarterly Report for the Period ended 31 December 2006  
 Quarterly Report for the Period ended 30 September 2006

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Carnilya Hill プロジェクト(Kambalda 地域、Mincor 権益 70%)は、地表施設の建設工事中。2007 年 12 月末四半期には概ね完了する見込み。マイニング・コントラクター、諸機材、人員を手配中。既存の斜坑の修復作業を当期末めに開始、9 月半ばに完了。新たな斜坑建設を当期末に開始、111m 掘進。
- ・ McMahon・Diurkin ニッケルプロジェクトは、FS 調査及び資源量確認のボーリング調査を継続中。ボーリングは MM3 鉱体を中心に実施。
- ・ MM3 資源量確認ボーリングは、6 孔 2,781.5m を実施。ボーリング結果を踏まえて資源量の再評価を実施中。
- ・ Dunkin Deep プロジェクト(Kambalda 地域)は、スコーピング調査を実施、資源量確認のボーリングを当期より開始予定。Dunkin North A を中心に、4 孔・1,499.8m のボーリングを実施。

(探鉱)

- ・ 2007年6月末時点で、同社の資源量は、前回から93%増加して146,300t。埋蔵量は、対前年度比40%増加の62,700tとなった。
- ・ 新鉱体が発見された Mriners N09 (Kambalda 地域) は、坑内ボーリングでを継続、高品位塊状ニッケル鉱化を捕捉(幅 2.4m・ニッケル品位 7.2%など)。最初の資源量 21,700t(ニッケル金属純分量)、うち、6,800t(同)は埋蔵量として評価している。
- ・ Wannaway 延長部ボーリング (Kambalda 地域) は、深部で高品位鉱床を示唆する結果(幅 1.4m・ニッケル品位 7.9%など)を得る。
- ・ Redross/Jermey Dee 地区 (Kambalda 地域) は、同地区の No2 鉱化を対象に地表からのコアボーリングを実施、ニッケル鉱化を捕捉。鉱化は、傾斜方向に伸びており、確認のためのボーリングが計画されている。
- ・ Rav 8 JV プロジェクト (Kambalda 地域、権益 80%取得中) は、Tectonic Resources NL 社との JV。コアボーリング 1,349.7m を実施、鉱染状 (Stringer) の鉱化 (幅 0.13m・ニッケル品位 2.57%) を捕捉した。
- ・ Dordie Far West 地区は、地化学異常と磁気異常が重なる地点でのボーリング調査のフォローアップのボーリングを計画。遺産・環境許可手続き中。
- ・ Railway は、SQUID 異常、磁気異常、土壌地化学異常 (ニッケル、銅) 等をもとにボーリングを計画。  
遺産・環境許可手続き中。

広域的な探査は以下のとおり。

- ・ Tottenham 銅プロジェクト (ニューサウスウェルズ州) は、中規模の酸化銅鉱床の SE-EW と深部の別子タイプの塊状硫化物鉱床を対象に探査を実施。今期、ボーリング 2,960m (RC ボーリング 31 孔、コアボーリング 18 孔) を実施、Widespread で酸化銅鉱化作用を確認。
- ・ Tipperary 亜鉛プロジェクト (アイルランド、権益 85%取得中) は、新たに 3 鉱区を取得。
- ・ Gascoyne タングステン・プロジェクトは、ウラン鉱化の可能性を評価するための Nardoo Well 地区でパーカッションによる岩石片の再採取 (50 件) など 2 回の予察調査を実施。分析結果は 11 月初～中旬に得られる予定。
- ・ Georiana 亜鉛・鉛プロジェクト (北部準州) は、先住権の交渉完了。現地調査を 2008 年 1 月末四半期より開始する予定。Bonaparte 亜鉛・鉛プロジェクト (北部準州) でも同様の先住権の交渉中、現地調査を次の乾季 (2008 年 4 月頃) から開始する予定。

出典) Quarterly Report for the Period ended 30 September 2007

## 12) Newcrest Mining Limited

### (1) 財務状況

(単位：百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006 *1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007 *2 6 月末半期	コメント
総売上げ収入	696.0	708.1	768.4	937.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2007 年 6 月末までの 12 か月間の税引き後利益は、ヘッジにかかる費用 122.5 百万 A\$ が影響して、前年度比 45% 減少の 72.0 百万 A\$ となった。</li> <li>・ フィジー-Namosi プロジェクトの権益 65% 取得を取得する JV 契約に合意。</li> </ul>
税引き後利益	74.2	275.3	37.0	35.0	
探鉱支出	25.1	16.6	19.7	27.5	

\*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Half Yearly Financial Report 31 December 2006, 27 February 2007  
Financial Results 30 June 2007, 17 August 2007

### (2) 生産状況

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
金 (oz)	379,701	384,285	390,096	463,170	448,103	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 金は、対前四半期比 3.3% 減少、対前年同期比 18.0% 増加となった。</li> <li>・ 銅は、対前四半期比 1.7% 減少、対前年同期比 5.6% 減少となった。</li> <li>・ Cadia Hill 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、金生産量は堅調、銅生産量は品位と回収率の向上により対前四半期比 4.6%、対前年同期比 38.1% 増加した。</li> <li>・ Ridgeway 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、生産量は品位の低下が影響して、金が対前四半期比 13.5%、対前年同期比 15.2% 減少した。銅が対前四半期比 13.4%、対前年同期比 15.1% 減少した。</li> <li>・ Telfer 鉱山(西オーストラリア州)は、Main Dome ピットの採掘、坑内 4600 レベルの採掘ともに堅調で、生産量は、金が対前四半期比 4.9% 減少、対前年同期比 3.4% 増加した。</li> <li>・ Goswong 金鉱山(権益 82.5%、インドネシア)は、品位低下を採掘量増加が相殺して、金生産量が対前四半期比 4.1%、対前年同期比 23.6% 増加した。</li> <li>・ Cracow 金鉱山(権益 70%、クィーンズランド州)は、回収率低下を採掘量増加が相殺して、対前四半期比 0.7%、対前年同期比 14.6% 増加した。</li> </ul>
金品位 (g/t)	1.24	1.28	1.34	1.59	1.46	
コスト (A\$/oz)*	219	384	283	230	186	
銅 (t)	23,101	22,023	21,628	22,188	21,818	
銅品位 (%)	0.26	0.25	0.25	0.26	0.24	

\* Group Cash Cost

出典) Quarterly Report for the three months ending 30 September 2007  
Quarterly Report for the three months ending 30 June 2007  
Quarterly Report for the three months ending 31 March 2007  
Quarterly Report for the three months ending 31 December 2006  
Quarterly Report for the three months ending 30 September 2006

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Cadia East 鉱床の斜坑開発は、340m(前四半期 475m)掘進し、2005年5月の開発開始から4.0kmに達した(総延長6.7kmで2008年末完成予定)。坑内ボーリングを開始、深さ1kmまで掘削。Cadia East 露天採掘のプレFS調査完了、10月中に結果を検討する予定。
- ・ Ridgeway Deeps 鉱山は、スケジュール・費用ともに当初計画の範囲内で進捗している。建設は深度1,100mに達した。エンジニアリング・調達・管理等の契約完了。
- ・ Gosowong District JV は、既存の Kencana 坑内採掘鉱山の最適化のための戦略を策定するためのプレF/S調査が計画通りの進捗。
- ・ Telfer 鉱山は、低コストの坑内採掘法、露天採掘における低コストのハンドリングを集中的に実施した。

#### (探鉱)

- ・ Gosowong District JV は、金鉱化を胚胎する断層系の特定するためのボーリング調査を継続中。
- ・ Namosi JV プロジェクト(フィジー、権益65%取得中、日鉄鉱業・三菱マテリアル)は、空中デジタル地形調査のための計画策定。調査は2007年第4半期終了見込み。調査結果は、地質図作成や新たなボーリング地点の選定に利用される。また、Waisoi 鉱体での深部ボーリングの計画開始。
- ・ Yolgangi JV プロジェクトは、Hobbes 鉱徴地でボーリング(RAB, Aircore)を実施、広範囲にわたる金鉱化作用を確認。

出典) Quarterly Report for the three months ending 30 September 2007

### 13) Oxiana Limited

#### (1) 財務状況

(単位：千A\$)

	2005 *1 12 月末半期	2006 6 月末半期	2006 *2 12 月末半期	2007 6 月末半期	コメント
総売上げ収入	344,966	685,204	799,450	632,472	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総売上げ収入は、対前年度同期比 7.7%、対前期比 20.1%減少。亜鉛価格の高騰、亜鉛・銅精鉱販売増加を、オーストラリア・ドル高と、金の販売量の低下が相殺するなどが売上げ減少の原因。</li> <li>・ 税引き後利益は、対前年度同期比 34.1%、対前期比 40.1%減少。ラオスの税率上昇などが影響。</li> <li>・ ラオス政府が Sepon プロジェクト (Lane Xang Minerals Limited) の権益 10%取得に署名 (2007 年 6 月 30 日)。</li> </ul>
税引き後利益	63,014	263,232	289,934	173,451	
探鉱支出	6,486	10,167	10,655	17,975	

\*1 2005 年 12 月末までの 12 か月分から、2005 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2006 年 12 月末までの 12 か月分から、2006 年 6 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Financial results Summary for the twelve months ended 30 June 2007, 27 August 2007

Financial results Summary for the twelve months ended 31 December 2006, 22 February 2007

Financial results Summary for the twelve months ended 31 December 2006 - Presentation, 22 February 2007

Financial results Summary for the six months ended 30 September 2006, 25 August 2006

#### (2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 3/4	2006 4/4	2007 1/4	2007 1/4	2007 3/4	コメント
銅 (t) *1	20,073	17,181	21,124	21,124	18,559	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Sepon Copper 鉱山(ラオス)は、雨季の影響により採掘量は減少したが、貯鉱の処理により、処理量は維持。今期の銅生産は 16,139t で、年間生産量予測 (60,000~63,000t) の範囲内。</li> <li>・ Sepon Gold 鉱山(ラオス)の金生産は、雨季の影響により採掘量は減少したが、処理量は維持。今期の金生産は 22,355oz で、年間生産量予測 (100,000oz) の範囲内。</li> <li>・ Golden Grove 鉱山(西オーストラリア州)の亜鉛・貴金属生産は、メンテナンスが無事終了、その後の操業は順調で、生産への影響はなし。年間生産目標(亜鉛 140,000~150,000t、銅 12,000~15,000t、金 50,000~55,000oz、銀 3~3.5 百万 oz、鉛 10,000~13,000t) の範囲内。</li> </ul>
金 (oz) *1	58,829	56,456	46,398	46,398	41,026	
亜鉛 (t)	21,482	46,605	24,514	24,514	35,751	
銀 (oz) *3	580,925	1,092,364	571,692	571,692	1,367,596	

\*1 地金生産量

\*2 地金生産量+精鉱中の金属純分量：Sepon Gold 鉱山は地金、Gorden Grove 鉱山は精鉱中の含有金属量

出典) Quarterly report for the three months ending 30 September 2007, 23 October 2007

Quarterly report for the three months ending 30 June 2007, 18 July 2007

Quarterly report for the three months ending 31 March 2007, 19 April 2007

Quarterly report for the three months ending 31 December 2006, 29 January 2007

Quarterly report for the three months ending 30 September 2006, 24 October 2006

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Sepon Copper 鉱山は、拡張のための F/S 調査を実施。第一次拡張規模は 100,000t/年、当初拡張規模は 750,000~800,000t/年。現在の主要鉱体は、Khanong であるが、2~3 年後には Thengkham 鉱体かたの鉱石供給を開始する予定。
- ・ Sepon Gold 鉱山は、初生金鉱 (Primary Gold) の F/S 調査を実施。これまでに最適プロセスの特定・資源量拡大のためのボーリング調査などを実施し、資源量 2.2 百万 oz を確認。Sepon 酸化金処理プラントは、2008~2009 年に操業開始予定。
- ・ Golden Grove 鉱山は、拡張のための調査を開始すると発表した (ASX 02/08/07)。酸化鉱 3 百万 t・銅品位 2%硫化鉱 8 百万 t・同品位 2%が確認されている。露天採掘ピットの許可手続きを開始し、2008 年に工事完了、2009 年には拡張後の鉱山での銅生産開始を予定。
- ・ Prominent Hill 鉱山開発は、露天採掘ピットの剥土作業を実施。作業を加速して、10 月には鉱体へ到達する予定。計画よりも 2 か月早い進捗。プラント及びインフラ建設のために 500 名の作業員が現地で作業に当たっている。今期は、堆積場の建設を開始。ボールミルは、2008 年第 1 四半期に到着する予定。Olympic Dam 鉱山からの電力供給のための工事は継続中。

#### (探鉱)

- ・ Sepon Copper 鉱山では、雨季の影響で探査活動が減速。鉱量確認のボーリングを実施。Thengkham North、Thengkham South 鉱床の資源量モデル更新作業開始。
- ・ Sepon Gold 鉱山では、資源量開発ボーリングで浅所での効果を確認。操業開始以来の新鉱床 PhaavatNorth を発見。
- ・ Golden Grove 鉱山では、Xantho 鉱床、Scuddles 鉱床で鉱山拡張計画の一部としてのボーリング調査を継続中。Xantho 鉱床延長部で高品位銅・亜鉛鉱化作用を捕捉。
- ・ Prominent Hill 鉱床では、鉱山の西側で数百 m のボーリング 4 孔を実施。銅異常と高品位金鉱化を捕捉。25 か所の有望地点に対するボーリングを開始。
- ・ 広域的な探査として、Minotaur 社との事業提携により Trumpeter 地区 (Prominent Hill 鉱山の北東)・Naraku 地区 (Mt. Isa 地域)・Thompson (ニューサウスウェルズ州)・Bulgunnia 地区で探査を実施。
- ・ Woolgar-JV (70%取得中、クィーンズランド州) は、浅熱水性鉱化作用を対象にボーリングを実施。ボーリング結果を取得し、結果を評価中。
- ・ Warroo-JV (80%取得中、クィーンズランド州) は、ボーリング調査と結果評価を終了。金鉱化は捕捉したが、大規模金鉱床の可能性は低く、JV からの撤退を検討。
- ・ ラオスでは、AngloGold Ashanti 社との JV で、予察調査 (川砂地化学探査) で鉱化の可能性を把握。Truongson、Luang Prabang 帯を中心にサンプリングを継続中。
- ・ タイでは、Goldfields 社との JV (権益 75%取得中) で、Chatree 地域において浅熱水性鉱脈鉱化を確認するボーリング調査が完了。データ解析と結果評価中。
- ・ 中国では、Rexing 火山性塊状硫化物鉱床 JV (権益 80%取得中) で地化学異常と物理探査異常から抽出された有望地点でのボーリング調査を継続中。
- ・ カンボジアでは、Shin Ha JV (権益 80%) で Okvau-Oput 地域において鉱化作用を確認。岩石片サンプルを採取し、多金属元素異常を得た。

- ・ インドネシアでは、Kalimantan Gold Corp 社との JV により Kalimantan 金プロジェクト(権益 66.67%取得中)でボーリング調査を実施。また、Martabe 金プロジェクトは、主力鉱体 Pit 1 でのボーリングを継続中。Purunama 鉱床は、資源量(Measured)を獲得中。Berani 地区での資源量確認のためのボーリングを実施。

出典) Quarterly report for the three months ending 30 September 2007, 23 October 2007



## 14) Perilya Limited

### (1) 財務状況

(単位：百万A\$)

	2005	2006 *1		2006		2007*2		コメント
	12月末半期	6月末半期		12月末半期		6月末半期		
売上げ	123.4	221.4		261.4		125.5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上げは、前年度比 12%増加の 386.9 百万A\$、税引き前利益は前年度比 14%増加の 151.5 百万A\$。</li> <li>・税引き後純利益は、前年度比 23%増加の 82.5 百万A\$</li> <li>・2007年1月に発生した人身事故とその後の開発の遅れが操業に影響したが、金属価格が高騰により利益を確保できたことが堅調な業績の要因。</li> </ul>
税引き後利益	16.9	50.1		76.1		6.3		
探鉱費 *3	N. D.	0.6	1.6	2.2	5.6	2.7	4.7	

\*1 2006年6月末までの12か月分から、2005年12月末までの6か月分を差引いた数値

\*2 2007年6月末までの12か月分から、2006年12月末までの6か月分を差引いた数値

\*3 四半期毎の探鉱支出

出典) Preliminary Final Report for the Financial Year ended 30 June 2007, 28 August 2007  
 Quarterly report for the three months ended 30 June 2007, 19 July 2007  
 Interim Financial Report for the Half Year ended 31 December 2006, 14 February 2007  
 Quarterly report for the three months ended 31 December 2006, 30 January 2007  
 Quarterly report for the three months ended 30 September 2006, 24 October 2006  
 Quarterly report for the three months ended 30 June 2006, 18 July 2006  
 Quarterly report for the three months ended 31 March 2006, 27 April 2006

### (2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006	2006	2007	2007	2007	コメント
	3/四	4/四	1/四	2/四	3/四	
亜鉛(kt)	30.2	28.0	11.8	26.9	35.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Broken Hill 鉱山(ニューサウスウェルズ州)は、探掘量・鉱石処理量は、亜鉛が対前四半期比 7.3%増加、鉛が同 5.6%増加したが、鉛鉱石品位の低下、亜鉛・鉛とも回収率が低下したため、亜鉛は前四半期比 4.5%増加、鉛は同 8.3%減少となった。</li> <li>・Flinders 鉱山 Beltana 露天探掘(南オーストラリア州)は、高品位鉱石(亜鉛平均品位 38.9%)の探掘増加により、亜鉛生産量(含有金属純分量)が対前四半期比 40%増加した。</li> </ul>
鉛(kt)	20.6	16.9	8.5	14.5	13.3	
銀(Moz)	0.578	0.46	0.225	0.415	0.399	
金(oz) *1	9,452	-	11,654	3,673	6,339	

\*1 地金生産量

出典) Quarterly report for the three months ended 30 September 2007, 24 October 2007  
 Quarterly report for the three months ended 30 June 2007, 19 July 2007  
 Quarterly report for the three months ended 31 March 2007, 18 April 2007  
 Quarterly report for the three months ended 31 December 2006, 30 January 2007  
 Quarterly report for the three months ended 30 September 2006, 24 October 2006

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Potosi 鉱床(Broken Hill 鉱山地区)の探鉱斜坑は、233m 掘削して坑口から 681m に到達。最初の鉱石を 8 月に南部オペレーション(Southern Operation)の選鉱場に供給した。ボーリングにより Potosi 鉱床は南北に延長していることを確認。Silver Peak 地区は、鉱化帯の再評

価と予想鉱物資源量(Inferred)のモデリングを実施。

(探鉱)

- ・ Flying Doctor 鉱床(Broken Hill 鉱山地区)は、南部オペレーションの選鉱場への鉱石供給を目指した露天採掘の FS 調査のために、概測鉱物資源量(Indicated)を増加するためのボーリング調査を実施。
- ・ 北鉱山深部(North Mine Deeps)(Broken Hill 鉱山地区)では、資源量を概測・精測鉱物資源量へアップグレードするための調査をプレFS調査の一部として実施(資源量は42百万tから37百万t・亜鉛品位11.3%・鉛13.5%・銀219g/t)。
- ・ Round Hill 鉱床(Broken Hill 鉱山地区)は、深部で鉱化を捕捉。鉱化は主鉱化帯「Line of Load」と同じ鉱床層準にあり、幅広い変質と鉱化が見られる。
- ・ Henry George 地区(Broken Hill 鉱山地区)では、広範囲にわたってボーリングを継続、好結果(幅2.3m・亜鉛品位10.3%、幅2.3m・亜鉛27.7%など)を得る。
- ・ Mount Oxide 銅プロジェクト(クィーンズランド州)は、既知鉱床に続く北部地区を中心にボーリング調査を実施し、好結果(幅28m・銅品位1.4%・コバルト0.18%、幅26m・銅品位1.5%など)を得る。現在の資源量(銅量112,000t)のアップグレードとプレFS調査完成のために、更にボーリング調査を実施する予定

出典) Quarterly report for the three months ended 30 September 2007, 24 October 2007

## 15) Sally Malay Mining Limited

### (1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006*1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007*2 6 月末半期	コメント
総収入	101.2	141.1	266.4	35.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2007 年 6 月末までの 12 か月間の総収入は、対前年度比 125%増加の 302.2 百万 A\$、税引き前利益 (EBITDA) は対前年度比 179%増加の 166.5 百万 A\$。</li> <li>・ 税引き後純利益は、対前年度比 453%増加の 88.1 百万 A\$。</li> <li>・ 堅調な操業とニッケル価格高騰が好業績の要因</li> </ul>
税引き後利益	7.6	8.3	32.7	55.4	
探鉱費	0.75	▲0.97.	0.55	1.3	

\*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) 2006/07 Full year Results, 29 August 2007

Half-Year for the Period ended 31 December 2006, February 28, 2007

Half-Year for the Period ended 31 December 2005, March 16 2006

### (2) 生産状況

(単位：精鉱中の金属純分量)

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
ニッケル (dmt)*1	1,920 9542	2,330 1099	1,810 862	1,950 997.5	1,884 823.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Sally Malay 鉱山のニッケル生産量は、探掘量は対前四半期比 5%増加したが、品位の低下により、金属純分量では対前四半期比 3.4%減少となった。</li> <li>・ Lanfranchi JV のニッケル生産量 (JV100%ベース) は、品位低下により対前四半期比 17.4%減少した。</li> </ul>
銅 (dmt) *2	842	1,039	921	886	1,017	
コバルト (dmt)*2	102	123	101	105	99	

\*1 Sally Malay 鉱山(上段)、Lanfranchi プロジェクト 75%(下段)

\*2 Sally Malay 鉱山

出典) Quarterly Report for the Period ended 30 September, 31 October 2007

Quarterly Report for the Period ended 30 June 2007, 31 July 2007

Quarterly Report for the Period ended 31 March 2007, 30 April 2007

Quarterly Report for the Period ended 30 June 2006, 31 January 2006

Quarterly Report for the Period ended 30 September, 30 October 2006

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Sally Malay 鉱山では、ペースト・プラント建設は、予定よりも進捗は早く、2007 年 10 月後半には坑内へのペースト充填を開始する予定。ペースト充填により、採掘に柔軟性ができること、鉱柱から鉱石を回収できること、廃さいダムの寿命を延ばせることなどの利点がある。

#### (探鉱)

- ・ Sally Malay 鉱山の深部鉱体 (Sally Malay Deep) での探鉱は、ボーリング調査を準備中。坑内工事 (2065 Deeps drill Drive) は、次四半期中に完了する予定。
- ・ Sally Malay 鉱山の北部鉱化帯 (Northern Ore Zone) での探鉱は、前四半期で得られた塊状硫化物鉱体に対するフォローアップのボーリング調査を実施し、鉱化を確認。

- ・ Panton PGM プロジェクト(Platinum Australia 100%、Sally Malay は最初の 1.5 百万 oz に対して 50%を得る)は、バルク・サンプルの試験と分析を継続中。
- ・ Copernicus JV(Sally Malay 60%)の開発は、道路アクセス・露天採掘ピット建設関係手続き等順調に進捗。伝統的土地所有者との交渉・書類手続き等を実施。ボーリング結果及びボーリング孔での EM 調査では、鉱体が傾斜方向及び北部方向へ延長している可能性を強く示唆している。更に 11~16 孔のボーリング調査が提案されている。
- ・ Melon Patch プロジェクト(Sally Malay 70%取得中)は、今期探鉱実施せず。
- ・ Lanfranchi JV(Sally Malay 75%)は、Deacon 地区では、鉱体の傾斜方向の延長を確認するためのボーリング・EM 等の調査を実施。2 つの導電帯を確認、90m 付近は Deacon 鉱体の下部を、310m 付近は鉱体の下部延長部の可能性を示していると解釈。
- ・ Schmitz 地区では資源量獲得のための調査を今期は実施せず、2008/09 年度の採掘に合わせて調査を予定。
- ・ Lanfranchi 地区では、ニッケル鉱体の深部方向への延長を既知鉱化部の垂直深度 100m 以深について調査。今期、ボーリング 23 孔 3,024m を掘削(これまでに 50 孔総延長は 5,808m を掘削)。深部方向への延長を確認(幅 24.1m・ニッケル品位 5.37%、13.8m・7.46%、33m・11.3%など)、更に深部へ鉱化は伸びている。
- ・ Northern Tramways 地区では、Tramways Dome の北側での鉱化の可能性を評価するための地表ボーリング調査等を実施。

出典) Quarterly Report for the Period ended 30 September, 31 October 2007

## 16) Zinifex Limited

### (1) 財務状況

(百万 A\$)

	2005 12 月末半期	2006*1 6 月末半期	2006 12 月末半期	2007*2 6 月末半期	コメント
収入	1,133.4	1,929.3	2,237.9	2,370.7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2007 年 6 月末までの 12 か月間の収入は、対前年度比 34.2% 増加の 1,929.2 百万 A\$、税引き前利益は対前年度比 43.9% 増加の 1,167.5 百万 A\$。</li> <li>・ 税引き後純利益は、対前年度比 23.6% 増加の 1,334.8 百万 A\$。</li> <li>・ Rosebery 亜鉛・鉛・銅鉱山、Hobart 亜鉛製錬所(ともにタスマニア州)での堅調な操業が好業績の要因。</li> </ul>
税引き後利益	227.6	852.3	751.2	583.6	
探鉱費	3.6	8.2	9.8	18.6	

\*1 2006 年 6 月末までの 12 か月分から、2005 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

\*2 2007 年 6 月末までの 12 か月分から、2006 年 12 月末までの 6 か月分を差引いた数値

出典) Financial Report for the year ended 30 June 2007, 27 August 2007  
Financial Report for the Six months ended 31 December 2006, 22 February 2007

### (2) 生産状況

(鉱山生産は金属純分量)

鉱種	2006 3/四	2006 4/四	2007 1/四	2007 2/四	2007 3/四	コメント
亜鉛 (鉱山生産) (t)	135,682	143,116	142,525	163,654	153,985	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Century 鉱山(クィーンズランド州)の亜鉛生産量(精鉱中の亜鉛金属純分量)は、堅調な操業とメンテナンスによる操業停止がなかったことから、対前年同期比 16% 増加の 133,419t となった。</li> <li>・ Rosebery 亜鉛・鉛鉱山(タスマニア州)の亜鉛生産(同)は、対前四半期比 11% 減少、対前年同期比 5% 減少の 20,566t であった。</li> </ul>
鉛* (鉱山生産) (t)	18,913	14,565	15,070	12,787	18,543	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Century 亜鉛・鉛鉱山の鉛生産(精鉱中の鉛金属純分量)は、前四半期の山元での貯鉱もあって、対前四半期比 87%、対前年同期比 5% 増加の 13,030t となった。</li> <li>・ Rosebery 亜鉛・鉛鉱山の鉛生産量(同)は、対前四半期比 5% 減少、対前年同期比 15% 減少の 23,490t。</li> </ul>
亜鉛* (金属) (t)	160,422	157,527	159,029	158,102	107,830	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Hobart 製錬所(タスマニア州)は、亜鉛生産は、鑄造工程での障害により亜鉛生産が制約を受けたことから、対前年同期比 5% 減少の 42,730t となった。</li> <li>・ Budel 精錬所(オランダ)の生産は、浸出系のトラブルにより生産が制約されたため、対前年同期比 6% 減少の 40,120t となった。</li> <li>・ Clarksville 精錬所(米国)は、猛暑の影響を受けたが、対前年同期比 6% 減少の 19,161t となった。</li> <li>・ Port Pirie 精錬所(南オーストラリア州)は、前年同期のレベルを維持し、5,819t であった。</li> </ul>
鉛(金属) (t)	28,233	63,402	51,702	64,123	39,173	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Port Pirie 製錬所は、20 年に一度の大規模メンテナンスがあった対前年同期比 376% 増加の 35,438t。</li> </ul>

\* 製錬部門を分離し、新会社を設立したため、2007 年第 3 四半期は、7 月と 8 月の 2 か月分の生産量

出典) Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 30 September 2007, 25 October 2007  
Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 30 June 2007, 27 July 2007  
Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 31 March 2007, 26 April 2007

### (3) 探鉱・開発状況

#### (開発)

- ・ Dugald River 亜鉛・鉛プロジェクト(クィーンズランド州)では、プロジェクトのための人材を確保。機材の制約はあったが、鉱体確認のための RC ボーリング 6,000m を実施した。探鉱キャンプ・インフラストラクチャ・コア保管場所の建設工事を開始。
- ・ Nunabut プロジェクト(カナダ)では、Izok Lake 銅・亜鉛鉱床開発のための運搬ルートの可能性・コスト・経済性などの調査を開始。調査結果は 2008 年初旬には報告される予定。環境影響評価手続き中。堆積場の設計を開始。環境・探査・エンジニアリング等のスタッフを募集。

#### (探鉱 鉱山周辺)

- ・ Century 亜鉛・鉛鉱山では、Silver King 地区でボーリング調査を実施、ボーリング 30 孔が完了。旧 Silver King 鉱山に隣接する地区での残資源を中心に探鉱を実施、鉱化作用を確認。次四半期に資源量評価完了を期待。前四半期に未確認の地化学異常に対してボーリングを実施、鉱化作用を捕捉、走向方向に延長していることを確認。鉱山地区外で物理探査異常、地化学探査異常に対してボーリングを実施するが、目立った成果はなし。
- ・ Rosebery 亜鉛・鉛鉱山では、北部でボーリングを実施したが結果は芳しくなかった。電磁気異常と地化学探査異常が重なる対象地区 2 か所を抽出。

#### (探鉱 オーストラリア国内)

- ・ Drake 社と Georgetown(クィーンズランド州)で Broken Hill タイプのベースメタル探鉱 JV を締結。
- ・ Menninnie Dam 地域(南オーストラリア州)は、8 百万 A\$ を支出して権益 70% を取得。Menninnie Metals Ltd 権益 20% 分を含めて同プロジェクトの実質権益を 76% とする。
- ・ 分析件数が多く、結果が遅れているため、資源量の評価も遅れている。
- ・ Wagga Tank 地区(ニューサウスウェルズ州)で、銅/金探査を開始。同地区は、Golden Cross Resources Limited 保有鉱区と Zinifex 社鉱区からなり、JV を形成。これまでのデータと追加の物理探査によりボーリング地点を検討中。

#### (探鉱 海外等)

- ・ カナダでは、Nunavut Province において、High Lake 及び Izok Lake 地区でのベースキャンプの再設営し、地上及び空中物理探査とボーリング調査を実施。ボーリングは 11 孔 4,133m を掘削。塊状硫化物鉱化作用は得られず。黄銅鉱・閃亜鉛鉱を僅かに含む鉱染状の鉱化を確認。Ced Lake 地区では、これまでに得られた電磁気異常と一致する重力異常を得た。ボーリング機材の状況が許せば、ただちにボーリングを実施する予定。Izok-Gondor 地区では、22,000m の空中磁気・電磁探査を実施。50 か所の導電対を抽出。次四半期は地表調査を予定。
- ・ チュニジアでは、Bou Aouane でボーリング調査を継続。目的とする層準を 50m にわたって捕捉。細粒の鉱化を捕捉し、分析結果待ち(12 月には結果が得られる予定)。El Haouaria、Jebel Trozza、Jebel Touila 地区の IP 調査が完了。El Haouaria 地区で有望な結果を得る。
- ・ スウェーデンでは、Berso 地区で土壌地化学異常が延びる 4 鉱区を取得。Dovensdorp、Bersbo 地区で精密空中磁気探査を実施し、有望地を幾つか抽出した。次四半期は、Falun、Bersbo、Oxberg 地区で空中電磁探査を計画。
- ・ メキシコでは、La Corazonada JV プロジェクトの契約手続きが最終段階。亜鉛-鉛-銀を含む

スカルン鉱床が、地表地質調査(ダイオライトの貫入と変質帯)により特定されている。地表地質調査の継続と空中磁気探査を予定。

出典) Zinifex Limited Quarterly Review Quarter ended 30 September 2007, 25 October 2007

## 2. 中国企業

### 銅地金生産企業

(単位：t)

企業名	2006												1-12月計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	34,667	39,997	36,425	40,399	38,780	38,624	37,120	37,576	32,793	34,393	36,589	36,078	443,441
銅陵有色金属(集团)公司 (Tongling Nonferrous Metals Group) Inc.)	43,425	40,847	53,273	46,540	47,015	49,090	39,695	46,812	45,468	46,387	46,069	43,905	548,526
雲南銅業(集团)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	19,823	39,865	19,401	25,499	32,695	32,095	32,639	32,924	32,472	33,413	31,354	27,920	360,100
大冶有色金属公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	18,416	15,693	16,655	16,689	17,431	17,865	17,751	17,386	16,881	18,033	16,259	15,499	204,558
金川集团有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	15,500	16,500	15,000	17,000	16,500	17,000	16,500	17,000	16,500	17,000	17,000	23,879	205,379

(注)1-12月計は、安泰科の12月の資料を基にしているため、各月の合計とは異なる場合がある。

企業名	2007									1-9月計	1-9月期
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	(注)	07/06
江西銅業集团公司 (Jiangxi Copper Co Ltd.)	37,100	40,300	36,800	40,800	41,000	47,474	51,450	53,945	53,611	402,480	19.65%
銅陵有色金属(集团)公司 (Tongling Nonferrous Metals Group) Inc.)	46,300	41,400	43,700	45,500	46,900	51,300	57,861	59,811	56,300	449,072	8.95%
雲南銅業(集团)有限公司 (Yunnan Copper Industrial Corp. Ltd.)	27,700	29,800	32,900	32,200	37,100	34,700	35,977	35,136	42,100	307,613	15.03%
大冶有色金属公司 (Daye Nonferrous Metals Co.)	12,800	16,400	16,400	21,000	23,200	21,500	20,399	22,598	22,316	176,613	14.12%
金川集团有限公司 (Jinchuan Group Ltd.)	20,500	21,400	21,500	37,838	21,000	19,200	19,400	17,999	18,534	197,371	33.81%

出典：安泰科

### 亜鉛地金生産企業

※亜鉛については国家統計局の企業別データが2007年から未公表のためデータ未入手



## V. 主要国、主要鉱山の生産統計

### 1. 主要国の生産統計

#### (1)-1 チリの銅生産量

	2006												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
銅生産量	418,929	390,125	440,412	442,641	458,521	453,046	458,214	411,847	392,130	490,348	477,054	541,333	5,374,600
電解銅	188,827	169,181	190,127	179,896	187,554	182,290	191,792	183,747	182,735	202,663	193,288	213,500	2,265,600
精鉱	237,534	213,367	231,789	228,853	232,979	240,343	231,499	195,074	175,799	251,562	244,975	273,226	2,757,000
その他	4,638	7,577	18,496	21,822	37,988	30,413	34,293	33,026	33,596	36,123	38,791	55,237	352,000

※年計は、チリ統計局発表の数字を入れているので、合計額の数字と異なる場合がある。

	2007									
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	1~9月計
銅生産量	437,453	390,870	442,410	459,017	479,049	460,297	453,724	429,238	477,828	4,102,462
電解銅	205,389	191,594	215,661	211,855	212,790	198,706	180,102	174,223	208,878	1,810,754
精鉱	223,636	195,296	253,651	216,052	237,380	23,336	241,530	216,404	230,876	2,048,717
その他	8,428	3,980	32,794	31,110	28,879	28,255	32,092	38,611	38,074	242,991

出典：チリ統計局

※1~9月計は、チリ統計局発表の数字を入れているので、合計額の数字と異なる。

#### (1)-2 チリの銅輸出額

(単位：百万\$)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
1996	479.9	512.0	524.0	512.4	585.6	537.5	579.9	415.1	427.3	479.9	469.6	505.4	6,028.6
1997	618.2	611.6	658.5	615.6	551.9	591.0	505.2	473.6	512.0	578.2	470.2	460.6	6,646.6
1998	381.8	454.7	516.0	408.9	438.6	470.3	474.1	432.1	408.0	378.8	409.0	425.1	5,197.4
1999	433.7	400.3	422.4	530.8	506.0	531.3	453.6	477.8	594.2	544.6	548.1	583.6	6,026.4
2000	577.7	527.1	711.0	437.5	723.0	545.7	678.1	691.5	552.1	701.4	545.5	594.1	7,284.5
2001	672.4	564.6	530.7	593.6	576.9	507.1	495.0	628.6	433.9	571.5	484.8	477.6	6,536.5
2002	583.7	500.0	511.8	549.5	518.4	655.5	471.5	462.9	398.9	609.3	567.6	494.1	6,323.2
2003	702.7	559.2	510.5	594.4	574.0	630.5	639.1	675.1	606.7	788.8	763.8	770.5	7,815.5
2004	835.8	897.3	1,398.6	1,224.9	1,387.6	1,007.3	1,213.1	1,384.1	1,003.1	1,472.1	1,034.7	1,624.1	14,482.6
2005	1,251.1	1,027.8	1,689.5	1,375.9	1,263.5	1,648.8	1,435.8	1,660.6	1,654.1	1,592.6	1,865.5	1,840.4	18,305.6
2006	1,947.3	2,016.9	3,382.8	2,478.4	3,435.6	2,857.2	3,331.0	2,890.9	3,115.0	2,940.0	2,790.0	2,150.0	33,340.0
2007	3,041.3	2,260.0	2,730.0	3,282.0	4,277.0	2,939.0	3,589.3	2,706.4	3,109.1				27,934.1

出典：チリ中央銀行

#### (1)-3 チリのモリブデン輸出額

(単位：百万\$)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年計
1996	26.0	20.1	16.5	20.7	16.1	18.9	20.8	17.3	17.8	16.5	16.8	16.1	223.6
1997	18.7	16.0	16.8	17.1	15.5	19.8	21.7	23.2	18.0	24.0	21.6	19.7	232.3
1998	17.7	18.5	22.3	13.9	18.7	19.0	15.2	16.4	16.5	19.2	11.3	14.7	203.5
1999	17.5	11.8	17.9	12.1	14.6	10.6	16.8	11.4	13.6	14.5	14.2	12.1	167.2
2000	16.6	14.0	16.7	11.4	14.5	11.8	15.6	18.2	12.2	18.1	14.9	14.8	178.7
2001	18.1	7.6	13.5	12.9	15.2	15.9	14.6	19.4	8.8	21.0	14.1	13.5	174.6
2002	18.5	12.6	20.3	19.1	18.3	23.6	26.1	25.3	23.0	27.1	17.0	14.8	245.8
2003	26.1	15.2	24.9	26.8	21.8	24.7	23.8	23.8	33.7	47.6	45.0	39.6	352.8
2004	69.1	52.7	73.9	63.8	102.7	89.5	153.9	135.3	152.2	152.2	220.4	170.6	1,436.2
2005	221.2	191.0	311.6	310.1	274.0	354.5	353.4	255.6	218.6	270.7	273.6	238.7	3,272.9
2006	284.1	116.8	350.1	192.7	202.3	203.6	240.2	282.1	208.8	258.0	209.2	222.7	2,770.6
2007	259.1	250.0	450.0	256.0	325.0	329.0	331.0	333.3	277.0				2,810.4

出典：チリ中央銀行

## (2) ペルーの鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期	前年 同期比
銅	255,794	281,613	255,663	287,823	313,355	+22.5%
金	49,939	46,698	52,965	38,814	41,403	-17.1%
亜鉛	312,567	318,838	273,756	375,711	369,528	+18.2%
鉛	81,349	84,173	73,963	78,393	85,749	+5.4%
銀	856.07	921.31	806.435	822.743	931.570	+8.8%
錫	8,661	9,327	10,046	9,455	10,101	+16.6%
モリブデン	4,166	4,640	4,482	3,711	5,190	+24.6%

出典：ペルーエネルギー鉱山省

## (3) ボリビアの鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2005年 下半期	2006年 上半期	2006年 下半期	2007年 上半期	前年 同期比
亜鉛	82,906	85,365	87,382	88,399	+3.6%
錫	9,590	9,244	8,495	7,766	-16.0%
銀	217	253	219	206	-18.6%

出典：ボリビア鉱業冶金省

## (4) メキシコの鉱産物生産量

鉱種	2006年												年計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
金(kg)	2,349	2,365	2,710	1,788	1,832	3,591	3,314	3,656	3,868	2,957	3,318	4,150	35,898
銀(kg)	198,292	206,721	228,354	194,536	226,098	180,731	258,664	169,576	219,551	144,095	180,712	205,779	2,413,109
銅(t)	30,897	29,499	33,160	27,882	28,317	19,277	19,600	19,957	25,169	29,718	33,549	30,517	327,542
鉛(t)	10,120	12,119	8,611	10,652	10,428	12,936	12,551	7,748	9,396	8,730	7,514	9,640	120,445
亜鉛(t)	31,410	38,801	34,757	37,983	36,207	36,650	40,930	37,204	36,468	33,548	31,615	36,758	432,331

鉱種	2007年/p										1~9月計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
金(kg)	3,853	2,274	3,495	2,756	3,414	2,865	3,510	3,971	3,202	29,340	
銀(kg)	209,198	153,594	206,620	137,382	221,009	225,580	231,314	174,660	195,209	1,754,566	
銅(t)	30,712	31,210	34,656	32,887	32,034	28,869	26,083	25,462	22,255	264,168	
鉛(t)	8,804	8,156	10,200	4,725	11,071	5,838	9,269	5,951	10,294	74,308	
亜鉛(t)	36,875	37,831	35,904	35,659	33,649	34,296	30,830	37,930	34,237	317,211	

出典：メキシコ国立統計地理情報院 注)p：速報値

## (5) オーストラリアの生産量

鉱種	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期	前期比(%)	前年同期比(%)
<b>銅(千t)</b>							
ニューサウスウェルズ州	52	53	46	45	39	-13.30	-25
クィーンズランド州	82	85	95	86	84	-2.32	2.44
西オーストラリア州	31	24	27	26	32	23.08	3.23
南オーストラリア州	42	40	54	54	34	-37.04	-19.04
タスマニア州	8	7	7	7	9	28.57	12.50
<b>オーストラリア全体</b>	<b>215</b>	<b>209</b>	<b>228</b>	<b>219</b>	<b>198</b>	<b>-9.59</b>	<b>-7.90</b>
<b>亜鉛(千t)</b>							
ニューサウスウェルズ州	42	45	27	33	35	6.06	-16.67
クィーンズランド州	203	204	212	224	224	0	10.30
西オーストラリア州	22	48	25	56	58	3.57	163.60
タスマニア州	22	20	25	29	25	-13.79	13.60
北部準州	34	36	35	36	35	-2.78	2.90
<b>オーストラリア全体</b>	<b>324</b>	<b>352</b>	<b>324</b>	<b>378</b>	<b>389</b>	<b>2.90</b>	<b>140.12</b>
<b>鉛(千t)</b>							
ニューサウスウェルズ州	28	27	16	20	20	0	-28.57
クィーンズランド州	106	85	112	112	112	0	5.66
西オーストラリア州	19	24	23	9	8	-11.10	-57.89
タスマニア州	7	7	7	8	8	0	14.29
北部準州	7	9	8	8	8	0	14.29
<b>オーストラリア全体</b>	<b>167</b>	<b>152</b>	<b>166</b>	<b>157</b>	<b>156</b>	<b>-0.64</b>	<b>-6.59</b>
<b>ニッケル(千t)</b>							
西オーストラリア州	47	51	48	46	46	0	-2.13
<b>オーストラリア全体</b>	<b>47</b>	<b>50</b>	<b>48</b>	<b>46</b>	<b>46</b>	<b>0</b>	<b>-2.13</b>
<b>金(t)</b>							
ニューサウスウェルズ州	7	8	9	9	9	0	28.57
ビクトリア州	1	2	2	1	1	0	0
クィーンズランド州	6	5	5	5	6	20	0
西オーストラリア州	41	43	38	39	38	-2.56	-7.32
タスマニア州	1	1	1	2	1	-50	0
南オーストラリア州	2	1	1	1	1	0	-50
北部準州	3	4	4	5	4	-20	33.30
<b>オーストラリア全体</b>	<b>62</b>	<b>65</b>	<b>61</b>	<b>63</b>	<b>60</b>	<b>-4.76</b>	<b>-3.23</b>
<b>ウラン(t)</b>							
南オーストラリア州	868	893	935	1,001	1,021	1.99	17.63
北部準州	935	1,409	853	1,264	1,156	-8.54	23.63
<b>オーストラリア全体</b>	<b>1,804</b>	<b>2,302</b>	<b>1,788</b>	<b>2,264</b>	<b>2,177</b>	<b>-3.84</b>	<b>20.67</b>
<b>ボーキサイト(千t)</b>							
クィーンズランド州	4,085	4,487	4,272	4,125	4,095	-0.73	0.24
西オーストラリア州	10,738	10,290	10,500	10,409	10,211	-1.90	-4.91
北部準州	1,162	1,538	1,743	1,087	1,149	5.70	-1.12
<b>オーストラリア全体</b>	<b>15,986</b>	<b>16,315</b>	<b>16,515</b>	<b>15,621</b>	<b>15,456</b>	<b>-1.06</b>	<b>-3.31</b>
<b>鉄鉱石(千t)</b>							
西オーストラリア州	70,835	70,804	65,505	73,973	71,954	-2.73	1.58
南オーストラリア州	1,078	1,150	1,189	1,282	1,574	22.78	46.01
タスマニア州	175	537	602	524	607	15.80	245.86
<b>オーストラリア全体</b>	<b>72,088</b>	<b>72,491</b>	<b>67,296</b>	<b>75,778</b>	<b>74,202</b>	<b>-2.07</b>	<b>2.90</b>
<b>石炭(black coal, raw)(百万t)</b>							
ニューサウスウェルズ州	43.50	41.05	40.00	43.11	46.07	6.87	5.90
クィーンズランド州	57.44	57.00	58.00	61.04	56.44	-7.54	-1.74
西オーストラリア州	1.58	1.58	1.60	1.64	1.58	-3.66	0
南オーストラリア州	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96	0	0
タスマニア州	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0	0
<b>オーストラリア全体</b>	<b>103.64</b>	<b>100.75</b>	<b>100.72</b>	<b>106.91</b>	<b>105.21</b>	<b>-1.595</b>	<b>1.515</b>
<b>石炭(black coal, salable)(百万t)</b>							
ニューサウスウェルズ州	31.99	29.93	31.66	33.00	35.57	7.79	11.19
クィーンズランド州	45.18	42.90	43.90	48.66	45.00	-7.52	-0.40
西オーストラリア州	1.58	1.58	1.60	1.64	1.58	-3.66	0
南オーストラリア州	0.96	0.96	0.96	0.96	0.96	0	0
タスマニア州	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0	0
<b>オーストラリア全体</b>	<b>79.86</b>	<b>75.52</b>	<b>78.27</b>	<b>84.41</b>	<b>83.26</b>	<b>-1.36</b>	<b>4.26</b>

出典: ABARE, Australian Mineral Statistics September Quarter, 12 December 2007

## オーストラリアの主要製錬所生産統計

製錬所/精錬所	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期	前期比(%)	前年同期比(%)
<b>銅製錬所 (t)</b>							
Olympic Dam	41,600	39,700	53,600	47,600	33,600	-29.4	-0.29
Mt Isa *1	N.D.	213,000	N.D.	113,340	N.D.	N.D.	N.D.
Port Pirie	553	974	1,032	768	N.D.	N.D.	N.D.
<b>亜鉛製錬所 (t)</b>							
Hobart	66,919	63,060	60,346	64,944	N.D.	N.D.	N.D.
Port Pirie	6,330	8,898	9,622	9,505	N.D.	N.D.	N.D.
Cockle Creek *2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Townsville *2, *1	N.D.	209,200	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>鉛製錬所 (t)</b>							
Port Pirie	24,476	58,993	47,215	60,089	N.D.	N.D.	N.D.
Cockle Creek	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>銀(Oz)</b>							
Port Pirie	2,067,600	3,075,200	2,697,898	2,877,813	N.D.	N.D.	N.D.
Cockle Creek *2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>ニッケル精錬所 (t)</b>							
Kalgoorlie	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Kwinana	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Nickel West *3	24,500	28,000	25,000	25,700	20,600	-19.8	-15.91
Yabulu	7,300	7,500	8,000	9,300	5,500	-40.86	-24.66
<b>アルミナ精錬所 (t)</b>							
Queensland (QAL)	936,000	993,000	945,000	938,000	977,000	4.16	4.38
Worsley	819,000	902,000	823,000	893,000	912,000	2.13	11.36
Gove *1	N.D.	1,615	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Kwinana	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Pinjarra *4,*5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Comalco (Yarwun)	302,000	360,000	296,000	323,000	301,000	-6.8	-0.33
Wagerup	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>アルミニウム精錬所 (t)</b>							
Boyne Island	138,000	136,500	136,100	137,800	137,300	-0.36	-0.50
Bell Bay	45,100	45,000	43,600	45,000	44,800	-0.44	-0.67
<b>金 (Oz)</b>							
Port Pirie	3,100	4,800	4,662	3,119	N.D.	N.D.	N.D.

出典)各社年次報告書及び四半期報告書

# オーストラリアの主要鉱山生産統計

鉱山名	2006年 第3四半期		2006年 第4四半期		2007年 第1四半期		2007年 第2四半期		2007年 第3四半期		前期比 (%)	前年同期比 (%)
	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)	品位 (%)	生産量(t)		
<b>銅 (t)</b>												
Mt Isa	N.D.	N.D.	*1	*1	N.D.	N.D.	3.0	78,452	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Olympic Dam	2.10	41,600	2.21	39,700	1.96	53,600	1.9	47,600	1.83	33,600	-29.41	-19.23
Ernest Henry	N.D.	N.D.	年 0.89	年 84,000	N.D.	N.D.	0.8	39,512	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Northparkes	1.57	21,000	1.57	22,200	1.38	17,200	1.0	12,300	0.65	7,000	-43.09	-66.67
Ridgeway	0.75	9,635	0.73	9,386	0.75	9,475	0.7	9,443	0.62	8,180	-13.37	-15.1
Osborne	2.05	6,804	2.04	6,350	2.23	9,072	2.1	20,865	1.85	8,618	-58.69	26.66
Cadia Hill	0.14	5,044	0.14	5,103	0.17	6,376	0.2	6,659	0.19	6,968	4.64	38.14
Nifty	2.75	10,900	2.70	9,452	2.50	8,168	4.0	12,945	3.49	15,401	18.97	41.29
<b>亜鉛 (t)</b>												
Century	11.60	114,526	11.30	124,405	11.50	122,602	11.80	140,505	11.70	133,419	-5.04	16.50
Mt Isa	N.D.	N.D.	N.D.	年 210,000	*1	*1	N.D.	115,248	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
McArthur River	N.D.	N.D.	4.00	年 30,000	*1	*1	10.2	70,549	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Broken Hill North, South	6.00	30,200	6.00	28,000	4.90	11,800	6.0	22,000				
Rosebery	14.00	22,292	12.10	19,767	12.40	20,857	N.D.	N.D.	12.30	21,418	N.D.	-3.92
Cannington	3.50	10,426	3.10	8,806	3.60	15,095	3.0	11,355	3.50	14,503	27.72	39.10
Endeavor	6.30	11,000	6.80	16,300	6.60	14,500	5.1	10,400	5.30	11,600	11.54	5.45
Pillara	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	5.4	11,200	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Broken Hill	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	6.0	22,000	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>鉛 (t)</b>												
Cannington	10.70	48,977	8.80	36,454	10.50	62,974	10.3	62,409	10.40	61,073	-2.14	24.70
Mt Isa *1	N.D.	N.D.	*1	*1	N.D.	N.D.	N.D.	56,669	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Broken Hill North, South	4.20	20,600	3.90	16,900	3.50	8,500	4.1	14,500	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Century	1.40	12,396	1.10	8,706	1.10	9,777	1.5	6,966	1.40	13,030	87.05	5.11
McArthur River	N.D.	N.D.	年 4	年 30,000	N.D.	N.D.	4.1	16,159	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Endeavor	3.70	5,980	4.00	9,080	3.30	6,900	2.5	4,600	2.90	5,800	26.09	-3.01
Rosebery	4.60	6,517	4.10	5,859	3.80	5,293	N.D.	N.D.	3.80	5,513	N.D.	-15.40
Broken Hill	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Pillara	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	1.8	4,100	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>ニッケル(t)</b>												
Nickel West	N.D.	24,500		28,000	N.D.	25,000	N.D.	25,700	N.D.	20,600	-19.84	-15.92
Murrin Murrin	N.D.	9,202	1.36	8,262	1.33	7,291	1.34	7,598	1.36	6,676	-12	-27.45
Leinster	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Cosmos	4.55	2,361	5.59	3,027	2.79	1,709	3.1	3,027	4.65	1,799	-40.57	-23.80
Mt Keith	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Kambalda	N.D.	N.D.	*2	*2	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>金 (Oz)</b>												
Super Pit	2.19	159,400	1.95	158,000	1.89	148,000	1.99	164,000	1.85	154,000	-6.09	-3.39
St Ives	2.30	123,362	2.20	124,600	2.10	119,400	2.40	119,536	1.80	102,400	-14.34	-16.99
Tanami Newmont	5.14	103,000	5.73	129,200	5.04	102,000	5.79	128,000	4.70	102,000	-20.31	-0.98
Ridgeway	2.14	83,857	1.85	73,352	1.97	74,637	2.02	82,182	1.78	71,111	-13.47	-15.20
Granny Smith	0.09	63,000	2.78	66,000	2.26	48,000	1.82	42,000	1.82	43,000	2.38	-31.75
Cadia Hill	0.39	38,643	0.44	45,922	0.66	70,535	0.84	91,561	0.85	91,848	0.31	137.68
Plutonic	0.13	54,000	4.80	60,000	4.29	59,000	3.53	53,000	3.26	42,000	-20.75	-22.22
Pajingo(Vera Nancy)	11.69	50,100	14.88	61,200	10.80	45,000	8.85	39,000	9.43	44,000	12.82	-12.18
<b>銀 (Oz)</b>												
Cannington	385	5,714,000	360	4,805,000	477	9,160,000	493	9,426,000	478	8,759,000	-7.08	53.29
Mt Isa	N.D.	N.D.	N.D.	年 6,270,000	N.D.	N.D.	N.D.	3,192,000	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Century	55	1,626,400	39.50	1,232,200	33	1,025,962	35	1,172,570	27	852,445	-27.3	-47.59
Rosebery	135	661,500	148.50	695,400	188	807,209	N.D.	N.D.	139	750,527	N.D.	13.46
Golden Grove	1,721	535,946		1,031,142	N.D.	511,167	N.D.	858,753	N.D.	1,346,183	56.76	151.18
McArthur River	N.D.	N.D.	年 43	年 1,447,000	N.D.	N.D.	N.D.	年 597,000	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Endeavor	32	124,745	32	170,399	31	141,463	35	122,170	32	151,109	23.69	21.13
<b>ウラン (t)</b>												
Ranger	2.01	1,103	3.40	1,662	2.80	1,006	3.0	1,490	3.10	1,363	-8.52	23.57
Olympic Dam	0.57	793	0.58	822	0.59	883	0.6	988	0.57	933	-5.57	17.65
Beverly	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>マンガン (t)</b>												
Groote Eylandt	N.D.	865,000	N.D.	866,000	N.D.	820,000	N.D.	888,000	N.D.	873,000	-1.69	0.92
Woodie Woodie	N.D.	244,975	N.D.	226,631	N.D.	196,256	N.D.	234,190	N.D.	204,384	-12.73	-16.57
<b>ミネラルサンド (t)</b>												
Mid West (Zircon)	N.D.	61,222	N.D.	64,381	N.D.	53,876	N.D.	55,247	N.D.	39,461	-28.57	-35.54
Tiwest (Zircon)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Wemen (Zircon)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Hawks (Zircon)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Mid West (Rutile)		24,858	N.D.	25,515	N.D.	20,873	N.D.	19,163	N.D.	16,982	-11.38	-31.68
Tiwest (Rutile)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Wemen (Rutile)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Hawks (Rutile)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Tiwest (Leucoxene)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Mid West (Ilmenite)	N.D.	159,056	N.D.	142,749	N.D.	156,067	N.D.	154,987	N.D.	130,271	-15.95	-18.09
Tiwest (Ilmenite)	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	*3	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Wemen (Ilmenite)	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	*4	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Hawks (Ilmenite)	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	*5	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
<b>ボーキサイト (t)</b>												
Weipa	N.D.	4,036	N.D.	4,444	N.D.	4,229	N.D.	4,233	N.D.	4,651	9.87	15.24
Gove	N.D.	N.D.	*6	4,767	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Huntly	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Willowdale	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.
Worsley	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	*6	N.D.	N.D.	N.D.	N.D.

出典：各社年次報告書及び四半期報告

## (6) 中国の鉱産物生産量

(単位：t)

鉱産物	2006												1-12月計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
銅精鉱(t)	63,319	43,969	53,522	54,921	66,543	62,308	60,196	62,629	62,942	60,744	64,583	66,896	722,572
銅地金(t)	224,460	237,076	232,848	242,657	243,609	245,448	236,209	250,348	248,420	247,946	250,564	248,505	2,908,090
鉛精鉱(t)	37,553	42,918	51,330	55,282	58,686	92,553	60,963	63,958	58,772	52,751	54,557	79,063	708,386
鉛地金(t)	170,888	206,096	255,433	226,160	247,283	234,637	202,509	201,289	248,699	252,014	262,317	262,813	2,770,137
亜鉛精鉱(t)	98,501	165,146	170,292	176,751	184,453	201,433	172,458	184,839	186,325	173,280	172,422	192,766	2,078,664
亜鉛地金(t)	185,394	238,653	260,079	254,496	271,705	257,481	243,921	247,204	272,303	279,901	305,351	302,437	3,118,924
ニッケル(t)	7,198	9,512	7,861	8,691	7,322	8,447	8,158	8,039	9,687	9,866	12,782	15,463	113,026

(注)1-12月計は、安泰科の12月の資料を基にしているため、各月の合計とは異なる場合がある。

鉱産物	2007									1-9月計	1-9月 07/06
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
銅精鉱(t)	60,406	59,073	62,919	62,919	66,885	73,921	64,425	69,548	74,255	598,496	12.8%
銅地金(t)	250,400	246,806	238,019	238,019	267,243	291,814	291,711	315,464	311,241	2,494,932	15.4%
鉛精鉱(t)	39,461	42,759	59,007	59,007	63,351	97,213	80,863	75,436	87,652	618,108	18.4%
鉛地金(t)	198,187	189,228	210,997	210,997	256,191	243,865	228,800	200,228	214,928	2,009,189	0.8%
亜鉛精鉱(t)	126,806	134,851	174,923	174,923	213,358	284,779	220,700	197,212	225,346	1,794,511	16.5%
亜鉛地金(t)	279,686	281,532	305,693	305,693	303,352	320,536	276,162	281,566	327,640	2,699,595	21.0%
ニッケル(t)	10,540	9,855	9,518	9,518	9,534	10,045	9,792	9,920	9,897	88,750	18.5%

出典：安泰科

## 2. 主要鉱山の生産統計

### (1) Grasberg 鉱山

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅(t)	147,600	212,600	212,099	140,613	89,357
金(oz)	456,400	571,300	1,074.7	889,000	327,000
銅品位(%)	0.85	1.08	1.21	0.72	0.58
金品位(g/t)	0.83	0.95	0.92	1.63	0.70

(2007年第1四半期以降の銅の生産量については、ポンド表示で公表されていたものを1l=453.59gで換算した。)

出典：Freeport McMoRan HP

### (2) Morenci 鉱山

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
電解銅(千t)	88.4	88.1	71.6	83.4	84.8

(2007年第1四半期以降については、ポンド表示で公表されていたものを1l=453.59gで換算した。2006年第2四半期から2006年第4四半期については、short tonsで公表されているものを1short ton=0.9072tで換算した。)

出典：Freeport McMoRan HP、旧 Phelps Dodge HP

### (3) Antamina 鉱山(鉱山全体生産量)

鉱産物	2006年 第3四半期	2006年 第4四半期	2007年 第1四半期	2007年 第2四半期	2007年 第3四半期
銅(千t)	88.9	104.7	74.4	81.0	84.5
亜鉛(千t)	47.4	38.3	72.2	97.1	79.4
銅品位(%)	1.21	1.41	1.10	1.16	1.15
亜鉛品位(%)	0.87	0.65	2.42	3.32	3.29

出典：Teck Cominco HP

平成 19 年度情報収集事業報告書 第 6 号

## クォーターリー・レビュー

—資源メジャーの 2007 年第 3 四半期動向—

---

平成 20 年 3 月 発行

発行：独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

金属資源開発本部 企画調査部

〒212-8554 神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番

電話：044-520-8590 FAX:044-520-8750 E-mail:mric@jogmec.go.jp

[http://www.jogmec.go.jp/mric\\_web/](http://www.jogmec.go.jp/mric_web/)

---